

15. 持続的農村開発戦略〔和文（仮訳）〕

チンボラソ県持続的総合農村開発戦略（仮訳）

- “Minka Sumak Kawsay” プロジェクトの戦略 -

この戦略は、JICA 技術協力のフェーズ I (2009 年 3 月から 2011 年 2 月) とフェーズ II (2011 年 2 月から 2016 年 3 月) および技術協力終了後のエクアドル側の自助努力によるチンボラソ県の貧困削減のための持続的総合農村開発の戦略である。ただし、事業計画は、JICA 技術協力実施期間に限定したものとなっている。

目次

I. 全体戦略	1
II. セクター間のリンケージ戦略	9
III. セクター別戦略	10
A. 農牧分野開発戦略	10
B. 環境分野開発戦略	26
C. 保健分野開発戦略	32
D. 教育分野開発戦略	41
IV. 試行事業計画 (ECA) と実施体制 (案)	48

I. 全体戦略

1. 現状

エクアドル共和国チンボラソ県は、シエラ（山岳）地域のほぼ中央部に位置する約40万人を抱える地方県である。このチンボラソ県は、貧困ライン以下の人口の割合が64%を占めている。先住民族が多く、県人口の70%が居住する農村部における貧困は、大気な社会問題となっている。

貧困の主な要因としては、農業所得の低さと劣悪な生活環境（教育、医療、基礎インフラなど不整備）が挙げられる。またこれらに、自然環境劣化（過度な伐採による流域荒廃や土壌浸食など）が加わる。「水と土」は、農業と農村生活に最も重要な資源である。これらのことが、貧困の悪循環につながっている。

このような複合的な要因からもたらされた貧困問題を削減するためには、セクター横断的な総合開発の視点で考えられたプログラム協力が有効である。同時に、これらの取り組みを通して、関係行政政府の組織能力向上を行っていくことが、貧困削減を図るために重要である。

そこで、参加型の持続的総合農村開発実施体制を整備することを目的とした技術協力プロジェクトが、我が国に要請され、2008年に事前調査団が訪れた。2008年11月26日に、県庁、国際協力庁、農牧漁業省、環境省、教育省、保健省により、RDとミニッツが署名された。これらに基づき、2009年2月24日からJICAとの国際協力であるチンボラソ県貧困削減のための持続的総合農村開発実施体制強化プロジェクト（通称“Minka Sumak Kawsay”プロジェクト）が開始された。本プロジェクトのフェーズIは、2011年2月までの2年間であり、フェーズIIは、2011年3月から5年間で想定されている。フェーズIIは、フェーズIが構築したモデルと実施体制を検証・改善して、持続的総合農村開発の手法を確固としたものにし、実施体制を定着させることを目指すものである。

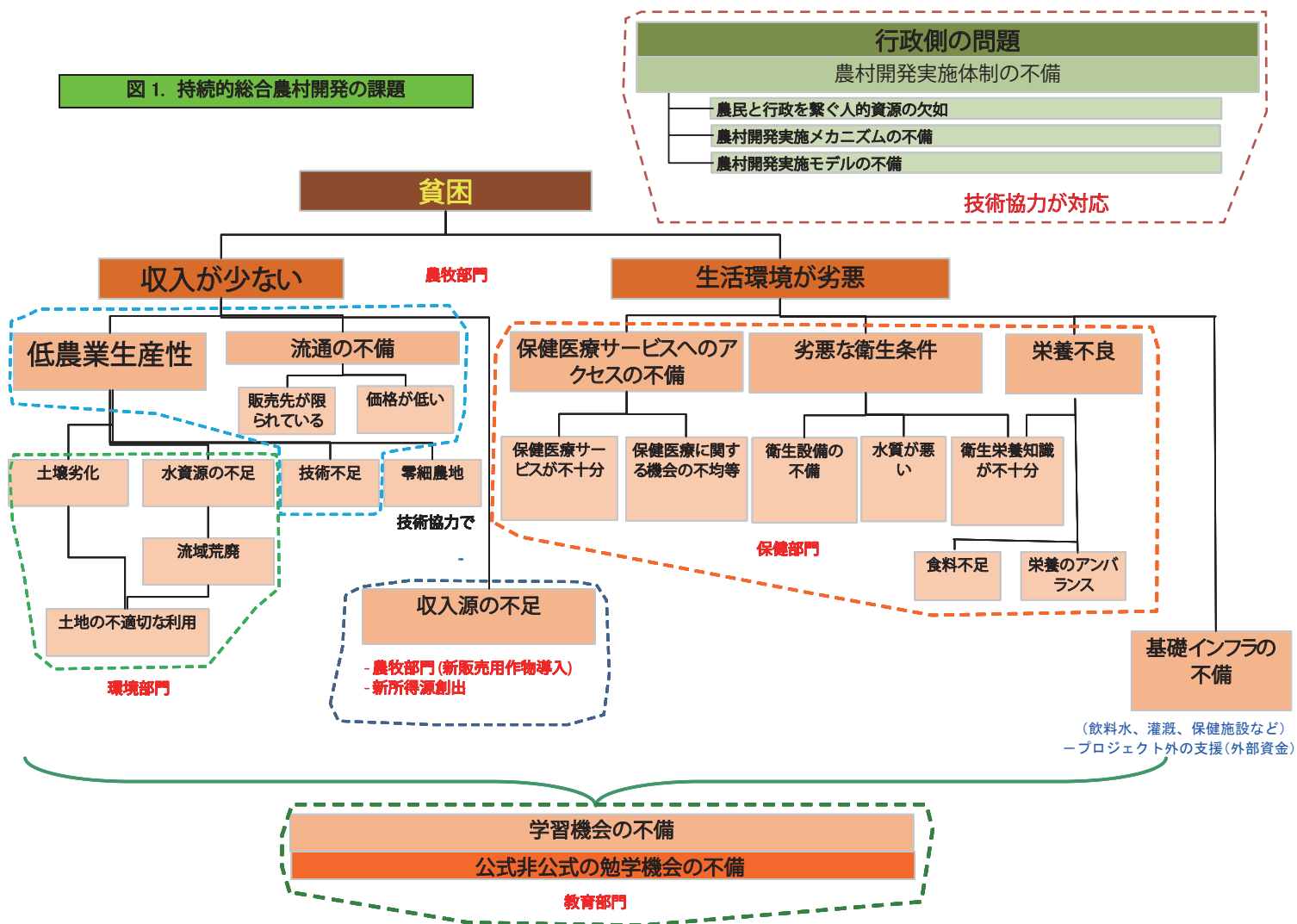
フェーズIは、2009年にベースライン調査を行い、開発モデルを提示し、2010年にはパイロットプロジェクトを実施することになっている。2009年10月末より4分野の短期専門家が来て、カウンターパートとともに、フェーズI(2009年3月から2011年2月)とフェーズII(2011年2月から2016年3月)および技術協力終了後のエクアドル側の自助努力による持続的総合農村開発の戦略作成を行った。

2. 持続的総合農村開発の全体戦略

(1) 主要課題

プロジェクトは、対象村落の現状やニーズを把握するため、9村について、現地踏査、ベースライン調査（村議会や村人に対するインタビュー調査やアンケート調査）、参加型ワークショップを行ってきた。これらの調査結果や、専門家やカウンターパートの意見、経験、知識に基づいて、図1のように、農村の主要な問題点が整理された（図1参照）。

図 1. 持続的総合農村開発の課題



主要問題の分析を通して、農村の問題が、複合的原因によって構成されていることが再確認された。これらの原因は、主に、農牧生産、環境、保健、教育の4分野に関わるものである。プロジェクトは、これら4分野から農村部の問題に対して対策を考えていく。各部門の現状と課題に関しては、部門別の戦略において個々に後述される。

4部門が直接に取り扱わないものとして、インフラと新所得源創出の問題がある。インフラ開発は、灌漑、水道サービス修復、保健施設等のように、大きな資金を必要とする。しかし、プロジェクトは、自助努力に重点をおく考え方から、お金のかからない開発方法を追求するものなので、資金が限られている。プロジェクトが直接にインフラ部門に取り組むのは難しい。しかし、インフラ部門は、農村開発にとって重要である。そこで、プロジェクトは、戦略実施体制で述べるように、インフラ及び経済所得の技術支援グループを設置することを考えている。このグループは、インフラ開発及び新所得源の可能性を模索し、活動を調整し、NGO国際機関などのようなプロジェクト外の支援と仲介を試みるものである¹。

さらに、行政側の問題も存在している。持続的農村総合開発を実施するシステムが不十分であると考えられる。第1に、農村の人々を指導し、農村開発を促し、農村の人々を行政側に結び付けるような、農村と行政の間に位置する人的資源が不十分である。第2に、総合農村開発を実施していく組織的メカニズムが不十分である。第3に、総合農村開発を実施する方法論が不十分である。

主要課題の分析からプロジェクトが取り組まなければならない目的が導かれる。それは次のようなものである。

- (1) 所得の向上と農村生活環境の改善を通して総合農村開発を行う。
- (2) 総合農村開発を実施する行政組織システムを確立する。

¹ ちなみに、日本政府に關係する金融支援としては、MAGAPが管理している2KR見返り資金と、日本大使館が管理しているAPCがある。

(2) 方法

これらの目的を達成するには、次のような方法が必要である。

1) 農村開発による生活の持続的向上

農村の低開発は、様々な複合的要因によって引き起こされている。従って、適切な協力とは、農村開発に役立つように、様々な部門を組み合わせたプログラムとなると考えられる。

農村開発は、人間の安全保障の一部である。人間の安全保障は、安全保障の総合的概念として発達してきた。人間の安全保障は、安全の最終的受益者である人間に焦点を当てた概念である。生活の保全と個人と共同体の能力開発に重点を置く考えである。それは、人間の安全保障の一部であり、生活の色々な側面の総合的開発を必要とするものである。

総合農村開発を達成するためには持続的努力が必要である。何故なら、生活の多くの要素を改善していくには、長い時間がかかるからである。持続的農村開発を実施していくには、農村住民のイニシアティブによる積極的参加が必要である。

カウンターパート組織と関連機関の間の調整と橋渡しを通して、共同体の効果的参加に基づいて、持続的総合農村開発に役立つ活動を実践していくことが重要である。

2) マルチセクター間の相互の緊密な連携

農村の主要課題の分析から、重要な中心的部門として、次のものが考えられる。農牧生産、環境、保健、教育、インフラ、新所得源創出。部門間のリンケージ戦略を参照されたい。

(3) 到達目標

1) 上位目標

a. 対象農村部の生活改善
プロジェクト終了後、自助努力を通して、最終的に目指される目標である。

2) フェーズ I と II の目標

a. 持続的総合農村開発モデルの構築

このモデルは、効果的で、普及性があり、カウンターパートの能力で実行可能なものでなければならない。

b. カウンターパートによる開発実施体制の構築

モデル集落におけるパイロットプロジェクトの実施を通じた体制の整備、体制構築の目的の理解、将来における農村開発事業の継続と拡大が必要である。

(4) プロジェクトの期間

a. フェーズ I ; 2009 年 3 月から 2011 年 2 月

- ・パイロットプロジェクトの実施
- ・開発実施運営組織の構築

b. フェーズ II ; 2011 年 3 月～5 年間

- ・後継事業の実施

(5) 対象地域

1) フェーズ I ;

フェーズ I のモデル集落は次のとおりである。

	郡	地区	集落
1	Riobamba	Licto	Cecel San Antonio
2	Riobamba	Calpi	Rumicruz
3	Guamote	Palmira	Sarachupa
4	Guamote	Matriz	Chismaute Telán
5	Colta	Columbe	San Martín Alto
5	Colta	Cicalpa	Lirio
5	Colta	Cicalpa	Canal Huanona
5	Colta	Cicalpa	Huacona
5	Colta	Cicalpa	Rumi Loma

2) フェーズ II;

フェーズ II に関するミニッツやR/Dの議論を通してモデル集落数は拡大される。

(6) 責任

1) JICA.

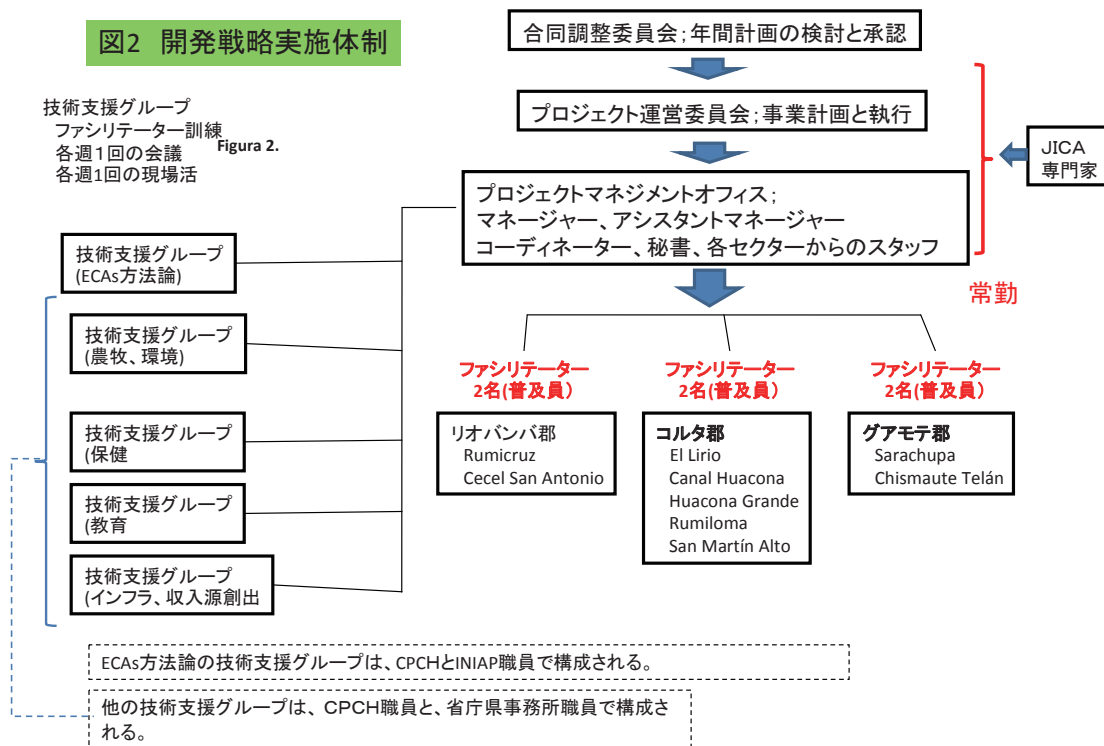
技術協力実施、日本人専門家の派遣、業務に必要な機材、カウンターパート訓練、日本人専門家の業務費

2) エクアドル側

普及員/ファシリテーターの長期雇用、各部門の技術者レベルの技術支援グループの形成、プロジェクト管理事務所の設置、活動費の分担、事務所施設と必要な機材

(7) 戦略実施体制

総合農村開発戦略実施体制を、図2に示す。



合同調整委員会(CCC)が、方針を決め、活動計画を点検し承認する。プロジェクト運営委員会(COP)が、プロジェクトに関する立案及び実施を指導する。プロジェクトマネジメントオフィスがプロジェクトを管理する。

普及員/ファシリテーターが、プロジェクトマネジメントオフィスの指導下で集落の農村開発を指導促進する。技術支援グループは、普及員/ファシリテーターを技術的に訓練し、必要に応じて集落で技術指導を行う。

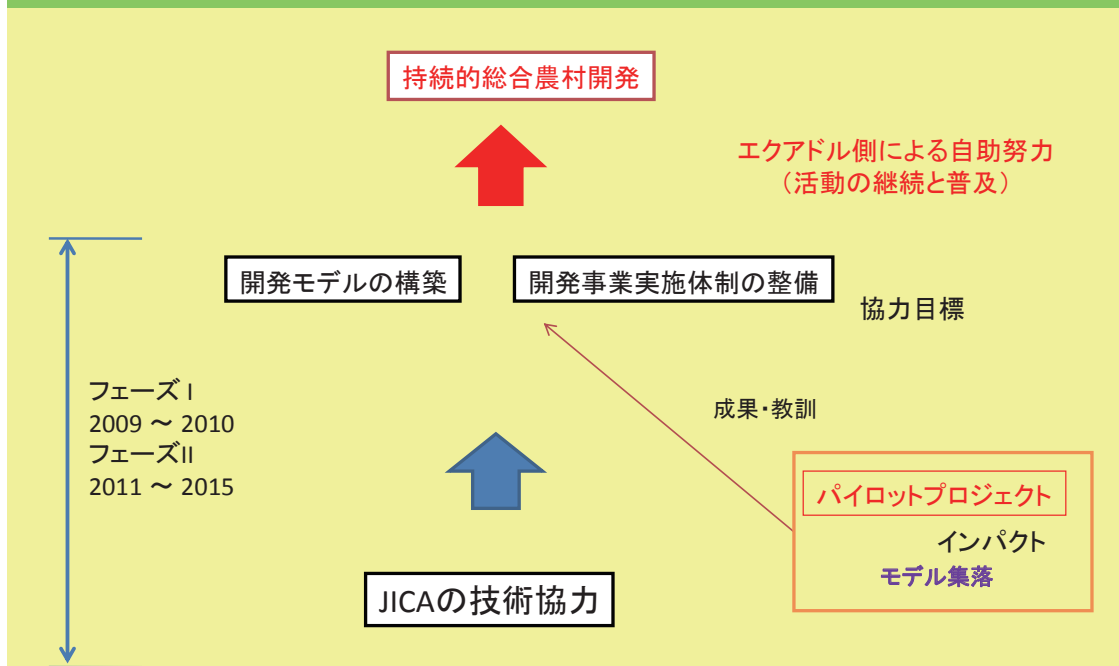
カテゴリー	主要業務	注
合同調整委員会(CCC)	<ul style="list-style-type: none"> - 年間計画の検討と承認 - プロジェクト進捗状況の検討と承認 - 主要課題及び不測の事態に関する検討と意見交換 - 調整促進 	6ヶ月ごとにキトで開催
プロジェクト運営委員会(COP)	<ul style="list-style-type: none"> - 運営計画の立案 - 進捗モニターと評価 - 活動予算の割当て - 他の関係機関との調整 	毎月リオバンバで開催
プロジェクトマネジメントオフィス(OAP)	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクト管理 - CCC y COP に情報提供 - プロジェクト推進上必要な業務 	常勤
マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> - プロジェクトのコントロール - プロジェクトの外部組織との関係調整 - プロジェクト推進上必要な業務 	常勤
副マネージャー	<ul style="list-style-type: none"> - マネージャーの補佐 - プロジェクト推進上必要な業務 	常勤
調整員	<ul style="list-style-type: none"> - 各部門間の関係調整 - プロジェクト推進上必要な業務 	常勤
4名の技術者	<ul style="list-style-type: none"> - 各部門の活動を担当 - 各部門について普及員を支援 - 各部門の技術支援グループに参加 - プロジェクト推進上必要な業務 	常勤
普及員/ファシリテーター	<ul style="list-style-type: none"> - 農村開発を指導し促進する - 技術的訓練を受ける - 集落で農民学校を推進する - 活動をモニターする - プロジェクト推進上必要な業務 	常勤 (通常の普及員より多くの仕事を行う)
技術支援グループ(GAT)	<ul style="list-style-type: none"> - 普及員を訓練する - 状況に応じて集落で技術支援を行う - モニタリングに参加する - プロジェクト推進上必要な業務 	技術者はプロジェクトのために週2日働く。

(8) 自助努力による上位目標の達成

JICAによる技術協力プロジェクトは、開発モデルの構築と、開発実施体制構築を目指している。パイロットプロジェクトは、モデル集落で実施される。プロジェクト到達目標を達成するため、パイロットプロジェクトの実施の結果と教訓が利用される。

持続的総合農村開発を達成するには、持続的な活動が必要である。技術協力終了後、自助努力を通して、総合農村開発達成のための活動を、エクアドル側が継続し、波及させていくことが期待される。(図3を参照。)

図3 JICAの協力と自助努力による上位目標の達成



(9) モニタリング及び評価

1) フェーズ I のパイロットプロジェクト

パイロットプロジェクトは、後継プロジェクトに、持続的総合農村開発に関する教訓を提供するために、モニタリングと評価を行わなければならない。

活動	責任者
モニタリング及び評価の指標の決定	プロジェクトマネジメントオフィス (OAP)、技術支援グループ (GAT)、専門家
定期的にモニタリングを行い、OAP に報告する	普及員/ファシリテーター、OAP、GAT
終了以前にパイロットプロジェクトの評価を行う	OAP、関連組織、集落、専門家、普及員/ファシリテーター、その他
ECA 終了前に参加型評価を行う	ECA 参加者、普及員/ファシリテーター
ベストプラクティス等を確認する	OAP、専門家
モニタリング及び評価の結果をまとめ、報告する	OAP、専門家
結果に基づき総合農村開発の戦略と計画を再検討する	OAP、専門家
総合農村開発の提案されている方法とモデルを再検討する	OAP、専門家
集落農民への訓練用テキスト教材と普及員/ファシリテーターへの訓練マニュアルを作成する	OAP、GAT、専門家、普及員/ファシリテーター
開発方法に関するマニュアルを作成する	OAP、専門家

2) フェーズ II

フェーズ II は、技術協力終了後、自助努力によって、エクアドル側が行うプロジェクトに対して、持続的総合農村開発についての教訓を提供するために、モニタリングと評価を行わなければならない。

活動	責任者
モニタリング及び評価の指標の決定	プロジェクトマネジメントオフィス (OAP)、技術支援グループ (GAT)、専門家
定期的にモニタリングを行い、OAP に報告する	普及員/ファシリテーター、OAP、GAT
プロジェクトの中間評価及び終了時評価を行う	OAP、関連組織、集落、専門家、普及員/ファシリテーター、その他
ECA 終了前に参加型評価を行う	ECA 参加者、普及員/ファシリテーター
ベストプラクティス等を確認する	OAP、専門家
モニタリング及び評価の結果をまとめ、報告する	OAP、専門家
結果に基づき総合農村開発の戦略と計画を再検討する	OAP、専門家
総合農村開発の提案されている方法とモデルを再検討する	OAP、専門家
訓練用テキストと訓練マニュアルを作成する	OAP、GAT、専門家、普及員/ファシリテーター
プロジェクトが確立した開発モデルを広げるため開発モデルマニュアルを作成する	OAP、専門家

II セクター間協力の戦略

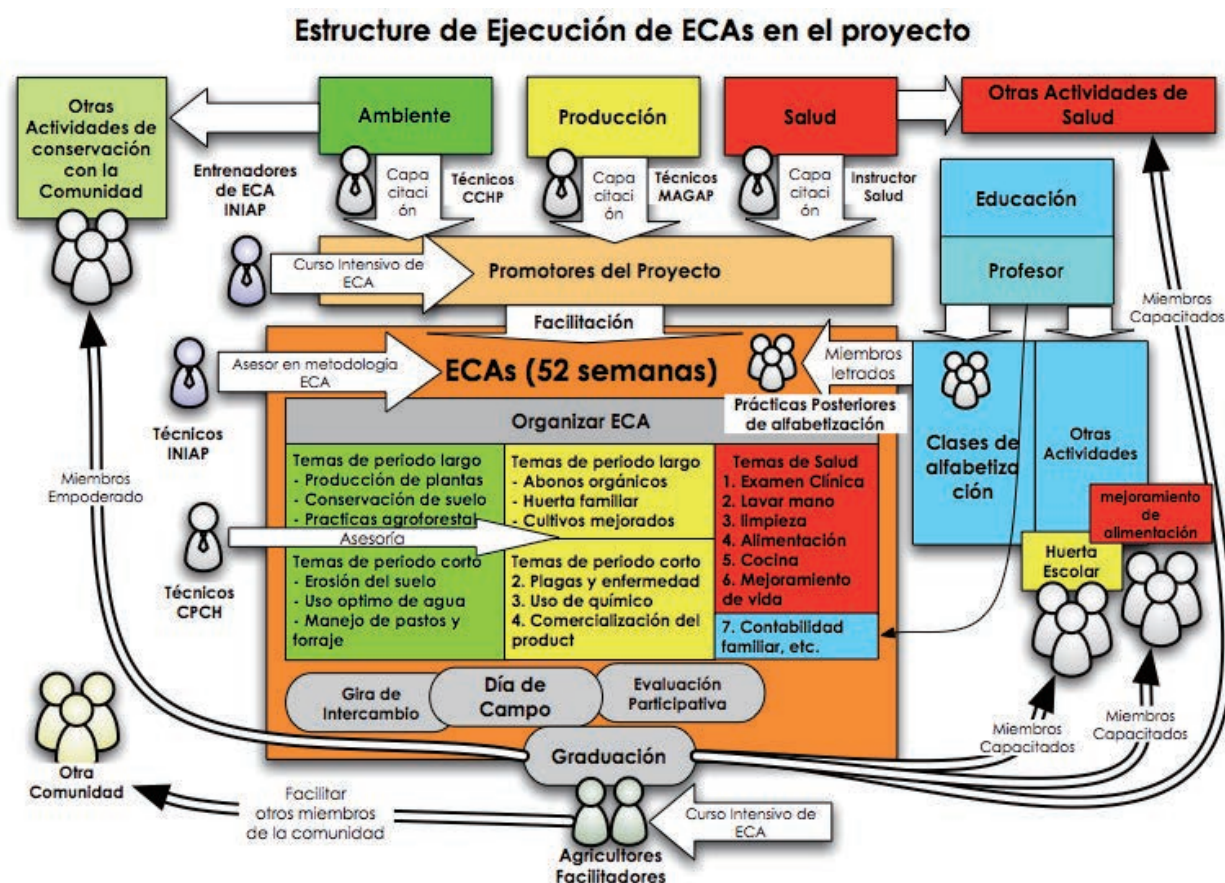
1. 農民学校（ECA）を通じたセクター間のリンケージ

・目的

対象地域の住民は様々な分野の問題をかかえているが、それに対処するために普及活動を行い、学習機会を提供できる人材は、すべてのセクターを通じて少なく、農民の学習機会は非常に限定されている。この様な状況に対して、セクター間の連携協力を促進し、一人の普及員が、地域住民の持つ様々な分野に関する学習ニーズに対し、総合的に応えられるような、住民サイドでの受け入れの枠組みを農民学校（ECA）の手法を使って構築する。同時にマルチセクターで関与することによる相乗効果や、セクター間で重複する課題を簡素化する等の効果も期待する。

・アプローチ法

共同体内に組織された農民学校を住民の総合的な能力強化のためのプラットフォームとして位置づけ、住民の多様なニーズに対して環境・農業・保健・教育のそれぞれの分野から適切な知識・技術を提供できるように企画・調整していく。多様化したニーズに対するファシリテーター（プロジェクト普及員）の様々な技術不足は、関連省庁や研究機関の技術者のサポートを利用し、普及員の技術研修による能力強化を実施したり、直接ECAの講師として調達することとする。それぞれの分野における協調関係と能力強化のテーマの事例に関しては下図に示した。



2. その他

ECA以外にも、教育セクターと健康セクターによる「学校での健康プログラム」や農業セクターと教育セクターによる学校菜園等の、セクター間の協調活動を実施していく。

Ⅲ. 分野別戦略

A. 農牧分野開発戦略

1. 現状

1) 農畜産業

参加型アンケート調査では、有機農法を実施しているという結果もあるが、家畜糞を作土に攪拌しているのみで、実際には有機肥料（堆肥）の利用は行われていない。そのため、作物毒素が誘発されており、低収量の原因となっている。これは、有機肥料が得られるような発酵過程を適用していないためである。化学肥料、農薬も利用が見られるが、使用容量の誤り、推奨されている方法では施肥、散布は行われていない。

また、利用耕区が極端に小さく、過剰な輪作が行われている（対象集落の保有耕区平均は、1.6ha程度であるが、1耕区は0.25ha程度のものも多く見られる）。

さらに対象集落では、地域固有種が失われつつある。農産物は生活の糧となっているが、新品種（換金作物）の導入が遅れている。

畜産の状況については、ほとんどの農家が自家消費用の家畜を飼育している。土壌劣化、灌漑水の不足などが原因で飼料基盤が脆弱である。

2) 耕作地の肥沃度の低下

対象集落は傾斜地の多いシエラ地帯に位置している。集落の耕地は、ミニフンディオの影響で傾斜地に移行している。傾斜地は、不適切な開墾により作土がほぼ流出しており、地力が低下している。平坦な箇所も僅かに存在しているが、全耕作地に占める割合は参加型アンケート調査によると2、3割程度であり、長期間にわたる耕作で酷使しているため、劣化が進行している。

3) マーケティング

MAGAP 主導により、小農家が生産物を販売する Feria Ciudadara の開催が見られるが、本地域の対象集落ではまず自家消費用の農畜産物を確保することが優先的である。農業生産性の低さから収量も低いため収入源は乏しい。販路については、販売先が少ない、市場への農産物の輸送が困難、安い価格で仲買人に販売されてしまうなどの問題を抱えている。

2. 課題

1) 農畜産業

- ・ 有機肥料（堆肥の利用は、行われていない。また化学肥料、農薬も利用が見られるが、適正技術による利用はされていない。
- ・ 利用耕区が極端に小さく、過剰な輪作が行われている。
- ・ 固有種は失われつつあり、新品種（換金作物）の導入等が遅れている。
- ・ 土壌劣化、灌漑水の不足などが原因で飼料基盤が脆弱であり、農畜産物の収益は低い。中型～大型家畜の1農家あたりの頭数は少ない。

2) 土地の肥沃度

- ① 傾斜地では、不適切な開墾により土壌が侵食、風化しており、農業生産に不適な土地が広域に存在している。（土壌保全、有機肥料の必要性）
- ② 平坦な耕作地においても、長年の耕作により、肥沃度の低下が生じている。（有機肥料の必要性）

（注）

ミニフンディオの問題については、地域の伝統的な問題であるため、本プロジェクトでは取り上げない。

3) マーケティング

- ・ 対象地域では農業生産性は低く、生産物の大部分は自家消費用に回されるため、収入源は乏しい。
- ・ 販路については、販売先が少ない、市場への農産物の輸送が困難、安い価格で仲買人に販売されてしまうなどの問題を抱えている。

3. 目的

1) 全体目的

チンボラソ県において、キャパシティービルディングされた村落の潜在的能力を高めるために、自発的な村落の参加および関係機関の参加を通し、農畜産業の向上に寄与すること。

2) 個別目的

1) 農畜産業

適正技術による農畜産物の生産向上に寄与すること。

2) 土壌の肥沃度（土壌保全）

土壌、植生、水などの自然資源の悪化を軽減すること

3) マーケティング

地域農業のマーケティングの仕組みの見直しに寄与する。

4. 開発対象地域

チンボラソ県 9 村を対象とする。但し、FASE II では、下記の集落以外への活動拡張も検討する。

Cantón	Parroquia	Comunidad
Riobamba	Licto	Cecel San Antonio
	Calpi	Rumicruz
Guamote	Palmira	Sarachupa
	Matriz	Chismaute Telán
Colta	Columbe	San Martín Alto
	Cicalpa	El Lirio
		Canal Huanona
		Huacona
		Rumi Loma

5. 手法

1 集落につき 1 箇所、週 1 回の農民学校を実施することで、上記課題に対する住民の能力強化を図る。なお、パイロットプロジェクトでは、Huacona Grande, Canal Huacona, Rumi Loma については、ECA は実施しない。

また、集落内家畜用常備薬、農産物集荷センター、および灌漑施設に関する活動は、直接住民を対象とするのではなく、本プロジェクトの実施体制を活用し関係機関との連携を強化するものとする。

6. 全体活動計画

アンケート調査および現状から、パイロットプロジェクトを含む全体活動計画を表 1 のように定めた。

表 1 全体活動計画

分野	アプローチ	対象集落	プロジェクト	2010	2011	2012	2013	2014	2015	C/P	
農畜産業	適正技術による農畜産物の生産向上に寄与すること	9集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telan y Sarachupa)	1.有機肥料の作成および利用	←→						MAGAP、JICA、HCPCH、集落(ECAへの参加)	
			2.自家栽培種子の生産、増産の助成(地域固有種の保存、再評価、手法の蓄積、普及)		←→					MAGAP、JICA、HCPCH、集落(ECAへの参加)	
			3.総合的病虫害管理(IPM)			←→					MAGAP、JICA、HCPCH、集落(ECAへの参加)
			4.集落内での農業関連プロモーターの形成(OJT)			←→					MAGAP、JICA、HCPCH、集落(ECAへの参加)
			5.集落内家畜用常備薬の配置		←→						MAGAP、JICA、HCPCH、集落(ECAへの参加)
土壌保全	土壌、植生、水などの自然資源の悪化を軽減すること	9集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona,	1.土壌回復・保全工	←→						MAGAP、MAE、JICA、HCPCH、集落(ECAへの参加)	
			2.アグロフォレストリーの実践	←→						MAGAP、MAE、JICA、HCPCH、集落(ECAへの参加)	
			3.水資源の適正利用の実践	←→						MAGAP、MAE、JICA、HCPCH、集落(ECAへの参加)	
マーケティング	地域農業のマーケティングの仕組みの見直しに寄与する	9集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute	1.地域農産物競争力のための市場調査(C/P側で実施)		←→					JICA、HCPCH、C/P	
			2.農家グループの形成(ECA等による強化)		←→					MAGAP、JICA、HCPCH、集落(ECAへの参加)	
			3.付加価値づけ、マイクロエンタープライズの創出			←→				MAGAP、JICA、HCPCH、集落(ECAへの参加)	
			4.農産物集積場の適正化および創出			←→				MAGAP、JICA、HCPCH、集落(ECAへの参加)	
灌漑	灌漑用水の可能性、または流量の確保のためのフィージビリティ調査を計画すること	9集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telan y Sarachupa)	集落組織化、フィージビリティ調査実現、プロジェクト計画、資金申請手続き		←→				MAGAP、MAE、JICA、HCPCH、集落、外部資金		

7. 個別活動計画

個別活動計画は以下の通りである。なお、各活動ともその効果を把握するために、指標を設定する。各活動を行う前には、指標を含む簡易なベースライン調査を行う必要がある。

農畜産業（有機肥料の作成および利用）

項目	内容
1) 活動範囲	9 集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telàn y Sarachupa)
2) 理由(妥当性)	1. ECA実施時への集落の関心のため 2. 9集落での優先順位の高さのため 3. 人材活用面での実現可能性 4. 緊急性が高い 5. 土壌組成状態の改善のため
3) 手法	農民圃場学校 (ECA)
4) 期待される成果	1. 小農家が有機肥料についてキャパシティビルディングされる 2. 土壌および農作物が改善される
5) 指標	2011末までに、各集落においてECA参加者の20%が有機肥料を適用する
6) 活動	1. 集落組織化 2. ECAでのキャパシティビルディング計画 3. キャパシティビルディング計画の共有化 4. ECAでの有機肥料のキャパシティビルディング
7) 期間	10ヶ月(2010年3月開始)
8) 実施機関等	HCPCH, JICA, MAGAP, INIAP, 集落
9) 必要な投入	1. 実施機関及び集落の人材 2. 標示板 3. 農業用ビニール(黒) 4. みみず 5. 有機ごみ(わら等) 6. 技術者およびプロモーターの移動手段 7. 農作物種子 8. 展示圃場
10) 資金	計画承認後決定

農畜産業（自家栽培種子の生産、増産の助成（地域固有種の保存、再評価、手法の蓄積、普及）

項目	内容
1) 活動範囲	9 集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telàn y Sarachupa)
2) 理由(妥当性)	1. 種子多様性の復元のため 2. 過程栄養状態の改善のため 3. 健康の源である 4. 収入源の改善のため 5. 固有種の知識共有のため
3) 手法	1. 農民圃場学校 (ECA) 2. 定期市での種子交換
4) 期待される成果	1. 小農家が地域固有種を保有する 2. 家計が改善する 3. 保健および栄養状態が改善する
5) 指標	ECAに参加した10%の小農家が地域固有の種子を保有すること
6) 活動	1. 種子の重要性についてのキャパシティビルディング (ECA) 2. ECAで地域の伝統作物種子エキジビション 3. 定期市での種子交換および知識習得 4. 地域固有種子の栄養価値および食物栄養習慣改革のキャパシティビルディング
7) 期間	2年間
8) 実施機関等	HCPCH, JICA, MAGAP, INIAP, 集落
9) 必要な投入	1. 実施機関及び集落の人材 2. 運用資金 3. 固有種の種子 4. キャパシティビルディング計画 5. パンフレット類 6. ロジスティクス
10) 資金	計画承認後決定

農畜産業（総合的病虫害管理（IPM））

項目	内容
1) 活動範囲	9 集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telán y Sarachupa)
2) 理由(妥当性)	1. 農産物増収につながる 2. 土壌微生物の減少軽減
3) 手法	農民圃場学校 (ECA)
4) 期待される成果	1. 農産物増収 2. キャパシティブルディングを受けた小農家が病虫害管理ができる 3. 汚染されていない農産物 (農薬、化学肥料の使用減少)
5) 指標	1. ECAに参加した20% の小農家が病虫害管理を自身の圃場で実施すること 2. ECAに参加した20% の小農家が病虫害管理についての知識を向上させること
6) 活動	1. 病虫害管理のためのECAを形成することによる提示 2. ECA参加者の要望事項および関心事項の合意に基づいた計画 2.1 輪作 2.2 病害虫の識別 2.3. 益虫と病害虫の識別 2.4. 農薬の毒性についての理解 2.5. 展示圃場でのプロジェクト実施 3.自家農場での総合病虫害管理の準備
7) 期間	2年間
8) 実施機関等	HCPCH, JICA, MAGAP, INIAP, 集落
9) 必要な投入	1. 実施機関及び集落の人材 2. 運用資金 3. 展示圃場 4. 有機肥料 5. 教材 (パンフレット類、展示用三脚など)
10) 資金	計画承認後決定

農畜産業（集落内での農業関連プロモーターの形成(OJT)）

項目	内容
1) 活動範囲	9 集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telàn y Sarachupa)
2) 理由(妥当性)	1. 集落における人材の能力向上、および集落内での新規ファシリテーター-およびリーダー育成のため 2. 小農家の結びつき強化のためのプロモーター同士の連携のため 3. 競争力改善のために、キャパシティービルディングされた小農家が強化される 4. 利用可能な集落資源が創出・発見される
3) 手法	農民圃場学校 (ECA)
4) 期待される成果	1. キャパシティービルディングされた集落内のプロモーターが、日常生活上の物品を利用すること、またはその経験を利用することによって、インタラクティブな学習を促進すること 2. 農業技術についてキャパシティービルディングされた集落内のプロモーターが、存在すること
5) 指標	農業畜産技術を修得したプロモーターが2人存在すること
6) 活動	1. ECAを通じた、農業知識の習得 2. 候補者へのキャパシティービルディング 3. 集落による人材の選定
7) 期間	1年間
8) 実施機関等	HCPCH, JICA, MAGAP, INIAP, COMUNIDADES
9) 必要な投入	1. 実施機関及び集落の人材 2. 運用資金
10) 資金	計画承認後決定

農畜産業（集落内家畜用常備薬の配置）

項目	内容
1) 活動範囲	9 集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telàn y Sarachupa)
2) 理由(妥当性)	1. 畜産物の改善に寄与する 2. 集落内で家畜用薬品の利用可能性が広がる 3. 農業収入向上のため 4. 仕事、ECA参加時間の創出
3) 手法	1. 農民圃場学校 (ECA) 2. 集落内回転資金で賄う。常備薬使用者は該当金額を支払う(または同じ薬を返却する。)
4) 期待される成果	1. 集落内家畜用常備薬配置、機能 2. 畜産についてキャパシティービルディングされたプロモータの存在
5) 指標	1. 家畜用常備薬が集落内で機能していること
6) 活動	1. 意識向上キャンペーンおよび家畜衛生教育 2. 集落内に集金制度の設置 3. 常備薬の価格設定 4. 常備薬の購入
7) 期間	2年間 (半年間は資金源の獲得、1年半は実施期間)
8) 実施機関等	HCPCH, JICA, MAGAP, 集落
9) 必要な投入	1. 実施機関及び集落の人材 2. 運用資金 3. 常備薬品(1,000ドル程度) 5. 教材 (パンフレット類、展示用三脚など)
10) 資金	計画承認後決定

土壤保全（土壤回復・保全工）

項目	内容
1) 活動範囲	9 集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telàn y Sarachupa)
2) 理由(妥当性)	1. 土壤物化学成分の改善に寄与する 2. 農畜産物の収益性向上に寄与する 3. 土壤流亡(侵食)の減少に寄与する
3) 手法	農民圃場学校 (ECA)
4) 期待される成果	1. 対象集落においてECAが実施される 2. 土壤扱い(土壤保全工)が実施される 3. 土壤扱い(土壤微生物)が実施される
5) 指標	1. 50%の小農家が土壤扱いについての能力と知識を習得する 2. 30%のECA参加者が土壤扱いの実践と保全工を実施する 3. 60%のECA参加者が得られる
6) 活動	1. グループ形成 2. 技術的な内容を決定. 3. 実施場所の選定・決定 4. 学習活動の実施 5. モニタリングおよびフォローアップ 6. 卒業
7) 期間	2010年3月～2016年2月
8) 実施機関等	HCPCH, JICA, MAGAP, INIAP, 集落
9) 必要な投入	1. 活動内容について知識のあるファシリテーター 2. 事務用品(マスキングテープ、新聞紙、マジック、水性ペン、カード) 3. 材料(クリノメーター、木材、縄、プロジェクター、コンピュータ、ハンマー、のこぎり、金属棒、山刀、つるはし、熊手、平板スコップ) 4. 植物材料(牧草種子・挿し穂、エンドウ科・燕麦種子) 5. 参加者用食品 6. ファシリテーターとプロモーターの移動手段 7. 体系化された経験
10) 資金	計画承認後決定

土壤保全（アグロフォレストリーの実践）

項目	内容
1) 活動範囲	9 集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telàn y Sarachupa)
2) 理由(妥当性)	1. 利用可能な水資源の最適化 2. 農畜産物の改善 3. 水資源の利用と保全について、生産者の重要性の認識 4. 空間の最適化
3) 手法	農民圃場学校 (ECA)
4) 期待される成果	1. ECAと集会 2. 水源、泉、湿地、川の支流が適正に取り扱われる 3. 組織内の能力を有した生産者および水系の管理 4. 生産者が水資源の利用最適化について技術と実践を習得している
5) 指標	1. 50%の小農家が土壌扱いについての能力と知識を習得する 2. 30%のECA参加者が土壌扱いの実践と保全工を実施する 3. 60%のECA参加者が得られる
6) 活動	1. グループ形成 2. 技術的な内容を決定. 3. 実施場所の選定・決定 4. 学習活動の実施 5. モニタリングおよびフォローアップ 6. 卒業
7) 期間	5年間
8) 実施機関等	HCPCH, JICA, MAGAP, INIAP, 集落
9) 必要な投入	1. 活動内容について知識のあるファシリテーター 2. 事務用品(マスキングテープ、新聞紙、マジック、水性ペン、カード) 3. 材料(クリノメーター、木材、縄、プロジェクター、コンピュータ、ハンマー、のこぎり、金属棒、山刀、つるはし、熊手、平板スコップ) 4. 植物材料 (牧草種子・挿し穂、エンドウ科・燕麦種子) 5. 参加者用食品 6. ファシリテーターとプロモーターの移動手段 7. 体系化された経験
10) 資金	計画承認後決定

土壤保全（水資源の適正利用の実践）

項目	内容
1) 活動範囲	9 集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telàn y Sarachupa)
2) 理由(妥当性)	1. 利用可能な水資源の最適化 2. 農畜産物の改善 3. 水資源の利用と保全について、生産者の重要性の認識 4. 空間の最適化
3) 手法	農民圃場学校 (ECA)
4) 期待される成果	1. ECAと集会 2. 水源、泉、湿地、川の支流が適正に取り扱われる 3. 組織内の能力を有した生産者および水系の管理 4. 生産者が水資源の利用最適化について技術と実践を習得している
5) 指標	1. 50%の小農家が土壌扱いについての能力と知識を習得する 2. 30%のECA参加者が土壌扱いの実践と保全工を実施する 3. 60%のECA参加者が得られる
6) 活動	1. グループ形成 2. 技術的な内容を決定. 3. 実施場所の選定・決定 4. 学習活動の実施 5. モニタリングおよびフォローアップ 6. 卒業
7) 期間	5年間
8) 実施機関等	HCPCH, JICA, MAGAP, INIAP, 集落
9) 必要な投入	1. 活動内容について知識のあるファシリテーター 2. 事務用品(マスキングテープ、新聞紙、マジック、水性ペン、カード) 3. 材料(クリノメーター、木材、縄、プロジェクター、コンピュータ、ハンマー、のこぎり、金属棒、山刀、つるはし、熊手、平板スコップ) 4. 植物材料 (牧草種子・挿し穂、エンドウ科・燕麦種子) 5. 参加者用食品 6. ファシリテーターとプロモーターの移動手段 7. 体系化された経験
10) 資金	計画承認後決定

マーケティング（付加価値づけ、マイクロエンタープライズの創出）

項目	内容
1) 活動範囲	9 集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telàn y Sarachupa)
2) 理由(妥当性)	1. 農畜産物のマーケティングにおける改善 2. 生産物の適正価格獲得への貢献 3. 本活動による家計経済の改善
3) 手法	農民圃場学校 (ECA)
4) 期待される成果	1. 農産・畜産農家のグループ化 (将来的には手工業品生産者も含む) 2. 生産物の付加価値
5) 指標	ECA参加の生産者のXX%がマイクロエンタープライズを目的としてグループ化される
6) 活動	1. 地位機能畜産生産物の競争力向上のため、市場調査が行われる (C/P機関による戦略による) 2. マーケティングのため、同様の目的を持った生産者グループが形成される (ECAを通しての組織強化) 3. ECAを通じたマーケティングのキャパシティビルディング 4. モニタリングおよびフォローアップ
7) 期間	3年間 (活動1、2で2年間)
8) 実施機関等	HCPCH, JICA, MAGAP, 集落
9) 必要な投入	1. 実施機関及び集落の人材 2. 材料および設備 (キャパシティビルディング用・付加価値創出用) 3. 運用資金 4. 移動手段、運搬手段
10) 資金	計画承認後決定

マーケティング（農産物集積場の適正化および創出）

項目	内容
1) 活動範囲	9 集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telàn y Sarachupa)
2) 理由(妥当性)	1. 流通経路の改善 2. 生産物の適正価格獲得への貢献 3. 本活動による家計経済の改善
3) 手法	農民圃場学校 (ECA)
4) 期待される成果	1. 農産・畜産農家のグループ化 (将来的には手工業品生産者も含む) 2. 農産物集積場の適正化および創出
5) 指標	1. 生産者のXX%がマイクロエンタープライズを目的としてグループ化される 2. 農産物集積場が集落内に存在する
6) 活動	1. 地位機能畜産生産物の競争力向上のため、市場調査が行われる (C/P機関による戦略による) 2. マーケティングのため、同様の目的を持った生産者グループが形成される (ECAを通しての組織強化) 3. ECAを通じたマーケティングのキャパシティビルディング 4. モニタリングおよびフォローアップ
7) 期間	3年間 (活動1、2で2年間)
8) 実施機関等	HCPCH, JICA, MAGAP, 集落
9) 必要な投入	1. 実施機関及び集落の人材 2. 材料および設備 (キャパシティビルディング用・付加価値創出用) 3. 運用資金 4. 移動手段、運搬手段
10) 資金	計画承認後決定

灌漑（灌漑フィージビリティ調査）

項目	内容
1) 活動範囲	9 集落 (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martin Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telàn y Sarachupa)
2) 理由(妥当性)	灌漑施設設置のための資金を獲得できるような技術的な文書を集落が保有できるようになる
3) 手法	本プロジェクトの実施体制との関係、および有効活用がきょうかされることにより実施される
4) 期待される成果	灌漑施設設置の可能性のフィージビリティ調査
5) 指標	----
6) 活動	1. 集落組織化
	2. HCPCH内の既存関係技術調査の情報収集
	2. 調査実施のための資金を斡旋する
	2. フィージビリティ調査の実施
	3. 灌漑調査実施のための関係機関に対する集落の、資金を得るための手続き
7) 期間	4年間半
8) 実施機関等	HCPCH, JICA, MAGAP, INIAP, 集落
9) 必要な投入	1. 実施機関及び集落の人材
	2. 資金
10) 資金	計画承認後決定

8. 留意点

- 1) モニタリング・評価は、プロジェクト実施中または実施後に重要であるため、FASE I 実施中にどのように行うか、方法を確立することが必要となる。
- 2) 土壌保全活動については、農畜産技術支援グループと環境技術支援グループとの連携が必要であるため、この点に留意する。
- 3) 活動を行う上で、ファシリテーターの役割は非常に重要である。このため、現在要請しているファシリテーター増員の必要性はきわめて高い。

B. 環境分野開発戦略

1. 現状

チンボラソ県の自然資源の劣化は深刻な問題の一つで、その保全と管理の欠如によって、日々悪化してきており、原住民や農民の共同体が存在する地域では特に深刻な様相を呈している。地域の土壌、特に原住民の共同体における土壌は自然遺産を構成する主要要素の一つであり、それが無くなることによって荒廃地化してしまい、生活を営んで行く上で不可欠な環境のみならず、社会・経済面に対しても重大な影響をあたえるという意味では再生不可能な貴重な資源といってもいいだろう。土壌は現在非常に大きな利用圧の下にあり、劣化のプロセスをたどっているが、この多くは制度的に許可されないような土地利用への転換による、持続性を前提としない農業・牧畜のやり方に起因し、また、地域共同体による計画性の不在もこの遠因になっている。

参加型の調査分析によって明らかのように、プロジェクト対象地域内の共同体のほとんどで、現在までの植林面積は全体で5%から10%程度と限定されたもので、本来なら植生被覆の70%は保全されなければならない状況であるにもかかわらず、自然草地の著しい減少が観察されている。また、不適切な耕耘、植生被覆の減少、水と風による侵食、地形によるもの等の様々な要因から、地域は荒廃地化の過程をたどる結果となっている。

2. 課題

環境分野の主な課題としては以下の4点が上げられよう。

2.1 土壌流乏

原因：

- ・ 傾斜地に於ける耕作
- ・ 不適切な農業慣行
- ・ 傾斜に沿った 人力、機械耕耘
- ・ 森林伐採
- ・ 焼き畑
- ・ 植生の不在

2.2 水資源の質と量の劣化

原因：

- ・ 水源と傾斜地に対する保護の不在
- ・ 森林伐採
- ・ 農地の拡張
- ・ 過放牧
- ・ 不適切な場所と樹種による植林
- ・ 水資源保全を奨励するための政策の不在等

2.3 援助依存

原因：

- ・ 援助機関による、長期的な持続性と更続性を考慮しない性急な援助の集中。
- ・ 自律発展性を考慮しない地域開発計画
- ・ 住民のエンパワーメントの不足

2.4 優良事例の非波及性

原因：

- ・ 環境保全の優良な事例の発現には時間がかかり、十分な広がりが必要だが、援助機関による協力機関は短く、少人数しか対象にしていない。
- ・ 環境保全の活動の多くは共同体の監視の必要性がある経済的な収入を生まない場合が多い。

- ・ 住民のエンパワーメントの不足

3. 目的

3.1 全体目的

環境分野の地域開発計画の実施プロセスが、援助に対して受け身であろうとする思いを打ち壊し、真の主体となって、個人自発的発展の能力を強化していくような、自然資源の持続的利管理に関する、住民のエンパワーメントを達成する。

3.2 具体的目的

- (1) 土壌保全・回復のやり方・実施に関する訓練
- (2) アグロフォレストリーのやり方に関する能力強化と実施指導
- (3) 水資源の適切な利用と管理に関する能力強化

4. 開発対象規模

プロジェクト活動の実施対象地域は、チンボラソ県の9村落（リオバンバ郡ルミクルス、セセル・サン・アントニオ、コルタ郡サン・マルティン・アルト、エル・リリオ、グワウコナ・グラнде、カナル・グワウコナ、グアモテ郡、ルミロマ、チスマウテ・テラン）である。

5. アプローチ方法

環境分野のプロジェクト活動の実施の手法として、個人あるいはグループを対象に用いるのは参加型普及手法の農民野外学校（ECA）であり、この手法は持続的な共同体の発展に貢献することを目的に、住民のよりよい意志決定と住民自身による技術革新のために、実践と具体的な行動の上に立った学習プロセスを支援し、参加者の知識と能力を強化するものである。

共同体レベルの活動テーマに関しては、村落共同体の議会を利用し、共同体内の環境に関する問題点解決に向かった活動に向けた対話、集会、組織化、計画と実施の可能性を探ることとする。

6. 全体事業計画

環境分野の全体事業計画の実施行程表を下図に示した。

目標	共同体数	活動	実施期間						カウンターパート機関	備考
			2010	2011	2012	2013	2014	2015		
自然資源 (土壌・植生・水)の劣化を緩和する	9 共同体 (ルミクルス、セセル・サン・アントニオ、サン・マルティン・アルト、エル・リリオ、グウワコナ・グランデ、カナル・グウワコナ、ルミロマ、チスマウテ・テラン)	土壌保全・回復のやり方・実施に関する訓練							チンボラソ県庁、JICA、農畜水産省、環境省、公共保健省、教育省、農牧研究所、村落共同体	
		アグロフォレストリーのやり方に関する能力強化と実施指導							チンボラソ県庁、JICA、農畜水産省、環境省、公共保健省、教育省、農牧研究所、村落共同体	
		水資源の適切な利用と管理に関する能力強化							チンボラソ県庁、JICA、農畜水産省、環境省、公共保健省、教育省、農牧研究所、村落共同体	

7. 個別事業計画

1. 土壌保全・回復技術・事業に関する訓練

ITEM	CONTENIDO
1) Área de cobertura	9 COMUNIDADES (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martín Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telán y Sarachupa)
2) Justificación	La escasez y disponibilidad de suelos en condiciones óptimas para la implementación de actividades agropecuarias, así como los problemas ambientales, la desertificación de las comunidades, la degradación de las tierras susceptibles a este proceso, la escasa protección y manejo de las micro cuencas, cuencas; el mantenimiento de humedales y la falta de sostenibilidad inserta en un proceso endógeno de cambio que perdure en el tiempo preservando el sistema ecológico, soporte de la vida humana, hace necesario la implementación de un modelo sostenible de recuperación, uso y manejo de los recursos: Suelo Agua Planta.
3) Metodología	La metodología a utilizar para el nivel individual y grupal es de extensión participativa (ECAs); a través de la cual se facilitará procesos de aprendizaje y diálogos de saberes, sobre realidades y acciones concretas, que permitirá fortalecer los conocimientos y habilidades de los y las participantes para mejorar la toma de decisiones y la innovación tecnológica con el objeto de contribuir al desarrollo comunitario sustentable.
4) Resultados esperados	1. Escuelas de campo implementadas en las comunidades de atención del proyecto. 2. Suelos con obras y prácticas físicas de manejo de suelos. 3. Suelos con prácticas biológicas de manejo de suelos.
5) Establecimiento de Indicadores	1. 50% de agricultores han desarrollado habilidades y conocimientos en el manejo de suelos. 2. 30% de los participantes en las ECA's han implementado prácticas y obras físicas de manejo de suelos. 3. 60% de los participantes en las ECA's han implementado prácticas biológicas de manejo de suelos.
6) Actividades	1. Establecimiento del grupo. 2. Determinación del contenido técnico. 3. Establecimiento de las parcelas. 4. Desarrollo de las actividades de aprendizaje. 5. Monitoreo y seguimiento. 6. Graduación.
7) Duración	Marzo 2010 a Febrero 2016
8) Institución Ejecutora	HCPCH, JICA, MAGAP, MAE, MSP, ME, INIAP, COMUNIDADES
9) Insumos Necesarios	1. Facilitadores temáticos. 2. Material de oficina (masking, papel periódico, marcadores, tiza líquida, tarjetas). 3. Materiales y equipos (clinómetro, tiras de madera, piola, proyector, computador, martillo, azada, barra, machete, pico, rastrillo, pala plana). 4. Material vegetativo (semillas y esquejes de pasto, semillas de vicia y avena). 6. Alimentación para participantes. 7. Movilización para facilitadores y promotores. 8. Sistematizador de la experiencia.
10) Aporte	Se determinará después de la aprobación del plan.

2. アグロフォレストリーのやり方に関する能力強化と実施指導

ITEM	CONTENIDO
1) Área de cobertura	9 COMUNIDADES (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martín Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telán y Sarachupa)
2) Justificación	La escasez y disponibilidad de suelos en condiciones óptimas para la implementación de actividades agropecuarias, así como los problemas ambientales, la desertificación de las comunidades, la degradación de las tierras susceptibles a este proceso, la escasa protección y manejo de las micro cuencas, cuencas; el mantenimiento de humedales y la falta de sostenibilidad inserta en un proceso endógeno de cambio que perdure en el tiempo preservando el sistema ecológico, soporte de la vida humana, hace necesario la implementación de un modelo sostenible de recuperación, uso y manejo de los recursos: Suelo Agua Planta.
3) Metodología	La metodología a utilizar para el nivel individual y grupal es de extensión participativa (ECAs); a través de la cual se facilitará procesos de aprendizaje y diálogos de saberes, sobre realidades y acciones concretas, que permitirá fortalecer los conocimientos y habilidades de los y las participantes para mejorar la toma de decisiones y la innovación tecnológica con el objeto de contribuir al desarrollo comunitario sustentable.
4) Resultados esperados	1. Escuelas de campo implementadas en las comunidades de atención del proyecto. 2. Viveros comunales equipados e implementados. 3. Sistemas agroforestales implementados y manejados.
5) Establecimiento de Indicadores	1. 50% de agricultores han desarrollado habilidades y conocimientos en el manejo de suelos. 2. 30% de los participantes en las ECA's han implementado prácticas y obras físicas de manejo de suelos. 3. 60% de los participantes en las ECA's han implementado prácticas biológicas de manejo de suelos.
6) Actividades	1. Establecimiento del grupo. 2. Determinación del contenido técnico. 3. Establecimiento de las parcelas. 4. Desarrollo de las actividades de aprendizaje. 5. Monitoreo y seguimiento. 6. Graduación.
7) Duración	1. 50% de agricultores han desarrollado habilidades y conocimientos en sistemas agroforestales. 2. Nueve viveros comunales implementados y produciendo. 3. 50% de los participantes en las ECA's valoran, implementan y manejan sus sistemas agroforestales (silvo y agroforestal).
8) Institución Ejecutora	HCPCH, JICA, MAGAP, MAE, MSP, ME, INIAP, COMUNIDADES
9) Insumos Necesarios	1. Facilitadores temáticos. 2. Material de oficina (masking, papel periódico, marcadores, tiza líquida, tarjetas). 3. Materiales y equipos (malla, tiras de madera, piola, proyector, computador, martillo, azada, barra, machete, pico, rastrillo, pala plana, postes, plástico, alambre, manguera, tablas, fundas de polipropileno y regaderas, tijera de podar, etc.). 4. Material vegetativo (semillas y esquejes de especies forestales y frutales). 6. Alimentación para participantes. 7. Movilización para facilitadores y promotores. 8. Sistematizador de la experiencia.
10) Aporte	Se determinará después de la aprobación del plan.

3. 水資源の適切な利用と管理に関する能力強化

ITEM	CONTENIDO
1) Área de cobertura	9 COMUNIDADES (Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martín Alto, El Lirio, Guacona Grande, Canal Guacona, Rumiloma, Chismaute Telán y Sarachupa)
2) Justificación	La escasez y disponibilidad de suelos en condiciones óptimas para la implementación de actividades agropecuarias, así como los problemas ambientales, la desertificación de las comunidades, la degradación de las tierras susceptibles a este proceso, la escasa protección y manejo de las micro cuencas, cuencas; el mantenimiento de humedales y la falta de sostenibilidad inserta en un proceso endógeno de cambio que perdure en el tiempo preservando el sistema ecológico, soporte de la vida humana, hace necesario la implementación de un modelo sostenible de recuperación, uso y manejo de los recursos: Suelo Agua Planta.
3) Metodología	La metodología a utilizar para el nivel individual y grupal es de extensión participativa (ECAs); a través de la cual se facilitará procesos de aprendizaje y diálogos de saberes, sobre realidades y acciones concretas, que permitirá fortalecer los conocimientos y habilidades de los y las participantes para mejorar la toma de decisiones y la innovación tecnológica con el objeto de contribuir al desarrollo comunitario sustentable.
4) Resultados esperados	1. ECAs y Asambleas 2. Fuentes, vertientes, humedales o afluentes de agua manejadas adecuadamente. 3. Agricultores con habilidades en organización y administración de sistemas de agua. 4. Agricultores conocen de técnicas y prácticas de optimización del uso del agua.
5) Establecimiento de Indicadores	1. 50% de agricultores han desarrollado habilidades y conocimientos en el manejo de suelos. 2. 30% de los participantes en las ECA's han implementado prácticas y obras físicas de manejo de suelos. 3. 60% de los participantes en las ECA's han implementado prácticas biológicas de manejo de suelos.
6) Actividades	1. Establecimiento del grupo. 2. Determinación del contenido técnico. 3. Establecimiento de las parcelas. 4. Desarrollo de las actividades de aprendizaje. 5. Monitoreo y seguimiento. 6. Graduación.
7) Duración	1. 50% de agricultores han desarrollado habilidades y conocimientos en sistemas agroforestales. 2. Nueve viveros comunales implementados y produciendo. 3. 50% de los participantes en las ECA's valoran, implementan y manejan sus sistemas agroforestales (silvo y agroforestal).
8) Institución Ejecutora	1. 50% de agricultores han desarrollado experticias en el uso y manejo adecuada del agua. 2. Una fuente/vertiente /humedal/afluente de agua comunitaria manejada adecuadamente. 3. Juntas Administradoras de Agua con habilidades en organización, administración y operación de su sistema. 4. Nueve centros demostrativos de optimización del uso del agua para consumo humano y riego.
9) Insumos Necesarios	1. Facilitadores temáticos. 2. Material de oficina (masking, papel periódico, marcadores, tiza líquida, tarjetas). 3. Materiales y equipos (malla, tiras de madera, piola, proyector, computador, martillo, azada, barra, machete, pico, rastrillo, pala plana, postes, plástico, alambre, manguera, tablas, fundas de polipropileno y regaderas, tijera de podar, etc.). 4. Material vegetativo (semillas y esquejes de especies forestales y frutales). 6. Alimentación para participantes. 7. Movilización para facilitadores y promotores. 8. Sistematizador de la experiencia.
10) Aporte	Se determinará después de la aprobación del plan.

C. 保健分野開発戦略

1. 地域の現状

1) 生活環境

プロジェクトの9つのモデル地域には平均67家族（1家族平均3.7名）が住む。しかし、人口サイズは最小のカナルプアカナの52名から最大のチスマウテ・テランの613名と大きな差があり、村の自然環境も一様ではない。全部の村に小学校や幼稚園があり、水道・電気がほとんどの家にある一方で²、家屋の状況は劣悪で、トイレはないか（地域により5-53%）、あっても使えないか、使っていないというような状況がある。ほとんどの家庭が農業を営むものの現金収入が少ないことから多くの男性が出稼ぎに出るため、家族や動物の世話だけではなく、農作業も女性の仕事になっている。親が畑仕事に出るときは子供が家に一人で残されることも多い（平均22%）。このような生活環境の中、地域の乳幼児間では呼吸器疾患や腹痛、下痢、寄生虫、栄養問題が多く、成人の間ではこれらに加え、畑労働から起因すると思われる間接の痛みなどが多い。下記に述べるように、身近に保健サービスがないことから伝統治療として薬草の利用が多く見られる。

2) 保健サービスへのアクセス

9地域のうち、医療サービスへのアクセスへのアクセスが常時あるのはリリオだけである。しかし、社会保険の診療所であるため、被保険者のみが利用できる。医師あるいは准看護師が週1回訪問するのは2地域だけで、他6地域では巡回診療はほとんど来ない。そのため住民は別の地域の保健センターや町の病院に行く。7地域は交通の便はあるが、サラチュパやチスマウテ・テランは幹線道路までの距離があり住民は緊急時の対応を懸念する。保健省の保健施設は建前、無料であるが時に薬品の購入をしなくてはならないこともある。交通費がかかるだけでなく、先住民に対する差別的な待遇や言葉の違いによるコミュニケーションのバリアがあり、保健サービスへのアクセスは物理的、経済的かつ社会的な問題を提示する。一方、保健従事者とコンタクトが少ないことから、どのようなサービスが存在しているかという情報も少なく、現地での聞き取りによると、妊産婦や乳児検診は無料であるだけでなく食料の配布やビタミン剤などももらえることや子宮がん検診について聞いたことがないという。分娩の多くは家庭内出産で家族が分娩の介助をする。伝統的な産婆（男性もいる）によることもあるが、彼らの数は少ない。病院での出産を促すために、ヨーロッパ連合の支援でプロジェクトが実施される3郡のうち2つには垂直分娩施設が建設されたものの、機材が整備されておらず、まだ使用されていない。

プロジェクトのモデル地区毎の保健統計はないが、貧困と水・衛生設備の未整備、低い識字率³、保健知識の不足と、保健サービスへのアクセスの悪さから、保健指標は劣悪な状況であると想像される。因みに、チンボラソ県ではエクアドル国でも最悪の妊産婦死亡率（10万対70、国平均56）や乳児死亡率（出生1000対35、国平均21）を提示している⁴。また、5才以下の乳児の栄養状態に関しては慢性栄養不良（身長/年齢）39%、急性栄養不良（身長/体重）3%、栄養不良（体重/年齢）15%と、いずれも国平均の約2倍である。特に、貧困の反映と言われる慢性栄養不良は国で一番高い⁵。

2. 課題

PCM ワークショップでは「病が多い」というのが住民の問題意識として明らかになっている。

² プロジェクトの基礎調査(2009)では給水率はチスマウテ・テランの81%を除き他8地域は100%。電気は9地域で100%となっている。しかし、サンプリングの方法は不明瞭。

³ 非識字率は19%でエクアドルで一番高い。男性13.4%、女性23.8%（Contrato Social por la Educacion en el Ecuador, Indicadores de la Situacion Educativa en Ecuador, 2005）

⁴ Objetivos de Desarrollo del Milenio, Estado de Situación 2007, Provincia de Chimborazo, AECIDI-UNICEF con CPCH.

⁵ Encuesta de Condiciones de Vida-Quinta Ronda 2005-2006。なお、2009年の調査（Evaluación de la situación integral de niños y niñas de 0 a 5 aen la provincial de Chimborazo, FUNBBASIC）によると、慢性栄養不良37%、急性栄養不良7.3%、栄養不良17.8%となっており、急性栄養の割合が増えているとともに、3%は肥満という結果が出ている。

特にルミクルスでは保健問題が地域の最優先問題と捉えられている。

PCM ワークショップ時に提示された課題 (2009年8月-9月)

課題	地域
1. 保健医療サービスへのアクセスが悪い (恒常的サービスが地域にないこと、対応が悪いことという2面がある)	全9地域
2. 水の質が飲料水として適していない。	8地域 (サラチュパを除く)
3. 栄養状態が悪い	8地域 (サンマルティンアルトを除く)
4. アンデスの伝統医療の知識が現象している。	7地域 (ルミクルス、サンマルティンアルトを除く)
5. 衛生状態(トイレ)が未整備である。	5地域 (リリオ、サラチュパ、ウアコナグランデ、セセルサンアントニオを除く)

ワークショップの結果を見ると、住民が「地域での病気が多い」と意識し、生活環境の問題を指摘する一方で、住民自身の保健衛生に関する行動自体も「多くの病気」を生じさせる一因であるという意識は示されていない。わずかに2つの地域で食生活に問題がある、1地域で家庭の衛生状態が悪いという分析が提示されただけである。住民自身の保健に関する意識と責任 (autocuidado) のレベルが低いと考えられ、疾病の予防に関する知識を改善することも重要な課題である。

モデル地域で住民があげる保健問題には大きく分けて2つに分類される。一つは住民自身の社会経済的状況や住む環境や保健衛生に関する知識や行動に起因するもの、もう一つは保健サービスへのアクセスによるものである。具体的には以下のようにまとめられる。

- 1) 衛生的なプラクティスや保健サービスの知識の不足
- 2) 保健サービスへの地理的、経済的および社会的知識の不足
- 3) 飲料水設備や衛生設備の未整備
- 4) アンデス医療の知識の減少

3. 農村保健開発の目的

上記の課題を鑑みた上、保健セクターの開発目的は以下の通り：

「住民自身の保健の知識と予防への意識が向上によるエンパワーメントと、他セクターとの調整と協力によって地域の保健医療状況を改善することに貢献する」である。

個別目標は以下である。

- 1) 住民の保健衛生の知識と意識が向上する、
- 2) 住民の保健サービスへのアクセスが改善する、
- 3) アンデスの伝統医療が見直される、および
- 4) 地域の給水・衛生設備が整備される、となる。

4. 開発規模

個別目標によって、プロジェクトのカバーする地理的エリアは以下ようになる。各地域への保健サービスを提供する責任をもつ基礎保健チームを研修するが、その人数から見て、カントンレベルで研修を行うことが現実的、かつ効果的であると思われるため、9地域を含む全カントンの地域の住民もその便益を受ける可能性がある。

個別目標	地域
1) 住民への保健衛生に関する啓発活動	9つのモデル地域
2) 保健サービスの改善	3つの保健エリア ⁶
3) 伝統医療の復興	3つの保健エリア
4) 給水と衛生設備の整備	9つのモデル地域

5. アプローチ

活動の実施者により、以下のようなアプローチを用いる。

- (1) プロジェクトの普及員が行う活動
- 住民に対して直接に働きかける。
 - やりながら学ぶE C Aによる参加型保健教育のアプローチを使う。(E C Aの哲学や実施方法についてはパイロットプロジェクトの部分参照)
 - 住民自身のイニシアティブを支援し、自主的開発を促進する。

これらを通して、住民の保健知識と健康な生活を送るためのプラクティスの改善を目指す(個別目標1)。

- (2) 実施者が他の機関との調整によって実施され、プロジェクトの普及員、技術支援委員会、プロジェクトによってモニターしていくもの。
- 活動の実施に関係する関係機関全部と情報の共有をする。
 - 詳細の活動計画を作成し、各機関の責任を明確にする。
 - 活動の実施の調整をモニタリングを定期的実施する。
 - 住民に各機関による支援の情報と申請方法について指導し、住民が自ら事業申請できるように支援する。

これは保健サービスの改善、アンデス医療の復興と評価及び水質と衛生設備の整備について利用する。

- ① 住民の保健衛生に関する知識を改善し、自分で自分の健康を守る意識を推進する。 栄養と衛生教育を中心とするが、保健サービスの種類やそれを受ける権利についても情報を与え、さらに年1回の簡単な検診を導入する。
- ② 保健サービスへの物理的・社会的アクセスを改善する。 具体的には保健省を中心した保健サービス提供者間の協力と調整を通して各地域での保健サービスのカバレッジを改善することと、住民が保健サービスを利用しやすくするために、保健従事者に対して全ての利用者に対して平等で人間的な扱いを推進する。
- ③ アンデス伝統医療の復興とその知識の体系化のプロセスを支援する。 既に県保健審議会の那珂に設置された伝統医療委員会の活動を支援し、失われつつある伝統医療の復興とともにその安全な利用を推進していく。
- ④ 他セクターとの協力により給水や衛生設備の改善を推進する。 これらは住民の保健問題に直結する大きな問題である。しかし、保健セクターで直接に出来ることは水質検査に限られ、インフラ整備については他セクター(インフラ、カントン保健審議会など)に委ねる。

6. 全体事業計画

開発目的にそって全体事業計画には4つの事業を含めた。開発規模、実施時期と実施機関等については表にまとめた。(添付資料1)

⁶ チンボラソ県は6つの保健エリアに分かれている。カントンの境界と同じではない。

7. 個別事業計画

上記、全体事業計画に含まれる事業をそれぞれ個別の事業計画にまとめた（添付資料 2）。

8. 留意点

- 1) パイロットプロジェクト期間中はE C Aを通した活動に集中する。その終了時には、参加者の保健衛生知識や行動がどのように変わったかを評価し、その結果によって、その後のE C Aの保健分野の内容を見直していく必要がある。
- 2) パイロットプロジェクト期間中に、他の機関と調整して実践していかなければならない活動についてそれぞれの機関と実現性と、実践すると決定した場合はその詳細計画について協議を始めることが重要である。後継プロジェクトの計画時までには、それらの決定がなされているべきである。
- 3) 同じくこの期間中に、必要な基礎データを集める。例えば、水質検査を 9 地域で行い、ニーズを同定することにより、フェーズ2で行うこの分野の必要な施策が決められる。
- 4) プロジェクト活動の推進と他機関や技術支援グループの調整を促進するために、プロジェクト事務所に保健担当の人材をフルタイムで 1 名配置することが極めて重要である。この人材がいないと、保健セクターの活動の実施は困難と思われる。
- 5) 技術支援グループは実際に地域で活動しなくてはならないことがあるので、実務者で構成される必要がある。さらに、現地で活動するJICAのシニアボランティアをそのグループに含めることを提言する。

MINKA SUMAK KAWSAY

保健分野開発全体計画

目的	活動	開発規模	パイロット	実施期間 (5 AÑOS)					実施機関	備考
1 健康な生活を送るための保健知識とプラクティスを改善する(自己管理、衛生、栄養、保健サービスへの権利など)	1. 1. 農民学校(ECA)を通じた保健・栄養教育 1. 2. 女性グループの訓練 1. 3. 学校や幼稚園の先生の訓練 1. 4. 検診の導入	9 地域							9 地域住民, プロジェクト(普及員)、技術支援グループ 保健省、大学、INTIと調整 大学と調整 パトロナト、保健エリアと調整	協力機関: 教育省(スペイン語、二言語、INTIおよび県保健審議会(栄養委員会))
2 新しいモデルの保健サービスへの物理的・社会的アクセスを改善する	2. 1. 保健サービスのカバレッジの改善 2. 2. 保健従事者の訓練	保健エリアNo. 1, 2 と 3 (3郡)							保健省の保健エリアNo. 1, 2、3	保健省の人材が少ないことが制約となる可能性あり。
3 アンデス医療の復興と評価のプロセスを支援する。	3.1 研究 3.2. 伝統的医療と西洋医療の従事者と住民への訓練	保健エリアNo. 1, 2 と 3 (3郡)							伝統医療委員会(県保健審議会) 保健省と調整	国立チンボラソ大学研究所の協力の可能性あり。プロジェクトとしてどう連携ができるのかを明確にする必要有り。
4 他セクターと協力し、水質と衛生設備を改善する。(後者については学校などの公共施設から進める。)	4.1 水質の改善 4.2 衛生設備の改善	9 地域							県庁水質検査室、保健エリア 1, 2, 3 カントン保健審議会(ムニシパリティ)	県庁の水質検査室には機材が整備されてるが、今は試薬が届くのを待っている状態。インフラ設備には他セクターの協力が必要。

灰色の線は他機関の協力を依存するところが大きい、かなりの調整が必要となる。

MINKA SUMAK KAWSAY

保健分野開発計画

1.健康な生活を送るための保健知識とプラクティスを改善する(自己管理、衛生、栄養、保健サービスへの権利など)				
開発規模	9つの地域			
理由	地域には不十分な保健知識や非衛生的なプラクティスや保健施設へのアクセスの悪さから予防可能な病気が多い。			
アプローチ	健康の自己管理を推進するため、実践を中心とした参加型保健教育を多角的に行う。(ECA, 学校・幼稚園、女性グループ)			
期待される成果	予防可能な病気(下痢、寄生虫、栄養不良)の減少			
指標	1) 母親の知識レベル(下痢・寄生虫、栄養不良) 2) 住民が健康的なプラクティスをするようになる(手洗い、食生活の改善、清掃など) 3) 3歳以下の児童の栄養不良が減少する。 4) 住民の健康健康問題が検診で見つかった割合			
活動	1.1 ECAを通した住民への保健教育 1.1.1 技術支援グループによってECAで使用するツールや教材を準備する。 1.1.2 技術支援グループは保健分野についてプロジェクトの普及員を訓練する。 1.1.3 技術支援グループはECAの保健分野の実施を支援する 1.1.4 ECAの成果・効果について他のセクターとともに評価する。 1.1.5 上記評価に基づき、見直されたECAのプログラムにそって他住民へのECAを続ける。	1.2 女性グループへの保健教育 1.2.1 ECAの卒業生を中心に女性グループの育成を支援し、その保健の推進員になるように支援する(なんらかのインセンティブが必要)。 1.2.2 INTIのDesviado Positivoと調整して乳児の栄養状態の改善を図る。(女性グループに体重・身長測定と栄養状態評価を訓練する)。 1.2.3 この女性グループが技術支援グループの支援を得て栄養状態を調査し、栄養不良児を持つ母親への指導をする。 1.2.4 活動のフォローアップをする。 1.2.5 このグループの他のイニシアティブを支援していく(生計向上プログラムや他の保健生成プログラムなど)⇒教育プロジェクトとの協力	1.3 学童や幼稚園児の衛生状態や栄養状態の改善 1.3.1 学童や園児の健康状態の基礎調査をする。 1.3.2 学校と幼稚園教師に対して衛生・栄養の再教育を行い、具体的な活動(手洗い検査など)の実施を推進する。 1.3.3 CPCHのバトロナトと調整して学童と園児の健康診断を年一回実施する。 1.3.4 インフラのセクターやカントン保健審議会と調整して学校と幼稚園の衛生施設を改善する。 (1.3.5 ECAの卒業生により、学校や幼稚園に菜園を作り、学校給食の改善をする。)⇒教育・農業・環境との協力	1.4 健康診断の導入 1.4.1 バトロナトと保健省との協力で住民の基礎的な健康診断(身体測定、血圧、診察、血液、便、尿検査)を実施する。(最初はECAの参加者から始める) 1.4.2 住民用の健康診断の記録ノートを作成するとともに、検診のデータ収集のメカニズムを構築する。 1.4.3 健康診断で見つかった疾患の治療を推進する。(各保健エリアの協力)
実施期間	1.1 パイロットプロジェクトとして開始し、後継プロジェクトでも続ける(ECAに参加したい全員をカバーする)。	1.2 後継プロジェクトで開始、5年間	1.3 後継プロジェクトで開始、5年間	1.4 パイロットプロジェクト中にECA参加者を対象に実施する。その結果を見て、その後の実施計画を立てる。
実施機関	1.1 プロジェクト普及員、技術支援グループ	1.2 技術支援グループがINTIと調整し、訓練を実施し、プロジェクト普及員がモニターする。国立チンボラソ大学の看護学部学生の協力の可能性あり。	1.3 技術支援グループが学校と幼稚園教師への訓練を行う。 バトロナトとの調整・協力 教育、農業セクターとの協力	1.4 バトロナトと保健省との調整・協力
必要なリソース	ECA実施の予算	機材(地域に一つの体重計・子供・成人用一と身長計を置く)、研修費用	研修費用	バトロナトや保健省とのコンベニオに拠る
支援割合	(計画が承認された後に関係機関間で決める)			

MINKA SUMAK KAWSAY
保健分野開発計画

2. 新しいモデルの保健サービスへの物理的・社会的アクセスを改善する	
開発規模	保健エリア1, 2および3 (3カントン)
理由	1)地域住民は定期的な保健サービスへのアクセスを持たない(巡回するべき基礎保健チームが地域を定期的に訪問しない) 2)地域住民はどのような保健サービスがあるのか、またそれらのサービスを上ける権利について知らない 3)地域住民は保健従事者の対応が悪い、差別があると感じている。
アプローチ	1) 新しい保健サービスモデルに基づくサービスの提供(予防と健康の推進) 2) 巡回の計画策定による地域での総合的な保健サービスの提供 3) 保健エリアが保健人材の継続的な雇用や基礎保健チームを充足するようにする 1) 保健従事者の動機付けと評価(平等で人間的な対応に向けて)
期待される成果	2.1 地域住民が保健サービスのへ便益を受ける 2.2 地域住民が保健従事者の受診時の対応に満足する。
指標	1) 基礎保健チームが地域を訪問する回数 2) 各保健サービスを受けた住民の数とカバレッジ 1) 住民の保健従事者の対応に対する満足度
活動	2.1 保健サービスのカバレッジを改善する。 2.1.1 家族登録と地域地図の更新をする。 2.1.2 人口を把握し、各プログラムの計画を立てるとともに、保健サービスの普及度を推定する(基礎データ)。 2.1.3 ECAを通して予防保健・医療サービスの利用を推進する。 2.1.4 保健エリア、地域を受け持つ基礎保健チームや県庁のパトナトと、地域への巡回診療が行えるように調整する。 2.1.5 基礎保健チームと地域のコミュニケーションを改善して、住民の診療を促す。 2.1.6 保健エリアの基礎保健チームに対して巡回計画とそのモニタリングの研修を実施し、巡回診療を改善する。 2.1.7 保健サービスの普及度を評価する(プロジェクトの中間と終了時) 2.2 住民の保健サービスへの満足度を改善する。 2.2.1 住民の保健サービスへの満足度の調査を実施し、問題点を明確にする(基礎データ)。 2.2.2 上記調査の結果に基づき研修教材とプログラムを作成する。 2.2.3 保健従事者への研修を実施する。 2.2.4 対応の改善と保健従事者の態度の変化をモニタリングする。 2.2.5 住民の保健サービスへの対応に対する満足度を評価する(プロジェクト中間と終了時)
実施期間	パイロットプロジェクトの期間中に、上記活動の準備と各機関の調整をする。実施は後継プロジェクトの5年間で行う。研修は基礎調査後に出来るだけ早く行い(1年目か2年目の始め)、フォローアップに力を入れる。評価の結果により再研修を計画する。
実施機関	1) 保健エリアNo1, 2, 3、保健省チンボラソ事務所と調整 2) 国立チンボラソ大学の看護学生の協力の可能性あり(家族登録と満足度の調査)
必要なリソース	1) 3保健エリアの基礎保健チームの人材、(保健省が基礎保健チームの人材の充足をしなければ保健サービスカバレッジの拡大は困難) 2) 研修費用 2) 研修のファシリテーター、予算、教材作成費
支援割合	(計画が承認された後に関係機関間で決める)

MINKA SUMAK KAWSAY

保健分野開発計画

3. アンデス医療の復興と評価のプロセスを支援する。			
開発規模	9地域と3保健エリア		
理由	地域住民は何世紀にも渡りアンデス医療を利用しており、現在でも保健サービスへのアクセスが限られていることや経済的な事情からそれに依存している。しかし、それらの安全性や効果については確立されていない。		
アプローチ	アンデス医療従者の知識と手法の研究		
期待される成果	9地域の住民やアンデス医療の従事者(ヤ中期チャック、整骨師、産婆)が安全で効果的にアンデス医療を利用できる。		
指標	<table border="1"> <tr> <td>3.1 1) アンデス医療を体系化したもの 2) アンデス医療の安全な利用についての提言</td> <td>3.2 1) 安全なアンデス医療をするヤチャック、産婆、整骨師の数 2) 教材</td> </tr> </table>	3.1 1) アンデス医療を体系化したもの 2) アンデス医療の安全な利用についての提言	3.2 1) 安全なアンデス医療をするヤチャック、産婆、整骨師の数 2) 教材
3.1 1) アンデス医療を体系化したもの 2) アンデス医療の安全な利用についての提言	3.2 1) 安全なアンデス医療をするヤチャック、産婆、整骨師の数 2) 教材		
活動	<table border="1"> <tr> <td> 3-1 アンデス医療についての研究 3.1.1 伝統医療の従事者から情報収集を行う 3.1.2 アンデス医療の知識の体系化をする 3.1.3 アンデス医療の安全な利用について提言する。 3.1.4 安全な薬草の使用方法を分かりやすくまとめたものを家庭用に作成する。(例えばポスターなど) </td> <td> 3.2. 伝統医療の従事者と西洋医療従事者の意見と知識交換 3.2.1 伝統医療の従事者への訓練を実施する。(衛生、危険な兆候、薬草などについて) 3.2.2 西洋医学の従事者へアンデスの伝統医療について訓練を行う。 3.2.2 伝統医療従事者が地域住民を訓練する。 3.2.3 薬草の安全なるようについてモニターする。 3.2.4 家庭菜園での薬草の栽培を推進する。 </td> </tr> </table>	3-1 アンデス医療についての研究 3.1.1 伝統医療の従事者から情報収集を行う 3.1.2 アンデス医療の知識の体系化をする 3.1.3 アンデス医療の安全な利用について提言する。 3.1.4 安全な薬草の使用方法を分かりやすくまとめたものを家庭用に作成する。(例えばポスターなど)	3.2. 伝統医療の従事者と西洋医療従事者の意見と知識交換 3.2.1 伝統医療の従事者への訓練を実施する。(衛生、危険な兆候、薬草などについて) 3.2.2 西洋医学の従事者へアンデスの伝統医療について訓練を行う。 3.2.2 伝統医療従事者が地域住民を訓練する。 3.2.3 薬草の安全なるようについてモニターする。 3.2.4 家庭菜園での薬草の栽培を推進する。
3-1 アンデス医療についての研究 3.1.1 伝統医療の従事者から情報収集を行う 3.1.2 アンデス医療の知識の体系化をする 3.1.3 アンデス医療の安全な利用について提言する。 3.1.4 安全な薬草の使用方法を分かりやすくまとめたものを家庭用に作成する。(例えばポスターなど)	3.2. 伝統医療の従事者と西洋医療従事者の意見と知識交換 3.2.1 伝統医療の従事者への訓練を実施する。(衛生、危険な兆候、薬草などについて) 3.2.2 西洋医学の従事者へアンデスの伝統医療について訓練を行う。 3.2.2 伝統医療従事者が地域住民を訓練する。 3.2.3 薬草の安全なるようについてモニターする。 3.2.4 家庭菜園での薬草の栽培を推進する。		
実施期間	<table border="1"> <tr> <td> 3.1.1 後継プロジェクトの1年目前半期 3.1.2 1年目の後半期から開始—1年間 3.1.3 2年目後半 3.1.4 3年目 </td> <td> 3.2.1 後継プロジェクト1年目(衛生、危険な兆候)と3年目(薬草などについて) 3.2.2-3.2.3 後継プロジェクト3年目後期 3.2.4 3年目から5年目まで。 3.2.5 パイロットプロジェクト時から開始する。 </td> </tr> </table>	3.1.1 後継プロジェクトの1年目前半期 3.1.2 1年目の後半期から開始—1年間 3.1.3 2年目後半 3.1.4 3年目	3.2.1 後継プロジェクト1年目(衛生、危険な兆候)と3年目(薬草などについて) 3.2.2-3.2.3 後継プロジェクト3年目後期 3.2.4 3年目から5年目まで。 3.2.5 パイロットプロジェクト時から開始する。
3.1.1 後継プロジェクトの1年目前半期 3.1.2 1年目の後半期から開始—1年間 3.1.3 2年目後半 3.1.4 3年目	3.2.1 後継プロジェクト1年目(衛生、危険な兆候)と3年目(薬草などについて) 3.2.2-3.2.3 後継プロジェクト3年目後期 3.2.4 3年目から5年目まで。 3.2.5 パイロットプロジェクト時から開始する。		
実施機関	県保健審議会のアンデス医療委員会 保健省権保健事務所 国立チンボラソ大学の協力の可能性あり。		
必要なりソース	<table border="1"> <tr> <td>研修にかかる人材、費用、交通費、実験費用、結果や教材作成</td> <td>研修費用: 教材、文房具、交通費や軽食</td> </tr> </table>	研修にかかる人材、費用、交通費、実験費用、結果や教材作成	研修費用: 教材、文房具、交通費や軽食
研修にかかる人材、費用、交通費、実験費用、結果や教材作成	研修費用: 教材、文房具、交通費や軽食		
支援割合	(計画が承認された後に関係機関間で決める)		

MINKA SUMAK KAWSAY
保健分野開発計画

4. 他セクターと協力し、水質と衛生設備を改善する。(後者については学校などの公共施設から進める。)	
開発規模	9 地域
理由	1) 給水の設備はあるものの、水の質は安全ではない可能性がある。 2) 衛生施設が不十分である。
アプローチ	他の機関との調整 (Miduvi, ムニシピオ, 大学、公共工事省、土木関係組合) 地域住民の参画を進める(調査、申請、住民の負担)
期待される成果	4.1 水の質が飲料水として安全である。 4.2 住民が衛生設備へのアクセスを持つ。
指標	1) 水質 2) 水質検査の実施 1) 公共施設(学校、幼稚園、公民館)が使える衛生設備を持つ。 2) 使える衛生設備を持つ世帯の数
活動	4.1 水質を改善する。 4.1.1 水質検査を実施する。 4.1.2 地域の水質を改善するシステムの設置を調整する。 4.1.3 住民に申請の仕方を教え、それを支援する。(住民の責任も明確にする) 4.1.4 申請後、実施状況をモニターする。 4.1.5 施策後、毎年検査を実施し水質をモニターする。 4.2 基礎的な衛生設備の改善 4.2.1 衛生設備に関する基礎調査を実施する。 4.2.2 ニーズを明確にする。 4.2.3 水洗トイレに変わる衛生設備の導入(堆肥トイレ)の調査を他セクターと実施する(コスト、技術の適正、アクセプタビリティ) 4.2.4 住民に申請の仕方を教え、それを支援する。(住民の責任を明確にする) 4.2.5 ムニシピオや他の機関と衛生設備の建設について調整し、実施状況をモニターする。
実施期間	4.1.1 - 4.1.3 パイロットプロジェクト期間 (2011年3月まで) 4.1.4 施策の実施後。 4.2.1-4.2.3 パイロットプロジェクト期間に調査 4.2.1 実施機関の調整による。
実施機関	県庁、保健省、ムニシピオ、パロキア自治会、公共事業省、Ministerio de Vivienda、環境省、ONG
必要なリソース	水質検査の機材(県庁が持つ)、試薬。地域で水質改善装置(塩素化) 衛生設備の建設費(材料、工事責任者)、住民が労働力提供
支援割合	(計画が承認された後に関係機関間で決める)

備考

このテーマの実施は保健セクターだけではなく、他機関の実施意欲とリソースの有無に依存する。

D. 教育分野開発戦略（成人教育）

1. 現状

チンボラソ県の非識字率は 18.5%、機能的非識字率は 30.5%と、それぞれ全国平均の 9%、21%を大きく上回っている。特に女性の非識字率は 24%、機能的非識字率は 35%で、郡によっては 50%以上が非識字者であるなど基礎的な読み書き・計算能力を身につけていない人々が多いことがわかる。さらに、先住民人口の多い同県ではスペイン語でのコミュニケーション能力を十分有していない人が多く、そのことが市場や商店、さらには社会サービス全般へのアクセスを困難にし、ひいては生活改善や収入向上に繋がる機会を逃しているといえる。

本プロジェクト対象地域では、2009年10月に行ったベースライン調査によると、男性の94%、女性の67%がスペイン語と母語であるキチュア語の双方の会話が可能であると答えているが、機能的識字としての読み書き能力⁷がある者は、男性の60%、女性の41%に留まっている。村落別に見てみると、Canal Huacona村やEl Lirio村では男性の機能的非識字者の割合が50~75%と最も高く、女性に至っては機能的非識字者の割合が70~100%であった

他方、チンボラソ県の対象地域では、具体的な政策や戦略不足のために行政サービスが十分に行き届いておらず、そのため村落住民は、生活環境の改善を図るための職業訓練や保健・衛生教育、環境教育など様々な統合的・持続的な学習機会へのアクセスが制限されている。このことから、主要産業である農牧業の知識や技術の向上が行われておらず、不適切な農地開発を行って土壌荒廃を招く結果となっている。また、保健衛生や栄養に関する知識が不足し、習慣化されていないために衛生・栄養状態が悪く、感染症や下痢などの病気を引き起こす原因ともなっている。

2. 課題

現在「エ」国では、国家教育計画の政策目標の一つに「非識字の撲滅」を掲げている。チンボラソ県においては同政策の下、県政府の識字プログラム「Yo, si puedo」と、教育省の「Programa Nacional de Educacion Basica para Jovenes y Adultos」がそれぞれの対象地域で実施されている。本プロジェクトの対象地域においてもこれらの識字プログラムが実施済み、または実施中である。しかし、識字プログラムを修了しても生活していく上で必要な読み書きや計算能力を十分に身につけていない者が多いという現状もあり、識字教育修了後も継続したフォローアップを履行し、学んだ知識を実際に生活の中で活用していく方法を身につけることが必要となっている。

また、識字教育に限らず様々な社会教育（職業訓練、保健・衛生教育、環境教育、栄養教育など）を住民自身のニーズに基づいて実施していくことが必要である。本プロジェクトの中心課題である“貧困削減”に資するためには農牧業の収入向上では限界があるため、その他の収入源を確保するために住民、特に女性グループが中心になって生計向上のための職業技術を身につける必要もある。

3. 目標

● 全体目標

チンボラソ県における貧困削減を実現させるため、意義のある、実践的な学習を通して対象村落の総合的な開発を促進する。

● 個別目標

- 識字教育受講者（成人）の知識レベルを向上させる。
- 生計向上のために女性グループを強化する。
- フィールドスクールで学んだ者を中心に、学習したことを生かした教育プロジェクトを実施する。

4. 開発対象規模

本プロジェクトでは、以下のチンボラソ県対象村落9村を対象とする。

⁷ スペイン語とキチュア語双方の読み書きができる者

郡	村落
リオバンバ	ルミクルス
	セセル・サンアントニオ
グアモテ	チスマウテ・テラン
	サラチュパ
コルタ	サンマルティン・アルト
	エル・リリオ
	ウアコナ・グランデ
	カナル・ウアコナ
	ルミロマ

後継プロジェクトでは、対象地域をさらに拡大する可能性を検討する。

5. アプローチ法

フィールドスクールを通じて識字教育修了者または希望者に対して家計簿や農業日誌などの作成の仕方、支援申請書や事業計画書の書き方などを指導し、毎日の生活の中で読み書き・計算能力を強化していく。生計向上のための職業技術研修は、県政府または教育省が実施を計画しているポスト識字教育プログラム（職業訓練プログラム）を活用する。また、フィールドスクールで学んだ住民を講師とし、学校を中心として児童生徒だけでなくその保護者に対して、給食を通じた栄養教育、衛生教育や環境教育などを他セクターとの連携で実施していく。必要に応じて、外部から指導者を招聘し、講演会などを実施する。

6. 全体事業計画（成人教育）

事業項目	対象地	活動	実施期間(6年間)						実施機関	備考
			2010	2011	2012	2013	2014	2015		
1 青年および成人の識字教育修了者の知識の向上	9 プロジェクト対象村落 (後継プロジェクトにおいて拡張の可能性あり)	1.1 家庭における読み書きを活用した基本的知識の研修 1.2 フィールドスクールによる実習 1.3 フォローアップ、モニタリングおよび評価の実施							教育省現地事務所、チンボラソ県庁	識字教育プログラムのファシリテーターを活用する。
2 生計向上を促進するための女性グループへの技術研修	9 プロジェクト対象村落 (後継プロジェクトにおいて拡張の可能性あり)	2.1 コミュニティや参加者の生計向上に関する要望や可能性を調査 2.2 職業技術の研修 2.3 フォローアップ、モニタリングおよび評価の実施							チンボラソ県庁、教育省現地事務所	県庁プログラム“Yosoy emprendedor”または教育省プログラム(EJBA)を活用する。
3 学校における保健、環境、農牧などに関する教育プロジェクトの実施	9 プロジェクト対象村落 (後継プロジェクトにおいて拡張の可能性あり)	3.1 学校やコミュニティの要望や可能性の調査(学校菜園、衛生教育、環境教育など) 3.2 実施計画の立案 3.3 計画の実施 3.4 フォローアップ、モニタリングおよび評価の実施							チンボラソ県庁、保健省、環境省、農牧省、教育省、INIAP	フィールドスクールで研修を受けた住民を中心にして、学校教員と一緒に実施する。

1. 青年および成人の識字教育修了者の知識の向上	
対象地	チンボラソ県対象村落9村 (リオバンバ郡ルミクルス村、セセル・サンアントニオ村、グアモテ郡サラチュパ村、チスマウテ・テラン村、コルタ郡サンマルティン・アルト村、リリオ村、ウアコナ・グランデ村、カナル・ウアコナ村、ルミロマ村) 後継プロジェクトにおいて拡張の可能性あり。
事業の必要性(現状)	チンボラソ県の非識字率は18.5%、機能的非識字率は30.5%と、それぞれ全国平均の9%、21%を大きく上回っている。特に女性の非識字率は24%、機能的非識字率は35%で、郡によっては50%以上が非識字者であるなど基礎的な読み書き・計算能力を身につけていない人々が多いことがわかる。さらに、先住民人口の多い同県ではスペイン語でのコミュニケーション能力を十分有していない人が多く、そのことが市場や商店、さらには社会サービス全般へのアクセスを困難にし、ひいては生活改善や収入向上に繋がる機会を逃しているといえる。 本プロジェクト対象地域では、2009年10月に行ったベースライン調査によると、男性の94%、女性の67%がスペイン語と母語であるキチュア語の双方の会話が可能であると答えているが、機能的識字としての読み書き能力がある者は、男性の60%、女性の41%に留まっている。村落別に見てみると、Canal Huacona村やEl Lirio村では男性の機能的非識字者の割合が50～75%と最も高く、女性に至っては機能的非識字者の割合が70～100%であった 現在「エ」国では、国家教育計画の政策目標の一つに「非識字の撲滅」を掲げている。チンボラソ県においては同政策の下、県政府の識字プログラム「Yo, si puedo」と、教育省の「Programa Nacional de Educacion Basica para Jovenes y Adultos」がそれぞれの対象地域で実施されている。本プロジェクトの対象地域においてもこれらの識字プログラムが実施済み、または実施中である。しかし、識字プログラムを修了しても生活していく上で必要な読み書きや計算能力を十分に身につけていない者が多いという現状もあり、識字教育修了後も継続したフォローアップを実行し、学んだ知識を実際に生活の中で活用していく方法を身につけることが必要となっている。
アプローチ法	フィールドスクールを通じて識字教育修了者または希望者に対して家計簿の作成の仕方や農業日誌などの作成の仕方を指導し、毎日の生活の中で読み書き・計算能力を強化していく。
期待される成果	フィールドスクール参加者が家計簿や農業日誌の書き方などの基本的知識を身につける。
指標	プロジェクト対象地域の住民のX人がポスト識字教育を受ける。
具体的な活動	1.1 フィールドスクールを通じて、家計簿の作成の仕方などを研修する。 1.2 フィールドスクールを通じて、農業日誌の書き方などを研修する。 1.3 フォローアップおよびモニタリングを実施する。 1.4 評価を実施する。
活動期間	実施1年、フォローアップ1年(グループ別に実施)
実施機関	プロジェクトおよびチンボラソ県庁
インプット	ファシリテーター、車両、教材(ポスター、家計簿や農業日誌の印刷物など)
分担	プロジェクト開始に当たって設定する。

2. 生計向上を促進するための女性グループへの技術研修

対象地	チンボラソ県対象村落9村 (リオバンバ郡ルミクルス村、セセル・サンアントニオ村、グアモテ郡サラチュパ村、チスマウテ・テラン村、コルタ郡サンマルティン・アルト村、リリオ村、ウアコナ・グランデ村、カナル・ウアコナ村、ルミロマ村) 後継プロジェクトにおいて拡張の可能性あり。
事業の必要性(現状)	チンボラソ県の対象地域では、具体的な政策や戦略不足のために行政サービスが十分に行き届いておらず、そのため村落住民は、生活環境の改善を図るための職業訓練や保健・衛生教育、環境教育など様々な統合的・持続的な学習機会へのアクセスが制限されている。 本プロジェクトの中心課題である“貧困削減”に資するためには農牧業の収入向上では限界があるため、その他の収入源を確保するために住民、特に女性グループが中心になって生計向上のための職業技術を身につける必要がある。
アプローチ法	生計向上のための職業技術研修は、県政府または教育省が実施を計画しているポスト識字教育プログラムを活用する。
期待される成果	女性グループが生計向上のための技術を身につける。
指標	プロジェクト対象地域において、X人の女性が職業技術を身につける。
具体的な活動	2.1. 村落の状況や参加者の希望から、生計向上に結びつく可能なある技術を選択する。 2.2. 県庁プログラム“SOY EMPRENDEDOR/RA”または教育省のEJBAプログラムを通して職業研修を実施する。 2.3 フォローアップとモニタリングを実施する。 2.4 評価を実施する。
活動期間	2年の実施および4年のフォローアップ
実施機関	チンボラソ県庁、教育省
インプット	講師、教材など
分担	プロジェクト開始に当たって設定する。

3. 学校における保健、環境、農牧に関する教育プロジェクトの実施	
対象地	チンボラソ県対象村落9村 (リオバンバ郡ルミクルス村、セセル・サンアントニオ村、グアモテ郡サラチュパ村、チスマウテ・テラン村、コルタ郡サンマルティン・アルト村、リリオ村、ウアコナ・グランデ村、カナル・ウアコナ村、ルミロマ村) 後継プロジェクトにおいて拡張の可能性あり。
事業の必要性(現状)	チンボラソ県の対象地域では、具体的な政策や戦略不足のために行政サービスが十分に行き届いておらず、そのため村落住民は、生活環境の改善を図るための職業訓練や保健・衛生教育、環境教育など様々な統合的・持続的な学習機会へのアクセスが制限されている。そのことから、主要産業である農牧業の知識や技術の向上が行われておらず、不適切な農地開発を行って土壌荒廃を招く結果となっている。また、保健衛生や栄養に関する知識が不足し、習慣化されていないために衛生・栄養状態が悪く、感染症や下痢などの病気を引き起こす原因ともなっている。 そのため、識字教育に限らず様々な社会教育(職業訓練、保健・衛生教育、環境教育、栄養教育など)を住民自身のニーズに基づいて実施していくことが必要である。
アプローチ法	フィールドスクールで学んだ住民を講師とし、学校を中心として児童生徒だけでなくその保護者に対して、給食を通じた栄養教育、衛生教育や環境教育などを他セクターとの連携で実施していく。必要に応じて、外部から指導者を招聘し、講演会などを実施する。
期待される成果	各学校で学校プロジェクトが実施される。
指標	実施された教育プロジェクトの数
具体的な活動	3.1 各学校や集落の学校プロジェクトに対する希望を確認する。(例:学校菜園、衛生・栄養教育、環境教育など) 3.2 プロジェクト計画を立てる。 3.3 プロジェクトを実施する。 3.4 フォローアップおよびモニタリングを実施する。 3.5 評価を実施する。
活動期間	フィールドスクール1年終了後の5年間
実施機関	各学校(プロジェクトの技術支援グループや県庁の専門家などの支援)
インプット	技術者又は専門家、ファシリテーター、教材、十分なプロジェクト資金
分担	プロジェクト開始に当たって設定する。

8. 計画実施に際しての留意事項

- 識字教育に対する評価

チンボラソ県において現在複数の識字教育プログラムが実施されている。しかし、未だ非識字者は存在しており、たとえ識字教育を修了したとしても十分な読み書きができない者もいるのが現状である。従って、教育省が中心となり、各識字教育プログラムの評価を実施し、実際の識字レベルの検証を行うことが必要である。評価調査の結果、求められている効果が出ていないものに関しては改善を促すことや、それぞれが独自に実施しているプログラム間の連携を図るなど、各プログラムのフォローアップやモニタリングを教育省が責任を持って監督・指導していく体制作りを行うことが不可欠である。

- 生計向上プログラム

県庁または教育省が実施している、または実施を計画しているポスト識字教育プログラムを活用して実施することが適当である。そのためには、両機関がどのような形で事業を実施するのかを双方で十分に検討し、合意の上で事業を進めていくことが必要である。

- 地域住民の関与

計画を実施していく際に最も重要なことは、地域住民の関与である。上からの支援の押し付けにならないよう、常に地域住民の意向や意見を汲み取り、協働で事業を進めていくことが不可欠である。目標達成には、地域住民自らがエンパワーし、彼ら自身が生活の改善や向上を目指すことが必要である。そのためには、まず彼らに計画案を提示し、必要があれば計画案を改善し、常に合意の上で事業を実施していかなければならない。

IV 試行事業計画(ECA)と実施体制(案)

1. 目的

プロジェクト独自のECAの手法を検証し、その教訓を後継プロジェクトの計画策定および実施方法に活用する。

2. 各分野のテーマ

分野	パイロットプロジェクトでのテーマ
農牧分野	有機肥料の作成および利用
環境分野	土壌保全・回復工、アグロフォレストリーの実践
教育分野	ポスト識字教育
保健分野	衛生、栄養、病人のケア、女性の保健、健診、保健サービスへの権利

3. 開発対象地域

チンボラソ県6村を対象とする。

Cantón	Parroquia	Comunidad
Riobamba	Licto	Cecel San Antonio
	Calpi	Rumicruz
Guamote	Palmira	Sarachupa
	Matriz	Chismaute Telán
Colta	Columbe	San Martín Alto
	Cicalpa	El Lirio

4. 実施期間

2009年12月から2011年2月(準備期間含む)

5. パイロットプロジェクト(ECA)実施に関する留意点

- ③2010年3月にECA実施開始とすると、ファシリテーターの養成、実施体制の構築、必要物品の購入、関係各機関との調整等、ECA開始前の作業量は膨大なものになる。期間も限られていることから、長期専門家、プロジェクト事務所スタッフを中心に、綿密な実行計画の作成とその実施、役割分担の明確化が求められる。
- ④パイロットプロジェクトを実行する上で、ファシリテーターの増員・専門性は非常に重要である。現在県庁に要請しているファシリテーターの増員が予定通りに行われることが、大きな前提条件である。

6. 添付資料

- 資料1 個別事業計画表(案)
- 資料2 事業実施計画表(案)
- 資料3 ECA活動(案)
- 資料4 ECAセッション(例)
- 資料5 資材リストおよびコスト(例)
- 資料6 ECAと保健分野
- 資料7 保健分野の学習モジュール(例)

資料1 個別事業計画表（案）

“ECAs hay de todos”

開発規模	6 村落(ルミクルス、リリオ、サンマルティンデアルト、サラチュパ、チウスマテラン、セセルサンアントニオ)
理由	プロジェクト独自のECAの手法を検証し、その教訓を後継プロジェクトの計画策定および実施方法に活用する。
アプローチ	1) 住民の自助努力による発展を促進する 2) 村落において実際の農業・生活環境下で実施する 3) 4セクター(農業、環境、保健と教育)を複合的に組み込んだカリキュラムで実施す
期待される成果	1) 後継プロジェクトで計画されているECAの実施手法が確立される。 2) ECA で使用するツールや教材が整備される。 3) 複合セクターによる事業実施体制が構築される。 4) 各関係機関の連携が強化される。 5) 普及員(ファシリテーター)が育成される。
指標	1) 適切なECA実施マニュアルが存在する 2) 各学習テーマの指導案が存在する 3) 各テーマの教材が存在する 4) 計画に沿ってECAが滞りなく実施されている 5) 普及員(ファンリテーター)が予定通りに訓練されている 6) 普及員がECAに必要な十分な知識と技術を習得している
活動	1) プロジェクトの専門家およびCPIによるECAの視察 2) 決定されたプロジェクト戦略を対称村落にて説明 3) ECAに必要な教材やツールの作成 4) 普及員(ファシリテーター)の育成研修の実施 5) ECAの参加者の選択基準の決定 6) 村落においてECAのプロモーションの実施 7) ECAの参加者の選択とグループ形成 8) 文具、椅子、その他の研修に必要な物品の購入 9) ECA のオリエンテーション、契約と物品配布 10)参加者による学習プロポーザルの作成 11)学習プロポーザルに従った資材の購入 12)ECAの通常セッションの開始 13)ECAのモニタリング 14)ECAの評価 15)後継プロジェクトのECAの詳細計画立案 16)実施マニュアル、各テーマの学習指導案や教材の完成
実施期間	2009年12月から 2011年2月
実施機関	県庁、省庁、その他の関係機関
必要なリソース	バイク6台、研修予算、資機材購入費（機材リストを参照）
支援割合	
前提条件	1) プロジェクト事務所の調整・実施能力が強化される 2) 適切な普及員が県庁から配属される(6名) 3) 住民がECAをパイロットプロジェクトとして実施することを受け入れる 4) 各省庁がECAの実施に協力し、必要な人材を技術支援委員会に配属する。

資料2 事業実施計画表（案）

Actividad		2010										2011			
		Enero	Febrero	Marzo	Abril	Mayo	Junio	Julio	Agosto	Septiembre	Octubre	Noviembre	Diciembre	Enero	Febrero
Preparación	Preparación para actividades	■	■	■											
	Capacitación en ECA a Facilitadores		■	■											
	Preparación por el proyecto		■	■											
	Promoción, Formación, Orientación de ECA en la comunidad			■	■										
Agropecuario	Abonos Orgánicos				■	■		■	■	■	■				
	Siembra, Cultivar, Cosecha de cultivos										■	■	■	■	■
Ambiente	Recuperación y conservación de suelos.				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	Agroforestales				■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	Conservación de agua					■	■								
Educación	Elaboración de informe				■										
	Generación de Ingresos					■									
	Contabilidad familiar									■					
Salud	Lava mano, Aseo				■										
	Limpieza de Hogar, Exponer Katakunata al sol					■									
	Alimentación y clase de cocina, otro tema de salud							■	■			■	■	■	■
	Examen Clínica							■							
Eventos	Preparación para Eventos, Evaluación, Plan para futuro													■	■
	Gira de intercambio								■						
	Día de Campo									■					
	Graduación														■

資料3 ECA 活動 (案)

	Marzo	Abril	Mayo	Junio	Julio	Agosto	Septiembre	Octubre	Noviembre	Diciembre	Enero	Febrero
1ra Semana	Promoción de ECA	Selección del sitio para viveros	Selección del sitio para parcelas	Transplantación de plantas	Conservación de Agua	Fiebre y Gripe sus Cuidados	Día de Campo (Demostración del Resultado)	Plantas Medicinales	Embarazadas y Lactancia	Salud de las mujeres	Comercialización de los Productos agrícolas	Cosecha
		Compromiso sobre Parcelas	Compromiso sobre Parcelas	Alimentación Completa								Cocina con Productos
2da Semana	Formación del grupo para ECA	Preparación de Viveros	Abonos orgánicos (preparación de la parcela)	Abonos Orgánicos (Incorporación de las lombrizas)	Abonos Orgánicos (revuelto del abono)	Abonos Orgánicos (revuelto del abono)	Manejo de pastos y forraje	Aplicación del abono a la tierra (Práctica)	Protección de Arboles	Manejo del Cultivo	Elaboración del Proyecto	Análisis de Resultados
		Tratamiento de semillas y estacas	Limpieza y ordenamiento de la cocina	Manejo de Vivero	Diarreas y sus Cuidados	Instrucción en la construcción de Terrazas						
3ra Semana	Organización del grupo para ECA	Elaboración del informe	Abonos orgánicos (Preparación de materiales para lombricultura)	Examen Clínico	Preparación de la Gina	Construcción de Terrazas (Práctica)	Aplicación del abono a la tierra (lección)	Preparación de parcelas agroforestales Siembra de Pasto	Preparación de Cultivos	Cultivo enfermedades y plagas	Auto-evaluación	Preparación de Graduación
	Compromiso de ECA con Proyecto	Mejoramiento de Higiene			Uso óptimo del agua							Plan para el Futuro
4ta Semana	Selección de las Tamas y Especies para Estudiar	Siembra de semillas	Construcción de las camas de lombricultura	Abonos Orgánicos (rotación del suelo)	Gira de intercambio	Preparación del Día de Campo	Prácticas agroforestales y selección de tema	Plantación de Arboles	Siembra de cultivos - Alfalfa - Verdura - Papas	Navidad	Prueba de caja	Día de campo y Graduación
	Preparación de Propuestas	Experimentos en vivero	Generación de Ingresos	Protección contra químicos agrícolas		Contabilidad del Hogar						
5ta Semana				Conservación de Suelo			Preparación de parcelas agroforestales			Año Nuevo		

Signos de Colores

- Producción
- Ambiente
- Salud
- Educación

資料4 ECA セッション (例)

Tiempo	Actividad	Fotos
Antes de 8:30	Preparación a la clase de hoy	
8:30-08:35	Registro de asistencia	
8:35-08:40	Recapitulación	
8:40-08:45	Chequeo de Salud e Higiene	
8:45-09:15	Analysis de Agro-Ecosistema (AAE): Toma de datos	
9:15-09:45	AAE: Procesamiento de datos	
9:45-10:15	AAE: Presentación del informe, discusión y tomar decisión	
10:15-10:35	Dinámica de grupo	
10:35-11:35	Tema de hoy	
11:35-11:40	Revisión de actividades de hoy	
11:40-11:50	Plan para otra semana	
11:50-11:55	Anuncio	
11:55-12:00	Registro de asistencia	
12:00-12:10	Preparación del Informe, Organizar informe AAE, Organizar materiales didácticos Limpieza de basura	

Disciplina, Manejo del tiempo

Nuevo Tema de Salud

Aprendizaje y Seguimiento de Temas Principales

- Abono orgánicos
- Cultivos mejorados
- Manejo de cultivos
- Viveros familiares
- Practicas agroforestales
- Construcción de terrazas

Producción

Ambiente

Punto de Salud

- Refrigerio
- Ejercicio
- Recreativos

Temas Integradas

- Enfermedades y plagas
- Manejo de Agro-quimicos
- Conservación de suelo
- Uso óptimo del agua
- Alimentación y Nutrición
- Fiebre y Gripe
- Plantas Medicinales
- Mejoramiento de vida
- Comercialización
- Elaboración del proyecto

Planificación

Disciplina, Manejo de horas

Arreglar y Ordenar

Educación Ambiental

資料5 資材リストおよびコスト (例)

1. Capacitación de Facilitadores de ECA

Ítem	Costo	Nota
Curso intensivo de ECA	USD 6,000	Para 20 - 30 personas
Materiales para curso de ECA	USD 300	Para 20 - 31 personas
Honorarios para Curso Técnico	USD 1,500	\$50 x 30 dais
Materiales para el curso técnico	USD 600	
Honorarios para asistencia técnica en campo	USD 2,400	\$80 x 6 grupos x 5 veces
Honorarios para asistencia de ECA en campo	USD 1,440	\$80 x 6 grupos x 3 veces
Suma	USD 12,240	

2. Materiales para ECA

Ítem	Costo	Nota
Materiales didácticos*(ver la lista a la dercha)	USD 600	\$100 x 6 grupos
Materiales para parcelas	USD 900	\$150 x 6 grupos
Plástico para carpa (1.8 x 3.6m)	USD 180	\$30 x 6 grupos
Sillas	USD 1,260	\$7 x 30 miembros x 6 grupos
Bascula/Balanza	USD 480	\$80 x 6 grupos
Suma	USD 2,820	

3. Logísticos para ejecución de ECA

Ítem	Costo	Nota
Combustibles Motocicletas	USD 1,500	\$5 x 50 veces x 6 grupos
Servicio de Mantenimiento	USD 1,200	\$100 x 6 x 2 veces
Combustibles de Monitoreo	USD 216	\$6 x 6 grupos x 6 veces
Suma	USD 2,916	

4. Gastos para eventos de ECA

Ítem	Costo	Nota
Gira de Intercambio	USD 2,100	\$350 x 6 grupos
Día de Campo	USD 300	\$50 x 6 grupos
Graduación	USD 750	\$75 x 6 grupos
Suma	USD 3,150	

5. Gastos para examen clínica

Ítem	Costo	Nota
Examen Clínica	USD 2,520	\$7 x 720 personas x50%
Combustibles	USD 450	
Medicinas	USD -	Aporte de MSP
Suma	USD 2,970	

Monto total

Ítem	Suma	Nota
1. Capacitación de Facilitadores	USD 12,240	
2+3+4. Ejecución de ECA	USD 8,886	
5. Examen Clínica (720 persona)	USD 2,970	
Gran Total	USD 24,096	

*Lista de materiales para ECA por grupo

Ítem	Cantidad	Nota
Papeles Periódicos (250 Papeles)	250	para un año
Marcador juego (Negro, Azul, Verde y Rojo)	4	Cada Sub-grupo
Regulas (30cm)	4	Cada Sub-grupo
Creyones (12 colores)	4	Cada Sub-grupo
Cuaderno para minutas	1	
Cuaderno de Leccionario	1	
Talonnario de recibos	1	
Archivo de PVC A4	1	
Hojas sueltas A4	1	
Papel Carbón	6	
Cintas Scotch (1 1 / 2 ")	4	Cada Sub-grupo
Relojes de pared	1	
Cinta métrica de acero (5m)	4	Cada Sub-grupo
Cinta métrica de tela (3m)	4	Cada Sub-grupo
Cinta métrica de tela (3m)	30	Cada persona
Cortauña	30	Cada persona
Toallas	30	
Jabón	30	
Bascula/Balanza	1	
Informe semanal del grupo (Formato del Proyecto)	1	
Mochila o caja de almacenamiento de materiales	1	
Plástico para carpa (1.8 x 3.6m)	2	

Todos participantes hay que traer su propio cuaderno y bolígrafo/lapiz

資料 6: ECA と保健分野

1. ECA への保健分野の組み込み

基礎的な保健テーマを ECA のプログラムに組み込む。通常、ECA が農業や環境のテーマに限ったものであることを考えると、これは新しい試みと言える。教育分野も含まれる。このように、4つの分野を効果的、意図的に組み合わせて ECA を実施することにより、持続可能な参加者の態度と行動の変容を助長することが期待される。

2. テーマ(例)

- 1) 衛生に関するプラクティスや身だしなみ
- 2) 家の内外の清掃と健康
- 3) 栄養と地域にある食物を利用した栄養価の高い食事の作り方
- 4) 母乳栄養
- 5) 離乳期の栄養と栄養価の高い離乳食の作り方
- 6) 病気の子供（下痢、熱、風邪）の世話
- 7) 女性の健康（妊娠、産褥期、授乳中の栄養と食事を含む）

参加者の要求によって、テーマを選ぶことも可能。

3. 方法

- 各テーマは、参加者自身による自分のプラクティスの評価、グループ討議への参加と意見交換を中心とし、参加者の気づきに基づく行動の変容を促進する。この方法は ECA の実施方法に準じるものである。
- 上記のテーマの（4）から（7）は栄養と料理のセッションの一部として実施する。これは講義だけでは参加者の興味を持たせることが難しいことと、栄養に関することは具体的な食事の作り方で教えるほうが効果があるためである。
- 各講義はデータの収集を兼ねる。各テーマの講義ではそのテーマに関する基礎データを集め、ECA のコースが終了する時には再度簡単なテストでデータを集め、効果の評価をするとともに、実施方法の考察をする。
- 上記の評価に従って、後継プロジェクトの ECA の保健分野の内容や実施方法を見直す。

4. プログラム

保健のテーマは毎月一回を目処とする。（ECA プログラムを参照：資料 3）。

5. ファシリテーター

- 技術支援グループの CP が保健分野のテーマを教える。プロジェクトの普及員・ファシリテーターはその助手をして、将来的に自分でできるようになるように学んでいく。
- JICA のボランティアは CP を支援して、保健テーマの実施に参加する。CP はボランティアから地域活動の技術を学び、自分でできるようにしていく。

6. 健康診断の導入(健診)

- ECA の活動の一環として健診を導入する。これは病気が進む前に診断を行い、必要に応じて治療をしていくものである。さらに、自分の健康状態を知ることによって、

自分で自分の健康は守るという意識を助長する。ECA の参加者は健診の利益について学び、健診を受けるように動機付ける。

- 健診の実施には健診車を持つパトロナトと医薬品を持つ保健省と調整する必要がある。さらに、検査についてはコストがかかるので、両機関および健診受診者と協議して資金をどうするのかを協議する必要がある。利用者の支払いも考える。
- 2009 年の 4 月から 6 月の間に 6 地域で 1 週間に 1 回の割合で ECA の参加者を対象に実施する。
- 健診データを記録する台帳を準備し、住民の健康状況をモニターする。
- 各自の健診記録ノートを作成する。

7. 必要なリソース

ECA および健診には教材や資機材となる。(パイロットプロジェクトの資材リストおよびコスト参照：資料 5)。

8. 教材

保健省や教育省学校保健プログラムには多くの教材が存在する。これらの教材を利用する。以下は ECA で使用することが出来る一つの良い教材例である。

- **‘Libro de la familia para la vida’ ME/UNICEF 2007 y las fichas.** (Programa de educación básica para jóvenes y adultos del Ecuador)

資料 7: Ejemplos de Modulos del Estudio

Modulo del Estudio <Salud 1>

1. Tema o Enfoque

Prácticas higinecas

2. Objetivos general (en una sentencia)

- Las participantes de ECA aprenden y aplican las practicas higinecas.

3. Mensaje principal o eslogan (En corto)

- Lavar manos antes de comer y después de usar baño y tabajo

4. Diseño del estudio o experimento comparativo

➤ Para obtener la información sobre la eficacia del metodología en salud, tenemos que comparar los datos de las manos limpios y sucios, al inicio y al final del curso de ECA.

5. Materiales Necesarios

- Material educativo (una página, mostrando como bacterias y parásitos pueden transmitir por una persona a otra)
- Toalla y jabón para cada participante

Un ejemplo de materiales educativos útiles

- Ficha de 'Higiene personal, familiar y comunitario' y
- Libro de la Familia para la vida, Programa de educación básica para jóvenes y adultos del Ecuador, por Ministerio de Educación y UNICEF, 2007

6. Duración (lectura y practica)

- 10 minutos en la primera sesion, 5 minutos en sigienetes sesiones.

7. Presentador

Facilitador, Grupo de asistencia técnica

8. Corroborator

Grupo de asistencia técnica

9. Pasos de implementación o procedimientos

- En la primera sesion, los participantes chequean sus manos y votan en la caja de balote como piensan; limpio o sucio.
- Promotores observen las manos de los participantes. (cuidate que no de verguencia a las participantes)
- Después de contar las limpios y sucios por participantes y por promotores, compararlos.
- En la primera sesion de ECA, dar charlas sobre este tema utilizando materiales educativos
- Acordar con los participantes que, desde el próxima sesion, se chequean las manos antes de la sesion u otra alternativa de monitorear la aplicación de las practicas higinecas.
- Desde la segunda sesion, monitorear su aplicación. (Facilitadores toman datos mensualmente)

10. Manera de, seguimiento, monitoreo y evaluation

- Confirmación verbal en otra semana
- Practicas seguidos en cada semana
- Visitas físicas
- Prueba de caja; Examen

Modulo del Estudio <Salud 2>

1. Tema o Enfoque

Limpieza y Ordenamiento de la casa

2. Objetivos general (en una sentencia)

- Los participantes de ECA aprenden y aplican como mantener la casa limpia y ordenada.
- Introducir la idea de exponer 'Katakuna' al sol para tratar insectos.

3. Mensaje principal o eslogan (En corto)

- La casa limpia es la base de la salud de la familia.

4. Diseño del estudio o experimento comparativo/ Colección de datos

- Los participantes evalúan su casa (cocina, baño, lugar donde recoge agua, alrededor de la casa) antes y después de ECA.
- Preparar la hoja de auto-evaluación de limpieza y ordenamiento de la casa, que los participantes llenan.

5. Materiales Necesarios

- Preparar la hoja de chequeo de la casa (auto-avaluación)
- Material educativo (una página, mostrando como bacterias y parásitos pueden transmitir por una persona a otra)
- Materiales educativos

6. Duración (lectura y practica)

- Una sesión (2 horas).

7. Presentador

Facilitador, Grupo de asistencia técnica

8. Corroborator

Voluntaria Japonesa

9. Pasos de implementación o procedimientos

- En la sesión, los participantes chequean su casa y notan como está en la hoja de auto-evaluación.
- Los participantes comparan sus notas y discuten si están bien sus casas, y como se pueden mejorar en grupos pequeños.
- Después, cada grupo presenta sus informaciones.
- Dar charlas sobre la importancia de la limpieza y ordenamiento de la casa.
- Incluir la tema de exponer la 'Katakuna' al sol para matar algunos insectos y secarla.
- Los participantes discuten juntos y acuerdan los puntos de mejoramiento de la limpieza y ordenamiento de la casa.
- Acordar de cuál manera se monitorea la situación.

10. Manera de, seguimiento, monitoreo y evaluation

- Confirmación verbal en otra semana
- Practicas seguidos por los participantes
- Visitas físicas en la sesión y al final
- Prueba de caja; Examen

Modulo del Estudio <Salud 3>

1. Tema o Enfoque

Nutrición y la preparación de comida nutritiva

2. Objetivos general (en una sentencia)

- Los participantes aprenden como preparar las comidas utilizando los alimentos disponibles en las comunidades.
- Los participantes aprenden sobre la nutrición para la salud.

3. Mensaje principal o eslogan (En corto)

- Se puede mejorar la comida cotidiana con lo que hay en la casa

4. Diseño del estudio o experimento comparativo/ Colección de datos

Dar pequeño prueba sobre nutrición en la primera sesión y al final del curso

5. Materiales Necesarios

- Los participantes tienen que llevar los alimentos
- Los participantes son responsable para prestar calentador(?) y tanque de gas
- La facilitador tiene la receta de cocina para distribuir al final de la sesión
- Platos y tenedores (los participantes?)
- Prueba sencillo

Ejemplos de materiales educativos útiles

- Ficha de 'Alimentación y vida sana' de Libro de la familia para la vida por ME/UNICEF 2007.
- Hay muchos materiales en la unidad de nutrición de la Dirección Provincial de Salud de Chimborazo.

6. Duración (lectura y practica)

2 horas

7. Presentador

Promotor/Facilitador del proyecto, voluntaria Japonesa

8. Corroborador

El Grupo de asistencia técnica

9. Pasos de implementación o procedimientos

- La facilitadora saluda a los participantes introduciendo el tema de hoy
- **Antes de dar charlas**, haga una prueba como recoger los datos de línea de base (que hacen o creen actualmente en cuanto a este tema)
- Los participantes lavan las manos
- Demostrar la preparación de la comida explicando la nutrición de alimentos usados
- Los participantes practican (como sea posible) la cocina
- Prueba de la comida por los participantes
- Discusión en cuanto al tema entre los participantes
- Prueba de lo que aprendieron
- Conclusión de la sesión
-
-
-
-

Nota: El promotor/Facilitador tiene que avisar a los participantes que traigan alimentos a esta sesión, en la sesión anterior.

10. Manera de, seguimiento, monitoreo y evaluation

- Confirmación verbal en siguiente semana
- Presentación en el Día de Campo
- Prueba en la session y al final

Modulo del Estudio (Salud 4)

1. Tema o Enfoque

**Nutrición y la comida nutritiva,
Lactancia materna**

2. Objetivos general (en una sentencia)

- Los participantes aprenden la importancia de lactancia materna, y nutrición de la lactante.

3. Mensaje principal o eslogan (En corto)

- Lactancia materna es la mejor comida para bebé, y su mama necesita la comida nutritiva.

4. Diseño del estudio o experimento comparativo/recolección de datos

Dar una pequeña prueba sobre nutrición en la sesión y al final del curso

5. Materiales Necesarios

- Los participantes tienen que llevar los alimentos
- Los participantes son responsable para prestar calentador(?) y tanque de gas
- La facilitador tiene la receta de cocina para distribuir al final de la sesión
- Material educativo para dar a los participantes
- Platos y tenedores (los participantes?)
- Prueba sensillo

Un ejemplo de materiales educativos útiles

- Ficha de 'Lactancia materna' y
- Libro de la Familia para la vida, Programa de educación básica para jóvenes y adultos del Ecuador, por Ministerio de Educación y UNICEF, 2007

6. Duración (lectura y practica)

2 horas

7. Presentador

Facilitador, Voluntario de JICA

8. Corroborator

Grupo de asistencia técnica

9. Pasos de implementación o procedimientos

- La facilitadora saluda a los participantes introduciendo el tema de hoy
- **Antes de dar charlas**, haga una prueba como recoger los datos de línea de base (que hacen o creen actualmente en cuanto a este tema)
- La facilitadora presenta el tema de hoy (beneficios de lactancia materna y la necesidad de comidas nutritivas de las lactantes)
- Los participantes lavan las manos
- Demostrar la preparación de la comida
- Los participantes practican (como sea posible)
- Prueba de la comida por participantes
- Discusión en cuanto al tema (lactancia materna y nutrición de lactante) entre los participantes
- Prueba de lo que aprendieron
- Conclusión de la sesión
-
-
-
-

Nota: El promotor/Facilitador tiene que avisar a los participantes que traigan alimentos a esta sesión, en la sesión anterior.

10. Manera de, seguimiento, monitoreo y evaluation

- Confirmación verbal en otra semana
- Presentación en el Día de Campo
- Prueba de caja; Examen

Modulo del Estudio (Salud 5)

1. Tema o Enfoque

Alimentación complementaria infantil

2. Objetivos general (en una sentencia)

- Los participantes aprendan la importancia de alimentación complementaria para los niños de 6 meses a 12 meses,
- también aprender como preparar buenas alimentaciones complementarias con alimentos disponibles en casa.

3. Mensaje principal o eslogan (En corto)

- El periodo de destete es una epoca muy clave para el crecimiento de los niños.

4. Diseño del estudio o experimento comparativo/Corección de datos

-
- Practicas actuales discutidas en la sesión como datos de linea de base
- Preparación de alimentaciones complementarias para el día de campo

5. Materiales Necesarios

- Los alimentos disponibles en casa
- Los participantes preparan un lugar de demostración de cocina con gas
- Recetas de la comida y alimentación complementaria
- Prueba sencillo
-

Ejemplos de materiales educativos útiles

- Ficha de 'Gura del desarrollo' de Libro de la familia para la vida por ME/UNICEF 2007.
- Hay muchos materiales en la unidad de nutrición de la Dirección Provincial de Salud de Chimborazo.

6. Duración (lectura y practica)

2 horas

7. Presentador

Facilitador, Tecnico CPCH, Voluntario de JICA

8. Corroborator

Equipo del grupo de asistencia técnica

9. Pasos de implementación o procedimientos

- La facilitadora saluda a los participantes introduciendo el tema de hoy
- **Antes de dar charlas**, haga una prueba como recoger los datos de linea de base (que hacen o creen actualmente en cuanto a este tema)
- Los participantes lavan las manos
- Dmonstrar la preparación de la comida
- Los participantes practican (como sea posible)
- Prueba de la comida por participantes
- Discusión en cuanto al tema (alimentación complementaria) entre los participantes
- Prueba de lo que aprendieron
- Conclusión de la sesión
-

Nota: El promotor/Facilitador tiene que avisar los participantes que tienen que traer a esta sesión, en la sesión anterior.

10. Manera de, seguimiento, monitoreo y evaluation

- Confirmación verbal en otra semana
- Presentación en el Dia de Campo
- Prueba de caja; Examen

Modulo del Estudio <Salud 6>

1. Tema o Enfoque

Cuidado de niños enfermos con diarrea, fiebre o gripe

2. Objetivos general (en una sentencia)

Los participantes aprenden como cuidar las niñas y niños enfermos en la casa para recuperar de enfermedades de diarrea, fiebre o gripe

3. Mensaje principal o eslogan (En corto)

Cuando el niño este enfermo, tiene que dar liquido y continúe con la comida (o lactancia materna)

4. Diseño del estudio o experimento comparativo/colección de datos

1) Preguntar a los participantes que hacen cuando tengan diarrea, fiebre o gripe. Registrar las respuestas como los datos de línea de base.

2) Después de orientación, aplique un prueba pequeño.

3) Al final del curso de ECA, aplique la misma prueba.

Comparar los datos de 1), 2) y 3)

5. Materiales Necesarios

- Los alimentos disponibles en casa
- Los participantes preparar un lugar de demostración de cocina con gas
- Recetas de la comida y alimentación para los niños enfermos
- Prueba sencillo
- Ficha de cuidado de niños enfermos

Un ejemplo de materiales educativos útiles

- Ficha de 'La diarrea' 'Tos y Catarro' y,

- Libro de la Familia para la vida, Programa de educación básica para jóvenes y adultos del Ecuador, por Ministerio de Educación y UNICEF, 2007

6. Duración (lectura y practica)

2 horas

7. Presentador

Facilitador, Técnico del grupo de asistencia técnica, Voluntario de JICA

8. Corroborator

El grupo de asistencia técnica

9. Pasos de implementación o procedimientos

- La facilitadora saluda a los participantes introduciendo el tema de hoy
- **Antes de dar charlas**, haga una prueba como recoger los datos de línea de base (que hacen o creen actualmente en cuanto a este tema)
- Los participantes lavan las manos
- Demostrar la preparación de la comida de familia y también la comida apropiada para los niños enfermos
- Destacar la necesidad de dar liquido.
- Enseñar los signos peligros
- Los participantes practican (como sea posible)
- Prueba de la comida
- Discusión en cuanto al tema (Cuidado de los niños enfermos con diarrea, fiebre o gripe) entre los participantes
- Prueba de lo que aprendieron
- Conclusión de la sesión

10. Manera de, seguimiento, monitoreo y evaluation

- Confirmación verbal en otra semana
- Practicas seguidos en la casa
- Presentación en el Día de Campo
- Prueba de caja; Examen

Modulo del Estudio <Salud 7>

1. Tema o Enfoque

Salud de Mujeres (Embarazada, Postnatal y Lactante) y derechos a los servicios de salud

2. Objetivos general (en una sentencia)

Los participantes aprenden como mantener la salud durante embarazada, postnatal y durante dando lactancia materna, así como aprender los servicios de salud disponibles y sus derechos hacia los servicios.

3. Mensaje principal o eslogan (En corto)

Tiene que mantener la salud a través de las comidas nutritivas y utilizar los servicios de salud.

4. Diseño del estudio o experimento comparativo/Colección de datos

- 1) Preguntar a los participantes sobre conocimientos y uso de los servicios de salud como en la sesión línea de base
- 2) Preguntar el mismo al final de curso
- 3) Como arar los datos.

Para los participantes masculinos, preguntar sobre sus esposas o hijas.

5. Materiales Necesarios

- Los alimentos disponibles en casa
- Los participantes preparar un lugar de demostración de cocina con gas
- Recetas de la comida y alimentación para embarazadas y lactantes
- Prueba sencillo

Un ejemplo de materiales educativos útiles

- Ficha de 'Maternidad sin riesgos' y,

- Libro de la Familia para la vida, Programa de educación básica para jóvenes y adultos del Ecuador, por Ministerio de Educación y UNICEF, 2007

6. Duración (lectura y practica)

2horas

7. Presentador

Facilitador, Tecnico CPCH, Voluntario de JICA

8. Corroborator

Técnicos o miembros de Equipo Básico de Salud de MSP

9. Pasos de implementación o procedimientos

- La facilitadora presenta el tema de hoy
- Prueba como recoger los datos de línea de base
- Discutir sobre los servicios de salud disponibles para las mujeres y derechos
- Los participantes lavan las manos
- Demonstrar la preparación de la comida de familia y también las comidas apropiadas para las mujeres embarazadas y lactantes.
- Los participantes practican (como sea posible)
- Prueba de las comidas
- Discusión en cuanto al tema entre los participantes
- Prueba de lo que aprendieron
- Conclusión de la sesión
-
-
-

10. Manera de, seguimiento, monitoreo y evaluation

- Confirmación verbal en otra semana
- Practicas seguidos en casa
- Presentación en el Dia de Campo
- Prueba de caja; Examen

(1) 行政区分

2008年憲法による

	行政単位	権能・役割	関係	注
県	チンボラン県政府	263条、県政府は、法が他に定めるところを除いて、排他的に次のような権限を有する。 1. 国家、地域、郡、バロキアの計画と連携した方法で、県の開発を企画し、県管轄地域の計画をまとめる。 2. 市街地を除いて、県の管轄範囲の道路網を計画し、建設し、維持管理する。 3. 流域及び小流域の工事を、地域政府と協力して、実行する。 4. 県の環境の管理。 5. 灌漑システムを計画し、建設し、維持管理する。 6. 農牧活動を促進する。 7. 県内の生産活動を促進する。 8. その権限を行使するため国際協力を遂行する。 その管轄範囲において、その権能を用いて、県の条例を発する。	252条、各県は、県都に県審議会を持つ。それは、法に従って、選挙で選ばれた知事と副知事、各部の市長、カントンを代表する議員、農村バロキア委員会の長の中から選ばれた代表者で構成される。県知事が行政の最高権威者であり、無効票を持って県議会を統括する。その不在時には副知事が代行する。	有給の公務員及び労働者を持つ。県庁は、リオバンバ市のPrimera Constituyente y Carabobalにある。
郡	市(Municipio)	264条、郡政府は、法が他に定めるところを除いて、排他的に次のような権限を有する。 1. 市街地と農村の土地の利用と占有を調整するために、国家、地域、県、バロキアの計画と連携した方法で、郡の開発を企画し、郡管轄地域の計画をまとめる。 2. 郡内の土地の利用と占有を管理する。 3. 市街地の道路を計画し、建設し、維持管理する。 4. 飲料水、下水、廃水処理、固形廃棄物管理、環境衛生活動、法の定めるその他のものについて公共サービスを提供する。 5. 法規、料金、特殊税を創設し、修正し、廃止する。 6. 郡内の公共交通及び輸送手段を計画し、調整し、管理する。 7. 法に従って、社会的、文化的、スポーツの発展を目指す公共サービスと同様に、物理的インフラ、保健と教育の設備を計画し、建設し、維持管理する。 8. 郡内の建築的、文化的、自然の遺産を保護し、維持し、広報し、これらの目的のために公共の場を建設する。 9. 市街地と農村の不動産の土地登記を促進し、管理する。 10. 法が定める制限を別として、海岸、川岸、河床、湖沼の利用の範囲を定め、規制し、許可し、管理する。 11. 海岸、川岸、河床、湖沼の使用に関して人々の有効なアクセスを保護し、保証する。 12. 河床、湖沼、海岸、砕石場にある土砂小石岩石の開発を調整し、許可し、管理する。 13. 火災の予防、保護、救出、消化のサービスを行なう。 14. その権限を行使するため国際協力を遂行する。 その管轄範囲において、その権能を用いて、郡の条例を発する。	253条、各郡は、郡審議会を持つ。それは、選挙で選ばれた市長と議員から構成される。議員の中から副市長が選ばれる。市長が行政の最高権威者であり、無効票を持って郡会を統括する。法の定めるように、市街地と農村に住む郡の住民が比例して議員は選ばれる。	有給の公務員及び労働者を持つ。郡庁は、カントンの中心地にある。
バロキア	バロキア委員会	267条、バロキア政府は、法が他に定めるところを除いて、排他的に次のような権限を有する。 1. 郡及び県と連携し、バロキア及びバロキア郡管轄地域の開発を計画する。 2. 開発計画や毎年の参加型予算に含まれた、バロキアのインフラ、設備、空間を計画し、建設し、維持管理する。 3. 県政府と調整して、農村バロキア道路を計画し、建設し、維持管理する。 4. 集落の生産活動の開発や、生物多様性の保全と環境保護を刺激する。 5. 他の行政レベルから譲られたり、分権化された公共サービスを行い、調整し、管理する。 6. 地縁に基づいた、共同体、地区、農村の市民組織を促す。 7. その権限を行使するため国際協力を遂行する。 8. 公共事業実施や公共サービスの質を監視する。 その管轄範囲において、その権能を用いて、バロキアの条例を発する。	255条、各バロキアは、バロキア委員会を持つ。それは、選挙で選ばれた議員から構成される。最も得票を得たものがバロキア委員長になる。バロキア委員会の構成、属性、責任は、法によって定められている。	有給の公務員を持つ。事務所は、バロキアの中心地にある。
村	法的集落(村議会)	集落の全体集会を率いる。集落の運営管理を行なう。	毎年選出される。	公務員を持たない。村議会の村長や議員は無給である。

(2) C/P 地区組織

	県庁	農牧漁業省	環境省	保健省	教育省 スペイン語局	教育省 二言語局
県	チンボラソ県政府	農牧漁業省県事務所	環境省県事務所	保健省県事務所	教育省 スペイン語局県事務所	教育省 二言語局県事務所
郡		開発地域 (= 郡事務所) (Alausí, Colta, Cumandá, Chambo, Chunchi, Guano, Guamote, Pallatanga, Penipe y Riobamba)		保健地域病院 地域1. (Riobamba、Chambo) 地域2. (Colta, Cumandá、Pallatanga) 地域3. (Guamote) 地域4. (Alausí) 地域5. (Chunchi) 地域6. (Guano、Penipe)	公立西語中等校 (Alausí, Colta, Cumandá, Chambo, Chunchi, Guano, Guamote, Pallatanga, Penipe y Riobamba)	公立二言語中等校 (Alausí, Colta, Guamote, Pallatanga y Riobamba)
パロキア		キミアグパロキア開発地域(リオバンバ郡のキミアグパロキアのみ)にパロキア事務所がある)		保健センター又は保健サブセンター(全てのパロキアにあるわけではない。)	西語小学校が、全パロキア中心地にある。	パロキアで公立二言語中等校がある場所': Achupallas, Tixan y Sibambe (Alausí), Columbe y Santiago de Quito (Colta), La Matriz (Guamote), Cacha, Calpi, Flores, Licto, San Juan (Riobamba)
村						全村落に小学校あり

注: リオバンバに2つの公立大学がある。(Escuela Superior Politécnica de Chimborazo - ESPOCH y Universidad Nacional de Chimborazo -

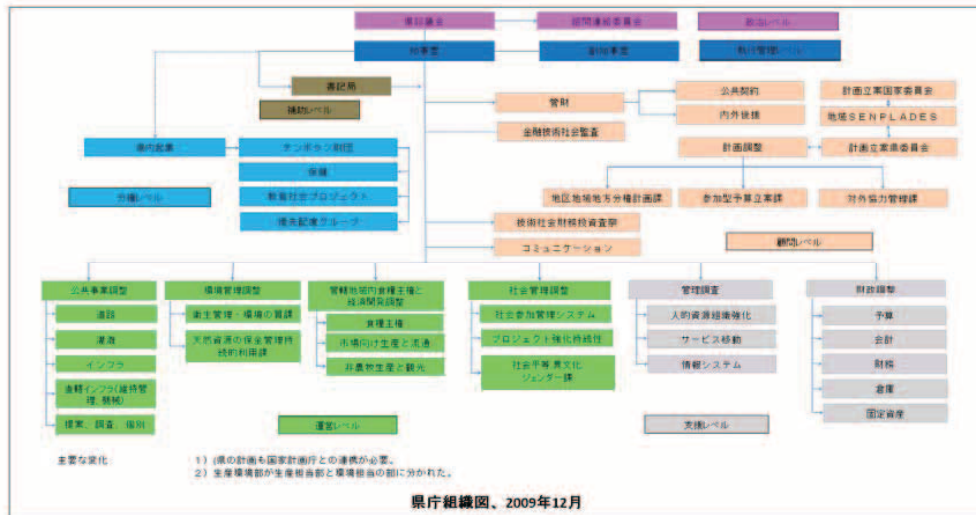
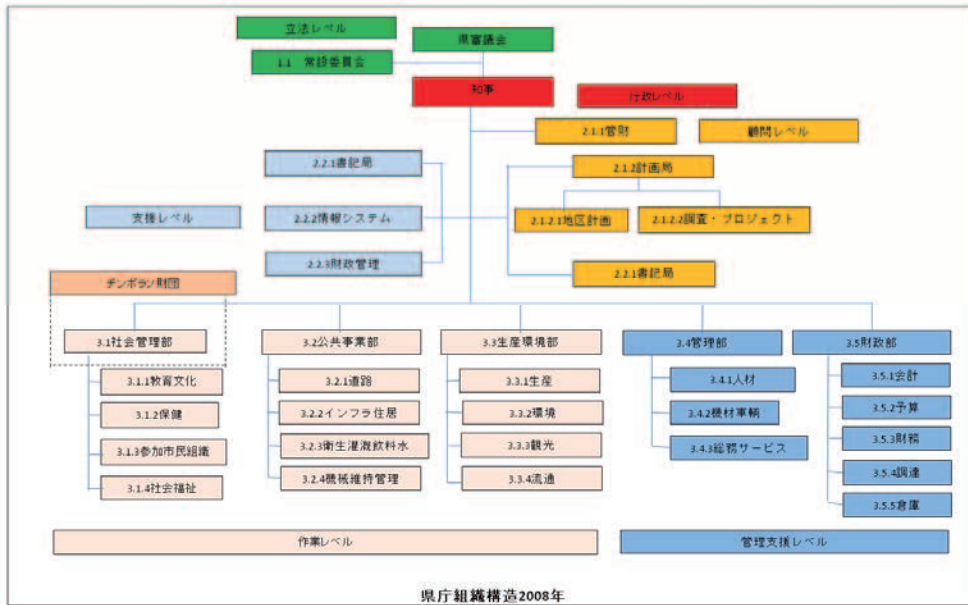
注: リオバンバに1つの私立大学がある。(Universidad Interamericana del Ecuador - UNIDEC)

注: リオバンバに他に3つの私立大学の分校がある。これらは週末毎に開校している。

(3) 組織図

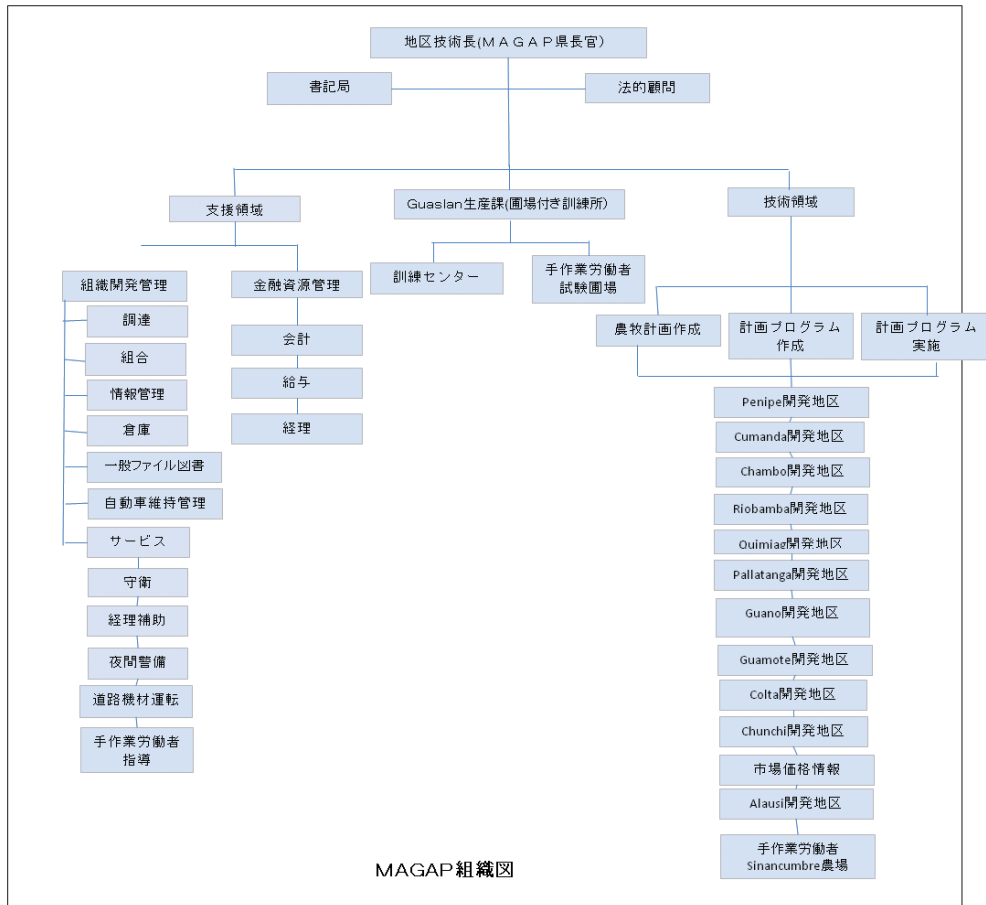
A. チンボラソ県政府

- 2009年9月に、チンボラソ県審議会(CPCH)という名称が、チンボラソ県政府(GPCH)に変わった。現在、正式には、エクアドル共和国の新憲法によると、チンボラソ県地方分権自治政府という。
- それに伴い、2009年12月に組織構造が変更になった。大きな変化は次の2つである。
 - a) 生産と環境の双方を担当していた部局(生産環境部)が、2つに分かれた(環境管理調整部と食糧主権及び県領域開発調整部)。
 - b) 県庁の計画と la SENPLADES(国家開発計画庁)による国家計画との関係が強化された。



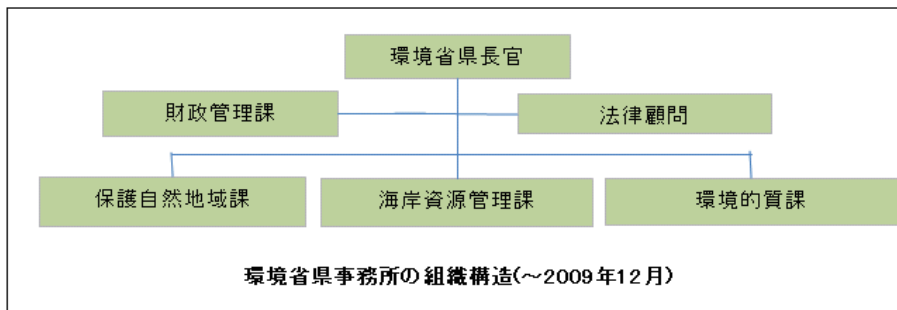
B. 農牧漁業省

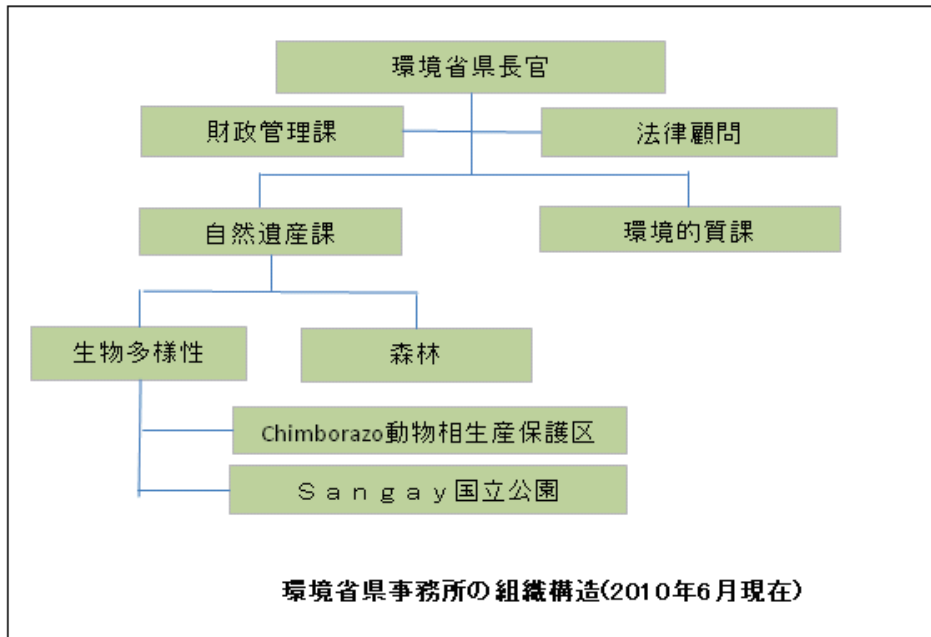
- 農牧漁業省(MAGAP)の組織構造は、プロジェクトの前後で変化していない。



C. 環境省

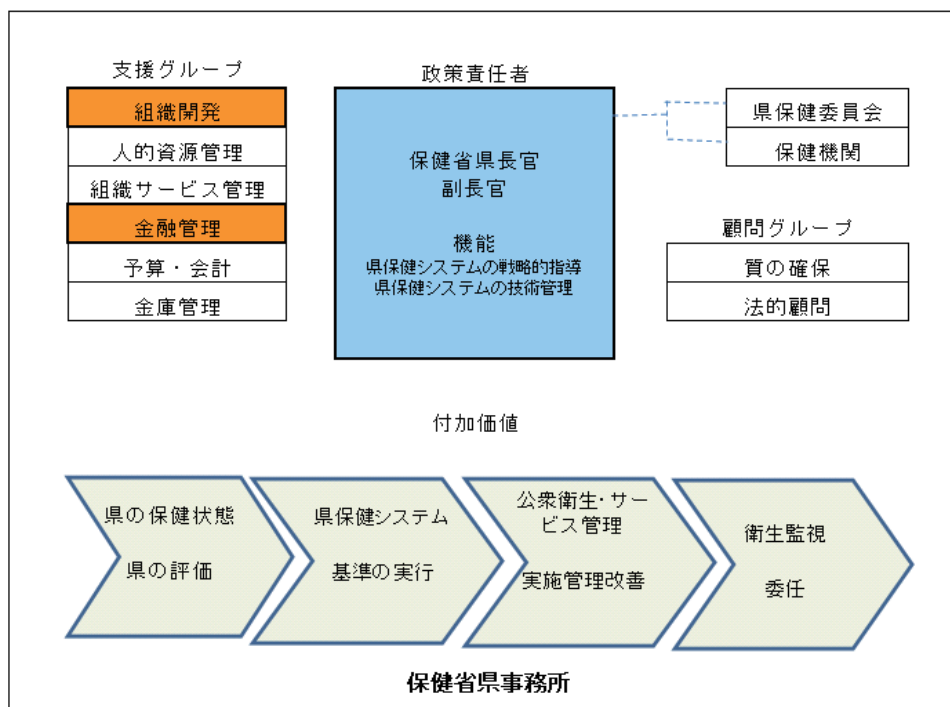
- プロジェクト立案のために事前調査団が来た時は、環境省(MAE)の第三地域事務所が、トゥングラワ県、コトパクス県、チンボラソ県、パスターサ県を管轄していた。
- 2009年1月に環境省チンボラソ県事務所が生まれた。2009年は環境省県事務所の一般的な形態で組織が管理された。2010年1月からチンボラソ県の実情にあった形態に変更された。





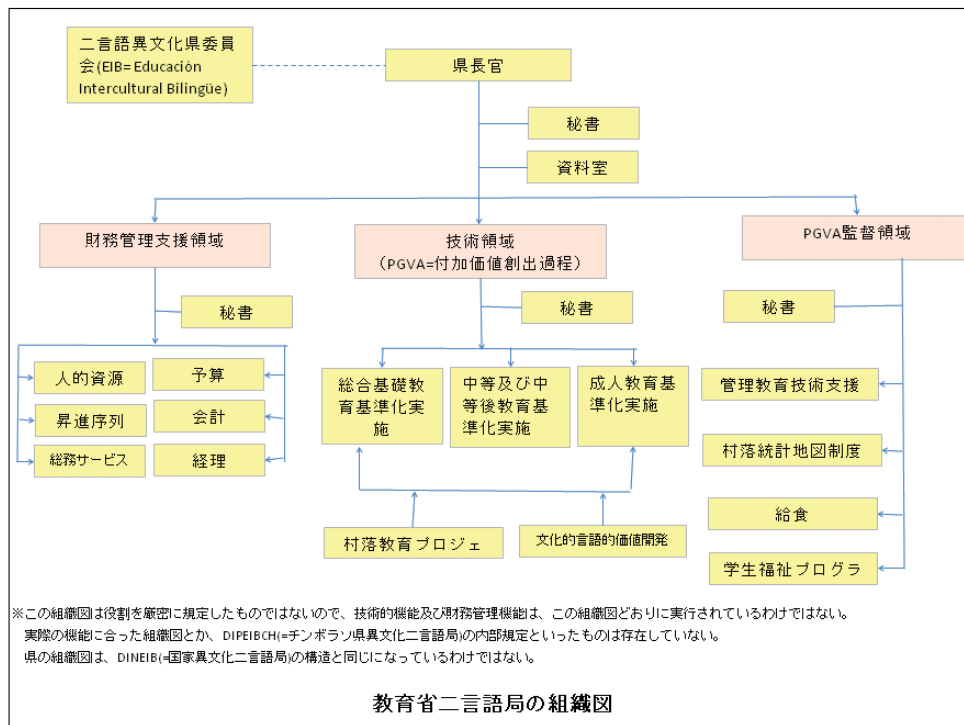
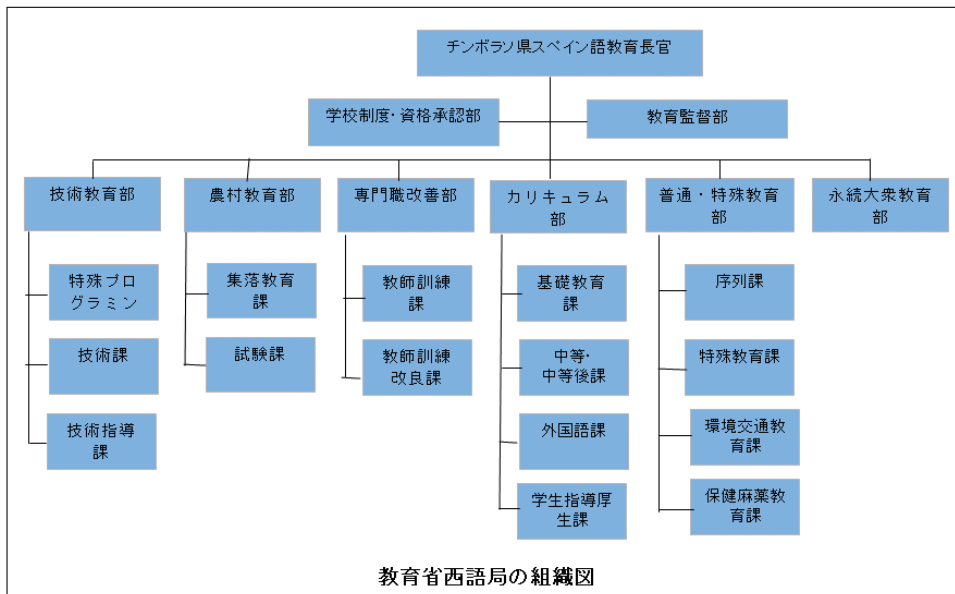
D. 保健省

- 保健省(MSP)の組織構造は、プロジェクトの前後で変化していない。



E. 教育省

- 保健省(ME)の組織構造は、プロジェクトの前後で変化していない。



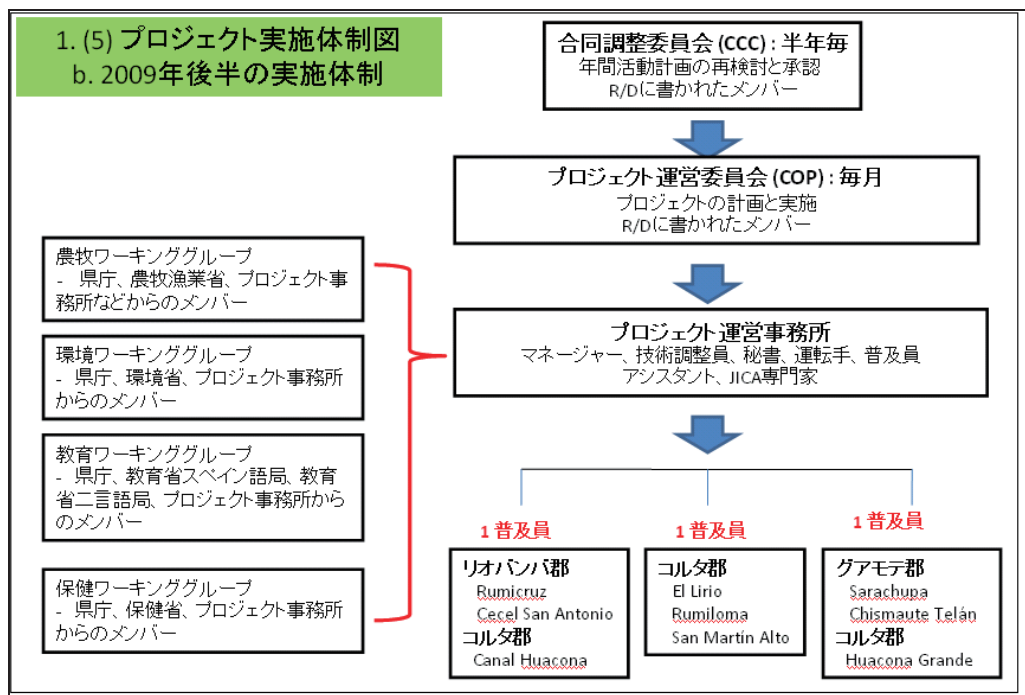
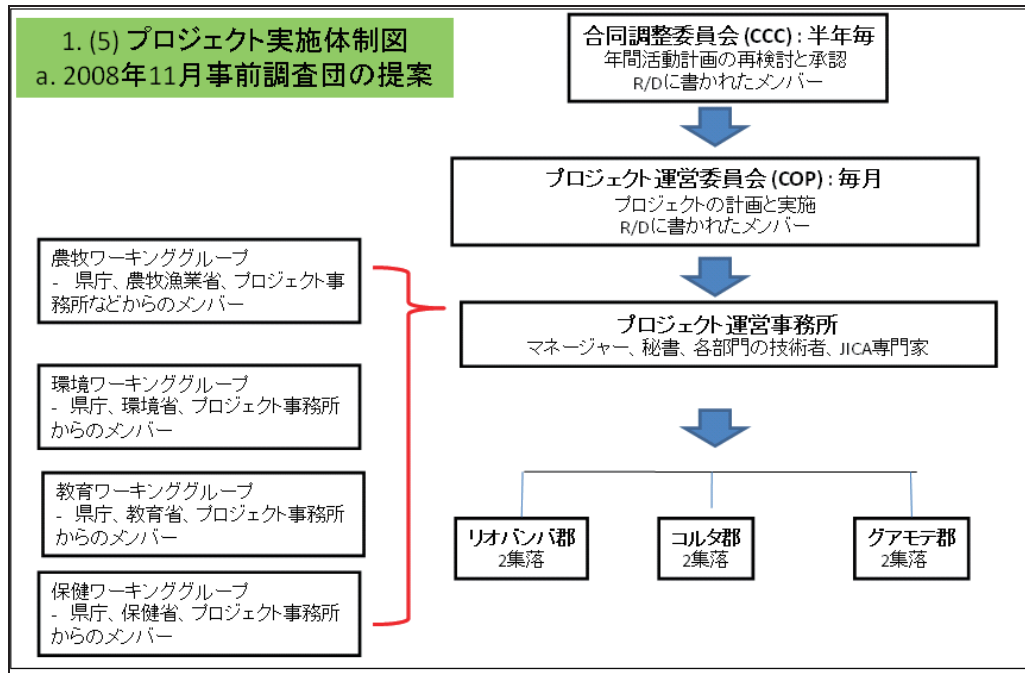
(4) プロジェクト実施体制

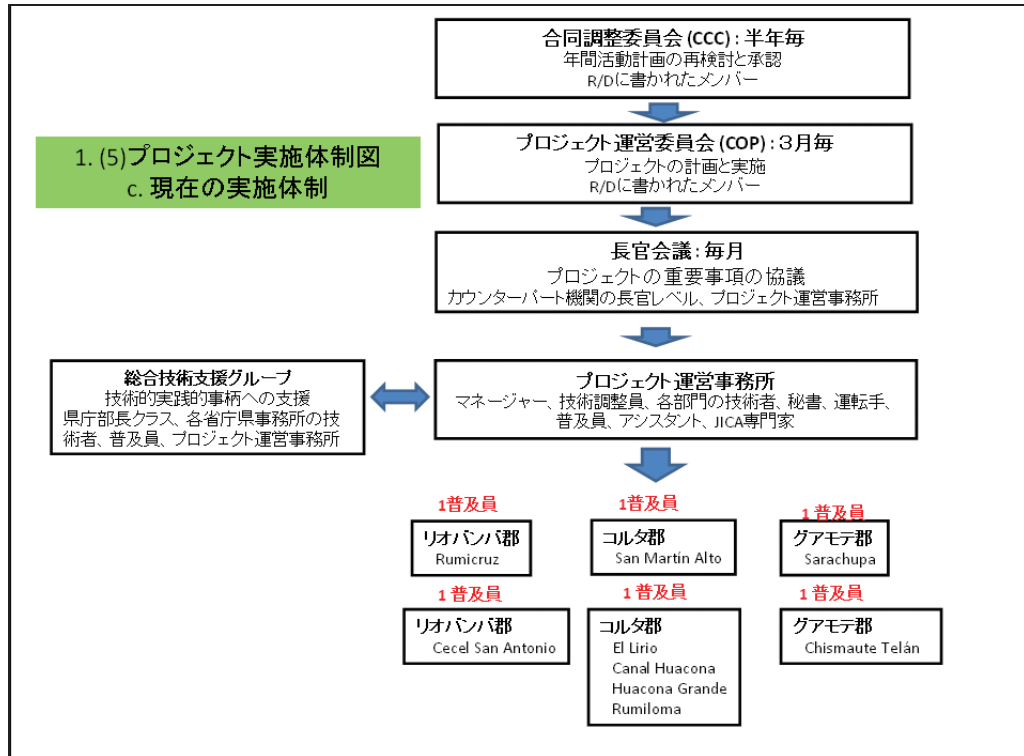
ア. 2008年11月の事前調査団の提案 2009年後半の実施体制との差

- 1) 教育省は、教育部門の重要なカウンターパートであると考えられた。しかし、教育省は、2つの県事務所を持っている。スペイン語局と二言語局である。両方が、教育部門の農村開発に関係を持っている。そこで、両方の県事務所が、カウンターパートになり、プロジェクト運営委員会のメンバーになり、教育ワーキンググループのメンバーになった。それによって、教育部門の相当な活動が実行された。
- 2) 農村開発を促進するのに普及員が必要である。事前調査団は、県庁社会管理部の普及員達との連携を考えていた。しかし、プロジェクトの活動をするには十分な数の普及員がいなかった。そこで、県庁は2009年7月の運営指導調査団の提案に従って、プロジェクト専属の3名の普及員を雇用した。これによって、プロジェクトが直接に集落住民と関係を持つ状況がもたらされた。

イ. 2009年後半の実施体制と現在の実施体制の差

- 1) プロジェクト運営委員会(COP)は、2010年5月までは毎月開催されてきた。COPは会議開催の頻度を変更することを決め、2010年5月以降は3ヶ月ごとに開催することになった。変更の理由は、COPのメンバーが多く実務的問題を議論するのに適していなかったことと、1ヶ月の間隔では進捗に大きな変化がなく、進捗報告をするにももう少し間隔があったほうが望ましかったからである。COPの開催頻度の変更を補い、重要な実務的問題を議論する場として、長官会議が組織された。この会議は、カウンターパート機関の長官からなっている。これによって、カウンターパート間の連携が促され、実務的問題を話しあう場が生み出された。
- 2) ワーキンググループは、2009年のベースライン調査や戦略立案の活動で大きな役割を果たした。しかし、パイロット・プロジェクト実施過程では全部の連携が必要となった。そこで、総合農村開発を推進するための総合技術支援グループが形成された。総合技術支援グループは、県庁の各部門の責任者、省庁県事務所の技術者、普及員、プロジェクト事務所によって構成される。総合技術支援グループは、プロジェクトの技術的実践的問題を支援する。これによって、各部門の技術者の連携が促された。実務者の立場から長官会議に提案を実施する。
- 3) 戦略は、主要なパイロット・プロジェクトとして農民野外学校(ECA)を採用した。ECAは6集落で実施される。従って、県庁は各集落を担当する6名の普及員を雇用した。





(5) 協力機関情報

1) カントン自治政府情報

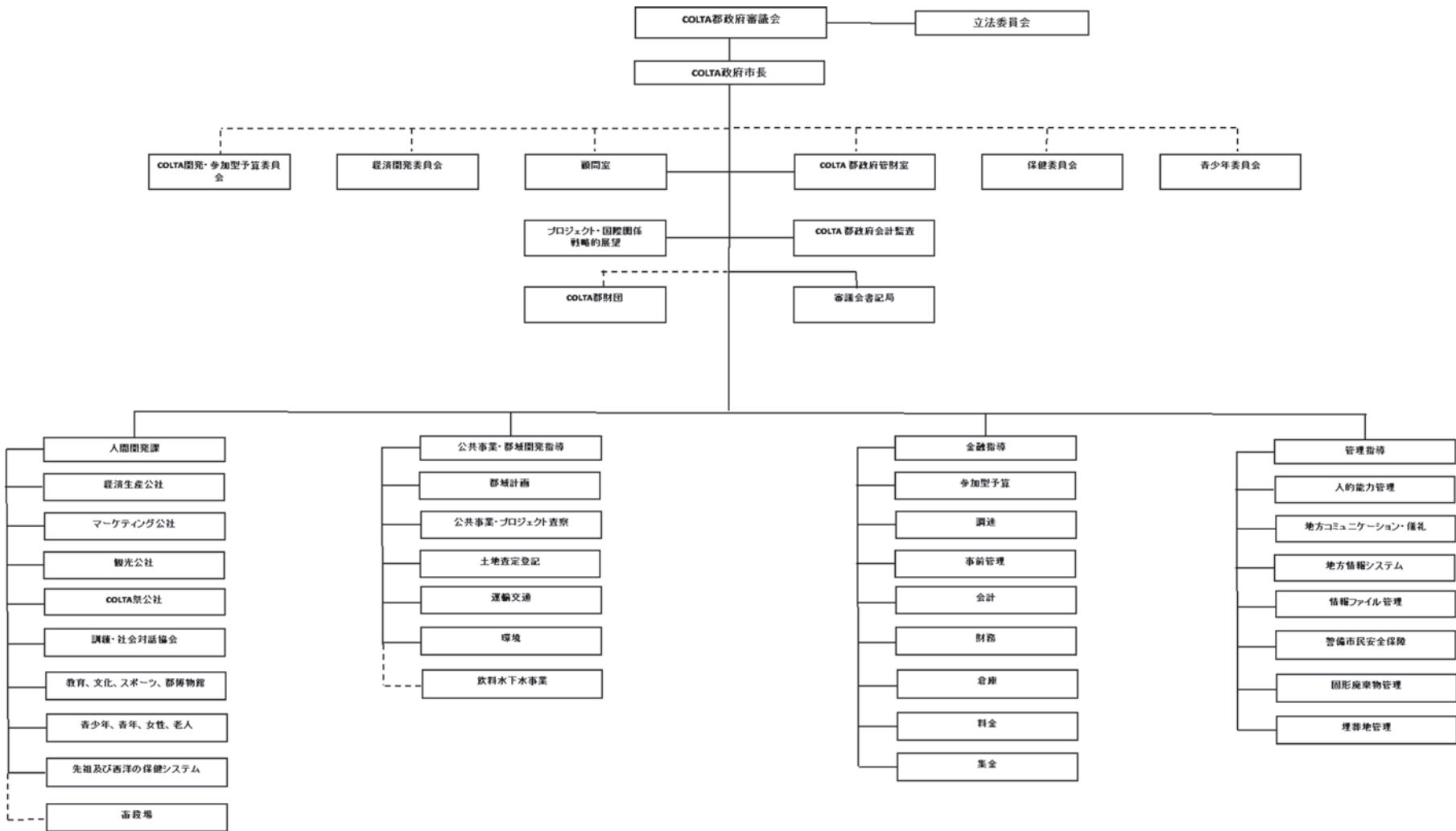
① COLTA郡

名前	COLTA 郡政府
同郡直属のモデル集落	El Lirio, Huacona Grande, Canal Huacona y Rumiloma
市長	ING. HERMEL TAYUPANDA
事務所	Gorivar y 2 de Agosto; Municipio de Colta, (593)- 32 912 202
業務時間	平日 7:30～ 12:30 と 13:00～16:00
人数	113 人の職員
活動:	Colta 郡の参加型予算を実行する。Colta 郡(市)役所は、質の高い基本的普遍的サービスの提供を通して、郡の住民に良い生活を推進する地方分権自治政府である。観光開発支援プロジェクトと行い、文化、スポーツ、社会的遺産保護への市民参加プログラムを設定している。
専門性(目的)	a) 市民参加と、国内組織及び国際組織の支援で、効率的な財政管理を強化する。 b) 民主的で参加型の方法で、敏捷に、効率的に、親切に、集落のニーズに対し適切なサービスをもたらす。 c) 状況的必要性に適した、組織的、行政的、財政的、技術的構造によって、チンボラソ県のモデル郡となる。 d) 郡からの効率的サービス提供を心がけ約束するワーキングチームとなる。
プロジェクトとの関係	現在はない

San Martín Alto は、Columbe パロキア委員会の管轄下にある。

Columbe パロキア委員会は、郡内の他の農村部パロキアとともに、Colta 郡政府の管轄下にある。

Colta 郡政府の中心部にはパロキア委員会がなく、上記 4 村は他集落とともに、Colta 郡政府の直轄下にある。



② GUAMOTE郡

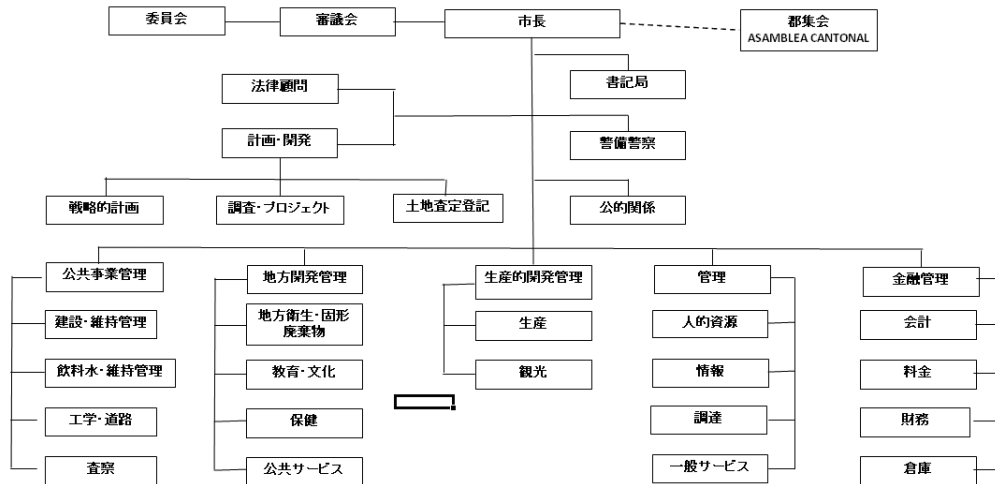
名前	GUAMOTE 郡政府	
同郡直属のモデル集落	Chismaute Telan	
市長	SR. JUAN DE DIOS ROLDÁN ARELLANO	
事務所	10 de Agosto y A Montalvo. Telf: (593)-32 916-249	
業務時間	平日 7:30 ~ 12:30 と 13:00~ 16:00)	
人数	391 人の職員	
活動:	郡政府の開発活動の計画、実施、持続性。郡内の様々な社会階層の直接的効果的参加で住民の社会経済開発を保証するように、公共事業とサービスのプロジェクトを、質が高く、タイミングの良いものへと活発化する。	
専門性(目的)	a) 集団の福祉に努め、地方の利益の促進と保護に寄与する。 b) 郡内の市街地と農村の物理的開発を計画し推進する。 c) 文化、教育、社会支援の発展と改善に関し、他の組織と連携する。 d) 移り変わる状況の中、社会政治経済分野で郡が直面している問題の最も適切な解決策を調べ、分析し、勧告する。	
プロジェクトとの関係	現在はない	

Sarachupa は、Palmira パロキア委員会の管轄下にある。

Palmira パロキア委員会は、郡内の他の農村部パロキアとともに、Guamote 郡政府の管轄下にある。

Guamote 郡政府の中心部にはパロキア委員会がなく、

Chismaute Telan は他集落とともに、Guamote 郡政府の直轄下にある。



GUAMOTE郡政府組織図

③ RIOBAMBA郡

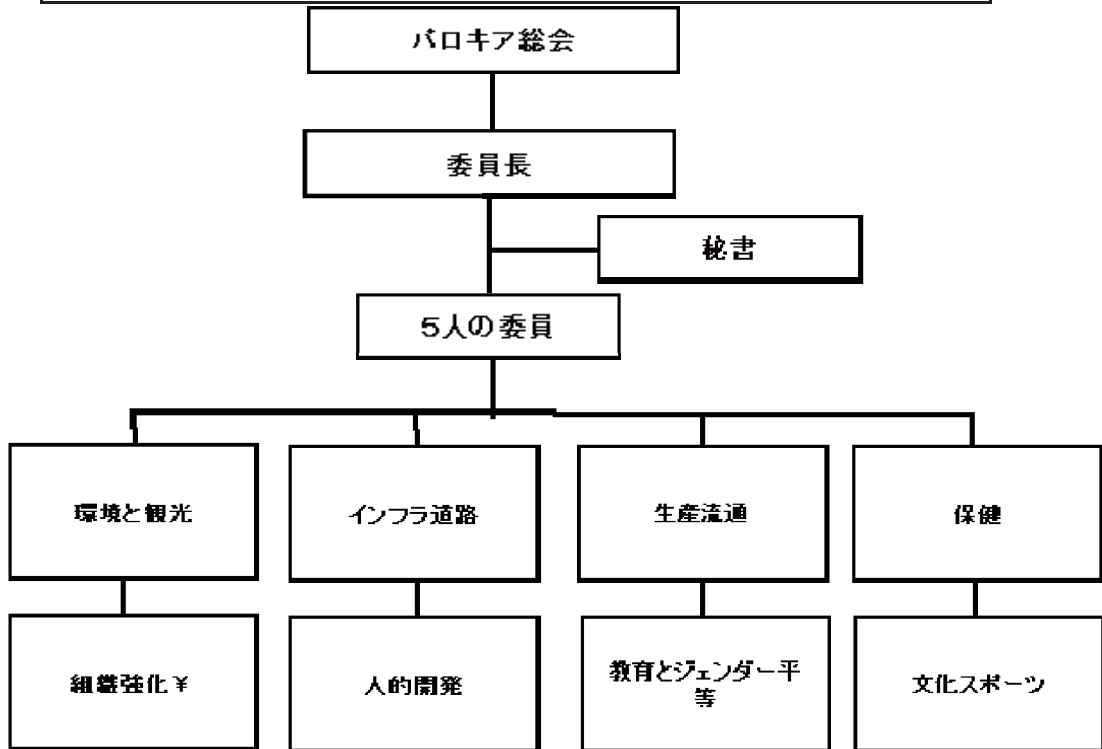
名前	RIOBAMBA 郡役所				
市長	LIC. JUAN ALBERTO SALAZAR LÓPEZ				
事務所	5 de Junio y Veloz. Tel: 03-2966-000 - Fax: 03-2969-494				
業務時間	平日: 8:00~ 12:00 と 14:00 ~ 18:00				
人数	867 人の職員				
組織構造	<table border="1"> <tr> <td>1. 郡審議会 2. 市長 2.1 祝祭委員会 2.2 集落との連携 3. 管理・人的資源部 3.1. 人的資源 3.2. 訓練・組織開発 3.3 職員の安全保障・保健 3.4 総務サービス 3.5. システム 4. 文化部 4.1 文化推進 4.1.1 文化センター 4.1.2 印刷 4.2 教育・娯楽サービス 4.2.1 図書 5. 審議会書記局 5.1 市民対応窓口 5.2 資料室</td> <td>6. 金融部 6.1. 予算 6.2. 会計 6.3. 倉庫 6.4. 固定資産 6.5. 料金 6.6. 財務 6.7. 調達 7. 衛生部 7.1. 環境管理 7.2 固形廃棄物 7.3. 冷凍畜殺所 7.4 墓地 7.5 実験室 8. プロジェクト部 8.1 開発マーケティング部 8.2. 観光 8.3 バスターミナル 8.4 プロジェクト 9. 計画部 9.1 計画、プログラム、プロジェクト 9.2 郡域管理 9.3 文化財 9.4 土地登記</td> <td>10. 法律顧問 10.1 公的契約 10.2 法的管理 11. 内部監査 12. 公共事業部 12.1 計画実施 12.2 緑地・健康空間 12.3 査察 12.4 維持管理 12.4.1 鉄道公園 12.4.2 産業 13. 司法、警察、警備部 13.1 市場管理 13.2 郡警備 13.2.1 保健衛生 13.2.2 建設警備 13.2.3 賃貸警備 13.3 郡警察・市民安全保障 14. 財団・人的開発 (組織図はない。)</td> </tr> </table>		1. 郡審議会 2. 市長 2.1 祝祭委員会 2.2 集落との連携 3. 管理・人的資源部 3.1. 人的資源 3.2. 訓練・組織開発 3.3 職員の安全保障・保健 3.4 総務サービス 3.5. システム 4. 文化部 4.1 文化推進 4.1.1 文化センター 4.1.2 印刷 4.2 教育・娯楽サービス 4.2.1 図書 5. 審議会書記局 5.1 市民対応窓口 5.2 資料室	6. 金融部 6.1. 予算 6.2. 会計 6.3. 倉庫 6.4. 固定資産 6.5. 料金 6.6. 財務 6.7. 調達 7. 衛生部 7.1. 環境管理 7.2 固形廃棄物 7.3. 冷凍畜殺所 7.4 墓地 7.5 実験室 8. プロジェクト部 8.1 開発マーケティング部 8.2. 観光 8.3 バスターミナル 8.4 プロジェクト 9. 計画部 9.1 計画、プログラム、プロジェクト 9.2 郡域管理 9.3 文化財 9.4 土地登記	10. 法律顧問 10.1 公的契約 10.2 法的管理 11. 内部監査 12. 公共事業部 12.1 計画実施 12.2 緑地・健康空間 12.3 査察 12.4 維持管理 12.4.1 鉄道公園 12.4.2 産業 13. 司法、警察、警備部 13.1 市場管理 13.2 郡警備 13.2.1 保健衛生 13.2.2 建設警備 13.2.3 賃貸警備 13.3 郡警察・市民安全保障 14. 財団・人的開発 (組織図はない。)
1. 郡審議会 2. 市長 2.1 祝祭委員会 2.2 集落との連携 3. 管理・人的資源部 3.1. 人的資源 3.2. 訓練・組織開発 3.3 職員の安全保障・保健 3.4 総務サービス 3.5. システム 4. 文化部 4.1 文化推進 4.1.1 文化センター 4.1.2 印刷 4.2 教育・娯楽サービス 4.2.1 図書 5. 審議会書記局 5.1 市民対応窓口 5.2 資料室	6. 金融部 6.1. 予算 6.2. 会計 6.3. 倉庫 6.4. 固定資産 6.5. 料金 6.6. 財務 6.7. 調達 7. 衛生部 7.1. 環境管理 7.2 固形廃棄物 7.3. 冷凍畜殺所 7.4 墓地 7.5 実験室 8. プロジェクト部 8.1 開発マーケティング部 8.2. 観光 8.3 バスターミナル 8.4 プロジェクト 9. 計画部 9.1 計画、プログラム、プロジェクト 9.2 郡域管理 9.3 文化財 9.4 土地登記	10. 法律顧問 10.1 公的契約 10.2 法的管理 11. 内部監査 12. 公共事業部 12.1 計画実施 12.2 緑地・健康空間 12.3 査察 12.4 維持管理 12.4.1 鉄道公園 12.4.2 産業 13. 司法、警察、警備部 13.1 市場管理 13.2 郡警備 13.2.1 保健衛生 13.2.2 建設警備 13.2.3 賃貸警備 13.3 郡警察・市民安全保障 14. 財団・人的開発 (組織図はない。)			
活動:	市民の恩恵を発展させる活動を改善させるために、各部課に当てはまる戦略を作成する。				
専門性(目的)	<p>1. リオバンバ市を美都にするため、社会的、経済的、物理的、行政的順序で成長を準備し、指導し、整理し、刺激することを目指す郡の開発計画を作成する。</p> <p>2. 郡の都市部と農村部の開発の調整計画の実現に必要な地方公共事業を企画し、計画し、設計する。</p> <p>3. 異なる階層レベルの機能を調整し、全メンバーの活動を規範付けるのに役立つ、機能組織を設計する。</p> <p>4. Riobamba 郡役所が、利用者の安全性、快適性、健全性をもたらすように、公共サービスを改善するのに役立つプログラムを作成する。</p> <p>5. 当局が配慮するようにする目的で Riobamba 郡役所が提供するサービスにとって重要な問題を確認する</p>				
プロジェクトとの関係	現在はない				

モデル集落で、Riobamba 郡の直轄となっている場所はない。
Rumicuz は、Calpi パロキア委員会の管轄であり、
Cecel San Antonio は、Licito パロキア委員会の管轄である。

2) パロキア自治政府情報

① Colta 郡

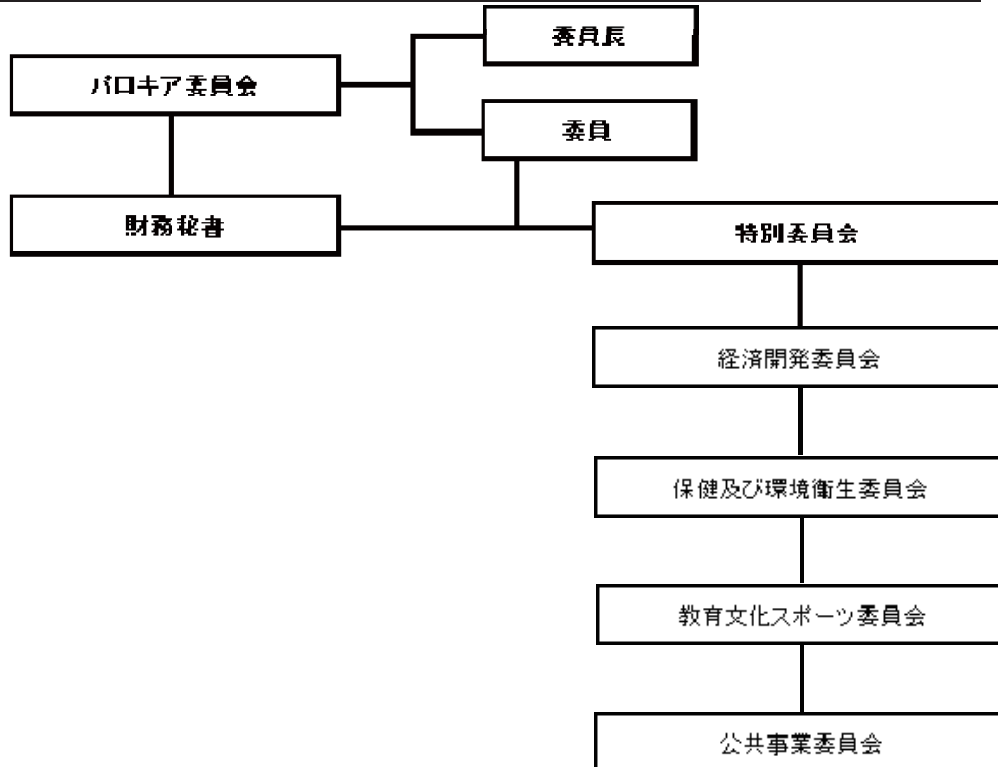
名前	COLUMBE パロキア委員会 (COLTA 郡)
同パロキア内のモデル集落	San Martín Alto
委員長	LIC. JOSÉ J. NARANJO EVAS
事務所	Eloy Alfaro, (593) 32 320 103
業務時間	平日: 8:00~ 17:00
人数	公的職員 (秘書)1名、パロキア委員会委員5名
組織構造	



活動: パロキアの生産的開発を計画する。パロキア内の家族の生活条件を向上させる目的で、プロジェクトを知り、企画し、実施することを可能にする技術的文書を使う。	
専門性(目的) 1. パロキア共同体の農業社会経済の実態を確認する。 2. パロキア共同体のニーズを満たす解決策を提起するため、問題とニーズを確認し、優先付ける。	
プロジェクトとの関係	現在はない

② Guamote 郡 Sarachupa

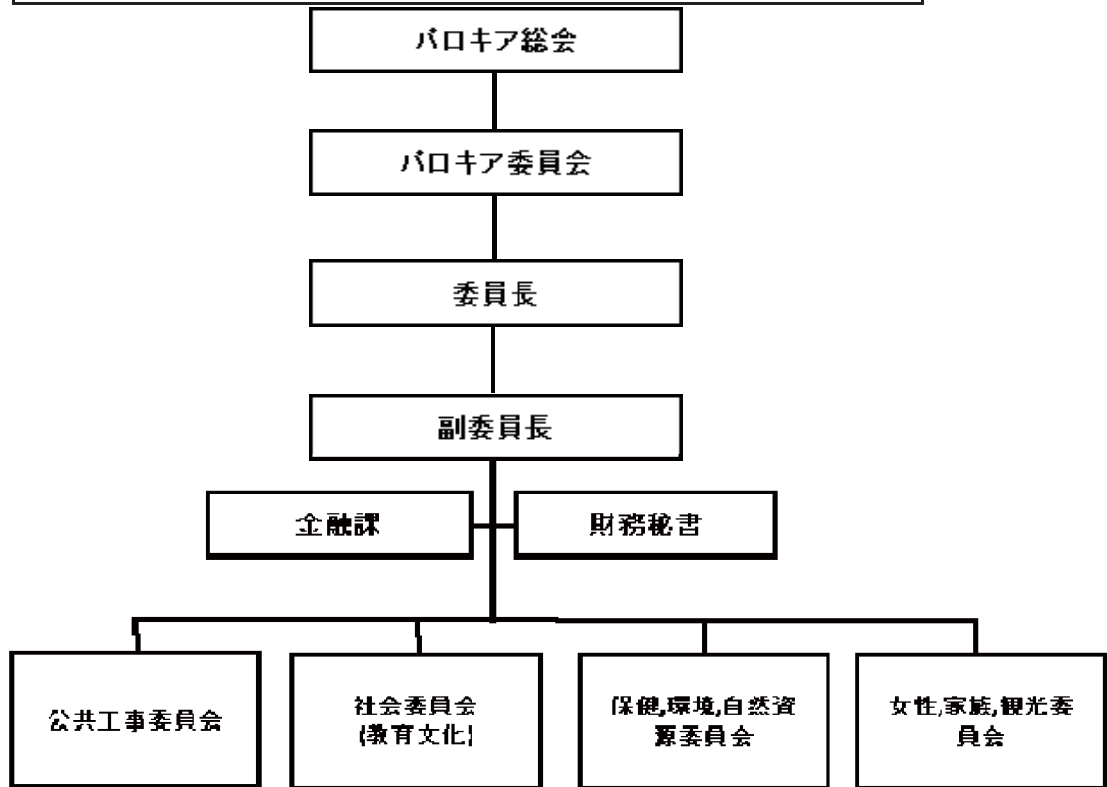
名前	PALMIRA パロキア委員会 (GUAMOTE 郡)
同パロキア内のモデル集落	Sarachupa
委員長	SR. MANUEL NAULA
事務所	Cobo y Velasco, (593) 32 931 915
業務時間	平日 7:00～ 12:00 と 13:00 ～16:00
人数	パロキア委員会の5人の委員、4人の技術者、 2名の職員、1名の秘書
組織構造	



活動:	\$200 から\$300 の予算で集会場や学校の建設材料プロジェクトを行う。NGO、農牧漁業省、教育省、公共事業省と行動調整を行う。農牧生産、教育、道路のテーマで訓練する。パロキア計画を作成する。
専門性(目的)	雇用源、生産、農牧生産物の集積流通センターを生み出す。
プロジェクトとの関係	現在はない

③ Riobamba 郡 Rumicruz

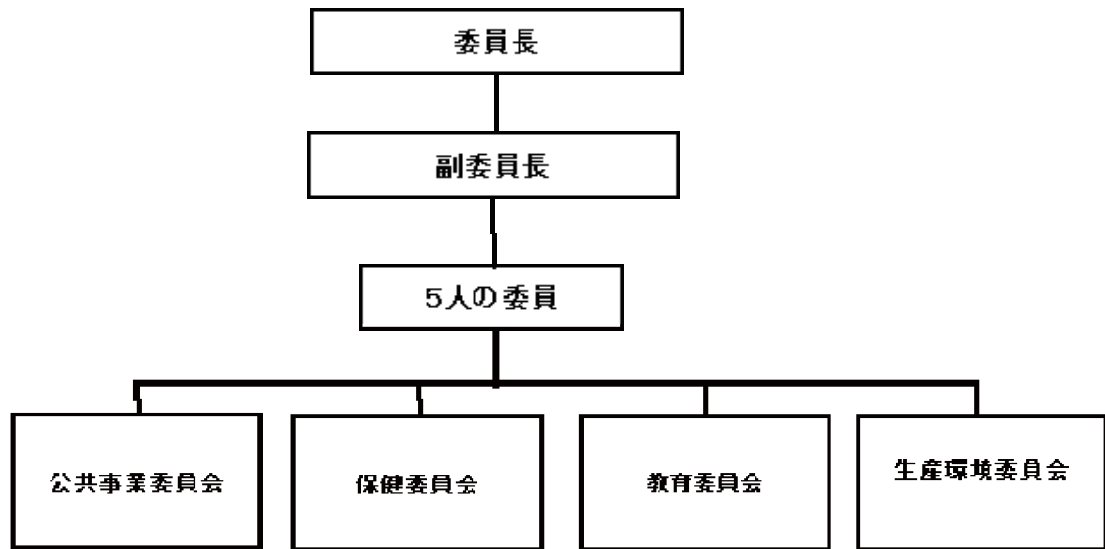
名前	CALPI パロキア委員会 (RIOBAMBA 郡)
同パロキア内のモデル集落	Rumicruz
委員長	SR. ANTONIO PACA
事務所	24 de Mayo y Guayaquil, (593) 32 620 251
業務時間	平日: 8:00 ~ 16:00
人数	公的職員 (秘書)1名、パロキア委員会委員5名
組織構造	



活動:	Calpi パロキア委員会の会議を通して、パロキア開発のための予算とプロジェクトを作成する。公共事業、環境、教育、保健、自然資源、観光のプロジェクトを遂行する。
専門性(目的)	1. 計画を通して Calpi パロキアを育成する。 2. パロキア委員会の予算を通してプロジェクトを遂行管理する。
プロジェクトとの関係	現在はない

④ Riobamba 郡 Cecel San Antonio

名前	LICTO パロキア委員会 (RIOBAMBA 郡)
同パロキア内のモデル集落	Cecel San Antonio
委員長	SR. VINICIO TENEMPAGUAY
事務所	Riobamba y Bolivar, (593) 32 334 129
業務時間	平日: 8:00~ 17:00
人数	公的職員 (秘書)1名、パロキア委員会委員5名
組織構造	

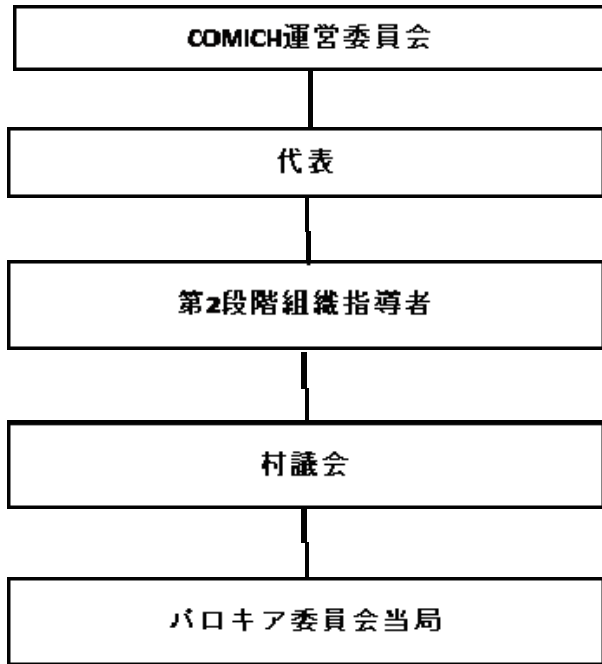


活動: 第2級及び第3級道路の修復について、県庁の参加型予算編成やリオバンバ郡庁の参加型予算を広報する。公共施設や運動施設の建設をする。官民組織に資金援助の手続きをする。	
専門性(目的) 道路、保健、下水のプロジェクトを自主管理する。	
プロジェクトとの関係	現在はない

3) その他協力機関

① COMICH チンボラソ県先住民運動会議

名前	COMICH: チンボラソ県先住民運動会議
事務所所在地	Guayaquil y Juan de Velasco, Casa Indigena.
代表者名	SR. FRANCISCO MOROCHO
連絡時間	平日 8:00 から 18:00
人数	10 人
組織構造及び部局	チンボラソ県内 33 組織 700 先住民集落を含む。 記録連絡係の書記 教育指導者 女性問題指導者 財政指導者 司法指導者 保健指導者 土地領地自然資源指導者 児童青年指導者



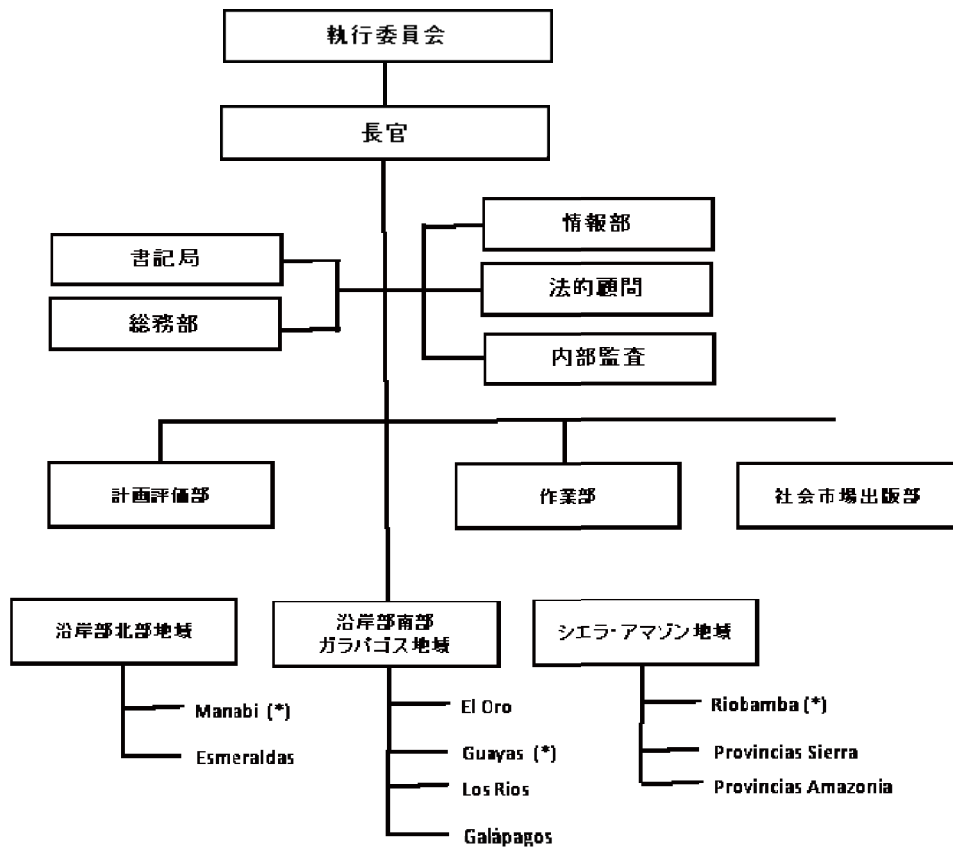
活動:	チンボラソ県の傘下の集落の基盤及び村議会の組織的強化のために活動している。
専門 (目的):	畜産菜園の試験農場のような生産プロジェクトを管理する。 集落金庫委員会や男女リーダーの育成学校を調整する。 伝統医薬を見直し、訓練によって異文化を促す。 伝統的農場知識を訓練する。現在栄養訓練を受けた 40 名の農民がいる。
プロジェクトとの関係	プロジェクト運営委員会及び合同調整委員会の現行メンバーである。

② CONPOCIIIECH: チンボラソ県エバンヘリコ系先住民の人民、組織、集落、教会の会議

名前	CONPOCIIIECH: チンボラソ県エバンヘリコ系先住民の人民、組織、集落、教会の会議
事務所所在地	Evangelista Calero y Cordoves, (593) 32 968 905
代表者名	PASTOR. PABLO GUACHILEMA
連絡時間	平日 8:00 ~18:00
人数	25 人
組織構造及び部局	
委員長 副委員長 組織強化秘書 国際関係及び組織間関係秘書 総合社会開発秘書 青年部秘書 女性及び家族秘書 宗教会議議長 神学部 教育学部 「AIIECH の声」ラジオ部(AIIECH=チンボラソ、エバンヘリコ先住民教会連合) 注:組織図はない	
活動: 主要活動は、エバンヘリコ系の教育、文化、宗教の訓練テーマと、ラジオを通して、エバンヘリコ系の番組に基礎付けられる。	
専門性(目的) 1. CONPOCIIIECH 系教会と協力して新たな善民への福音を促進する。 2. 神学、教育学、キリスト経リーダーシップについて、チンボラソ県の教会や信者組織の牧師や助祭を訓練する。 3. 子供や青年向けに夏休みにおける教会や信者組織のエバンヘリコ系のイベントを組織する。	
プロジェクトとの関係	プロジェクト運営委員会及び合同調整委員会の現行メンバーである。

③ INCCA: 国立農民訓練協会

名前	INCCA: 国立農民訓練協会
本部所在地	Quito. Av. Eloy Alfaro N. 30 - 350 y Amazonas - Ed. MAGAP - 6to. (593) 22 540827
県事務所所在地	Riobamba, Av. 9 de Octubre - MAGAP Chimborazo
代表者名(チンボラソ県)	ING. JULIO LOGROÑO
勤務時間	平日 8:00 ~ 18:00
チンボラソ県における人数	1 名
全国での人数	22 名
組織構造及び部局	



活動:	国内の技術訓練移転の計画、プログラム、プロジェクトを組織し実施する。
専門性 (目的):	需要に焦点を当て、競争的率先者として、農業部門の生産再活性化のための中心的行為者として、生産的、企業的、組織的能力を強化し、開発促進者としての普及者及び訓練サービスの提供者として共に活動して、有効な権限によって、農村の人的資本を育成する。
プロジェクトとの関係	プロジェクト運営委員会及び合同調整委員会の現行メンバーである。

④ INIAP: 国立自治農業研究所

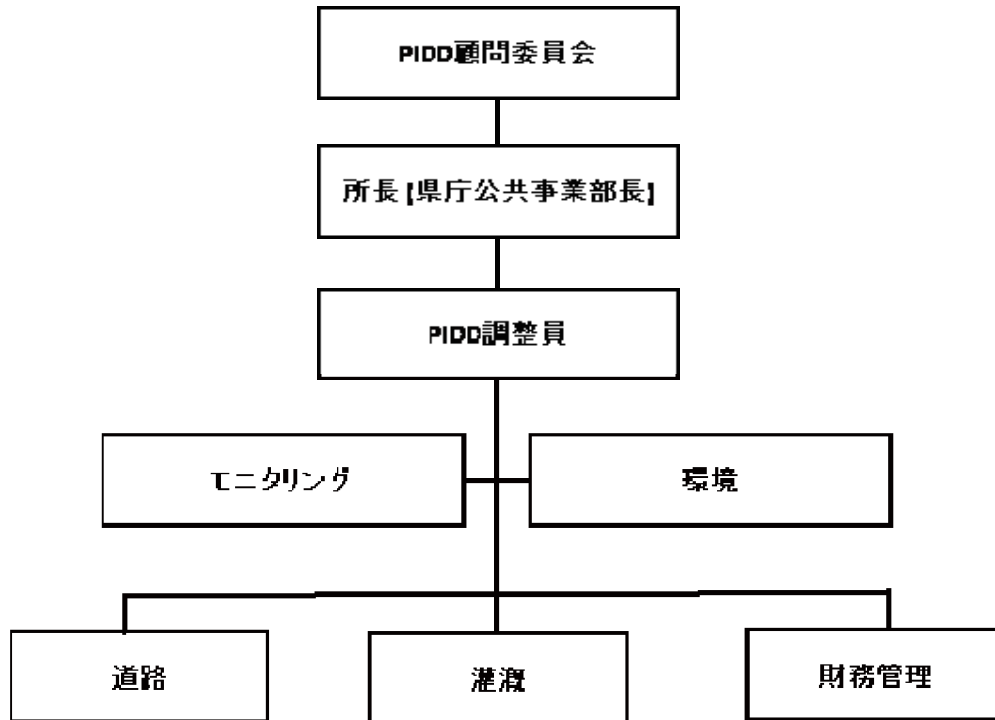
名前	INIAP: 国立自治農業研究所	
本部所在地	Quito, Dirección: Avs. Eloy Alfaro N30-350 y Amazonas, Edificio MAG (piso 4)	
県事務所所在地	Av. Sesquicentenario y Miguel Ángel Jijón (593) 32 962 793	
全国での人数	391 人	
チンボラソ県における人数	5 人	
勤務時間	平日 8:00 ~ 18:00	
組織構造及び部局		
<p>総合管理</p> <p>1. 統治プロセス</p> <p>1.1 組織戦略、運営、予算計画、財政状態の承認と所長の任命 責任: 幹部会</p> <p>1.2 研究、技術移転、農牧部門の財サービスの生産の政策の指導 責任: 所長</p> <p>1.3 技術創出と技術移転、財サービスの生産の政策の実行の調整と管理 責任: 副所長</p> <p>2. 運転支援プロセス</p> <p>2.1 顧問</p> <p>2.1.1 内部監査 責任: 総監査役</p> <p>2.1.2 法律 責任: エリア技術局長</p> <p>2.1.3 計画 責任: エリア技術局長</p> <p>2.1.4 人的資源管理 責任: エリア技術局長</p> <p>2.1.5 社会コミュニケーション 責任: プロセス局長</p> <p>2.2 支援</p> <p>2.2.1 財務管理 責任: エリア技術局長</p> <p>2.2.2 情報管理 責任: プロセスリーダー</p>	<p>3. 付加価値プロセス枠</p> <p>3.1 知識技術創出管理 責任: エリア技術局長</p> <p>3.2 技術移転管理 責任: エリア技術局長</p> <p>3.3 財サービスの生産販売管理 責任: エリア技術局長</p> <p>3.3.1 アグロインダストリー及び流通</p> <p>地方分権プロセス</p> <p>地方分権プロセス</p> <p>試験場</p> <p>4. 統治プロセス</p> <p>4.1 知識技術の創出移転及び財サービスの生産の政策の管理と実行 責任: 試験場長</p> <p>5. 運転支援プロセス</p> <p>5.1 顧問</p> <p>5.1.1 計画 責任: チームリーダー</p> <p>5.1.2 人的資源管理 責任: プロセス調整員</p> <p>5.2 支援</p> <p>5.2.1 財務管理 責任: プロセス調整員</p> <p>5.2.1.1 会計予算</p> <p>5.2.1.2 財務</p> <p>6. 付加価値プロセス</p> <p>6.1 知識技術の創出</p> <p>6.2 技術移転管理</p> <p>6.3 財サービスの生産販売 責任: プロセス調整員</p> <p>注: 組織図はない。</p>	
<p>活動:</p> <p>1959年の創設以来、INIAPは、国の農牧生産増に寄与するため、大量の技術情報を生み出し続けていた。INIAPは、国民の食料安全保障を達成することと、世界化の課題にうまく立ち向かうため、競争的農牧生産を獲得する必要性を満たすことに真剣に取り組んできた。</p> <p>世界化の中で、自由貿易条約に参加し、質の高い農牧生産物を求める国際市場の要求に出会い、国の農牧条件に適した技術の応用を獲得する必要が生まれてきた。</p>		
<p>直接的に、あるいは、エクアドルの他の官民組織と協力して、農牧部門、アグロフォレストリー部門、アグロインダストリー部門の持続的開発に寄与するため、適正な技術、生産物、サービス、専門的訓練を生み出し提供する。</p>		
プロジェクトとの関係	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト運営委員会及び合同調整委員会の現行メンバーである。 ・INIAPと県庁の協定に基づくプロジェクトへの技術支援。 	

⑤ INTI: 総合地区栄養介入

名前	INTI: 総合地区栄養介入
県事務所所在地	Riobamba, Av. 9 de Octubre - MAGAP Chimborazo
チンボラソ県責任者	ING. DAVID TORRES (084411485)
全国での人数	9 県に一人ずつのファシリテーター(Bolivar, Cotopaxi, Chimborazo, Cañar, Guayas, Imbabura, Manabí, Tungurahua y Pichincha) 、管理業務人数は不明
チンボラソ県における人数	1 名
組織構造及び部局	
組織階層	機能/行動
社会領域省庁部門委員会	意思決定の政治的レベル
国家栄養戦略の技術指導チーム	戦略実施の中間的レベル
県のチーム	分析、実施、モニタリングをする地方レベル
地区のチーム (カントン、パロキア、村落)	参加家族の決定、地区の必要性への提案の適合
活動: 母乳と6ヶ月から離乳食を奨励する。保健、社会保護、教育、安全な水の提供、住宅改善の政府サービスのカバー範囲の増加を促す。更に、栄養配慮基礎チームを通じた重症の栄養失調児に対する家庭モニタリングシステムや、食事栄養監視システムの実施を導入する。第1フェーズ、INTI は、チンボラソ県で栄養失調児指数が高いアラウシ、グアモテ、コルタ郡を対象としている。	
専門性(目的) INTI の戦略は、母親の腹の中の胎児期、幼児期、就学前と就学後の時期を通して、つまり、人生サイクルの初期の重要時期における、栄養失調を防ぐために、優先配慮グループ(5 歳以下の幼児、妊娠中の母親、及び授乳期の母子)の栄養状態を改善することと目的としている。	
プロジェクトとの関係	今のところ無い

⑥ PIDD: チンボラソ開発投資プロジェクト

名前	PIDD: チンボラソ開発投資プロジェクト
調整員	ECO. HECTOR VALENCIA
事務所	Primera Constituyente y Carabobo, Edificio de GPCH
人数	11 人
組織構造及び部局	



活動:	チンボラソ県における道路灌漑の調査の実施と契約、道路灌漑システムの建設と修復
専門性 (目的):	道路と灌漑
プロジェクトとの関係	なし。事務所が向かい側にある。

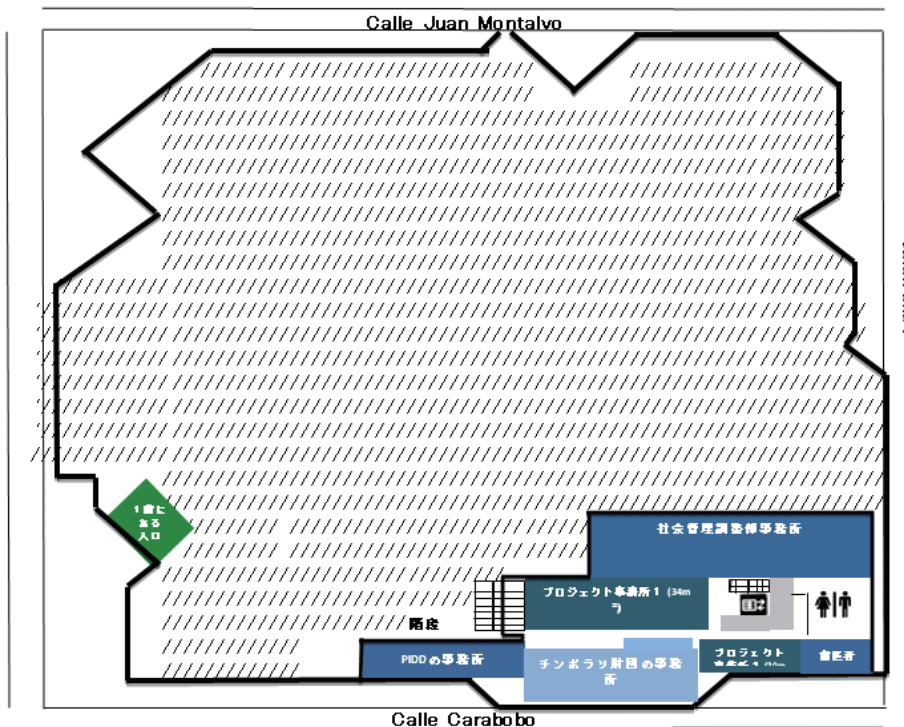
⑦ SWISSAID: スイス開発協力基金

名前	SWISSAID: スイス開発協力基金
代表	SRA: LILIAN VALLEJO GORDÓN
キト事務所	Quito, Urbanización Los Guabos, Calle B, Casa # 57, Cumbayá (593) 2 2894950
チンボラソ事務所	Riobamba, Larrea y Veloz, Edificio El Crack
全国人数	13 人
チンボラソ県人数	1 人
組織構造及び部局	
調整員及び法的代表者 アシスタント	
ファシリテーター部 Imbabura ファシリテーター Pichincha ファシリテーター Cotopaxi ファシリテーター Tungurahua ファシリテーター Chimborazo ファシリテーター Bolívar ファシリテーター	
責任者 中央地域プログラム責任者 北部地域プログラム責任者 水資源村落管理責任者 政治的影響責任者 会計管理責任者	
カウンターパート 注: 組織図はない。	
活動: 食料主権及び安全保障、水へのアクセス、個人及び集団の権利と義務の行使を達成するため資源が乏しい人々の能力を強化する	
専門性 (目的): 食糧安全保障、環境管理、組織会員強化	
プロジェクトとの関係	Cecel San Antonio 村で飲料水プロジェクトを実施 (まだ水道がない家に水を引く)

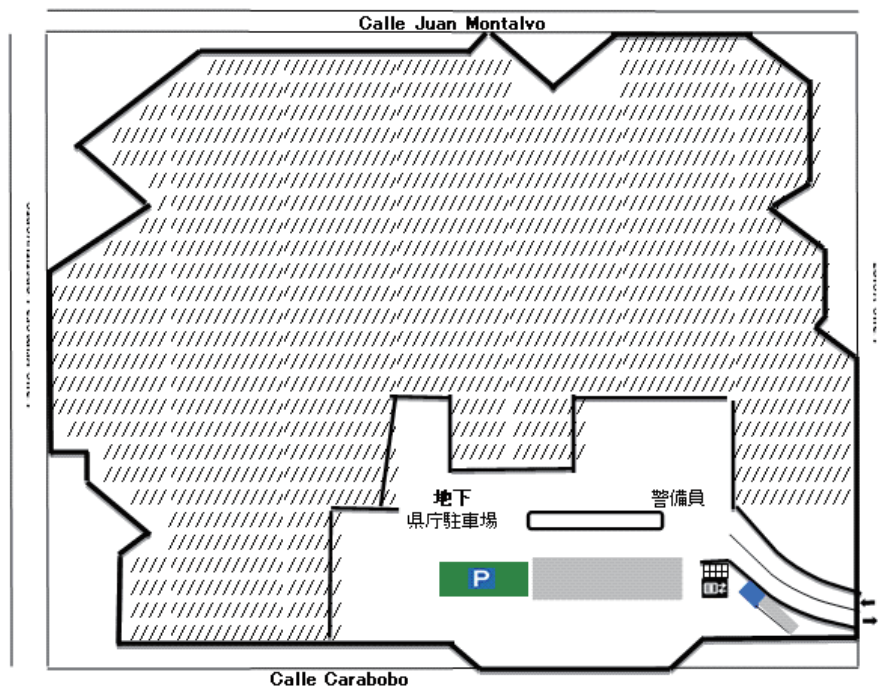
(6) 政策環境情報

	法律及び政策の名前	規定ないし要約	本プロジェクトとの関係
国	2008年憲法 VI編 開発の体制 第1章 一般的原则	275条: 良生活の条件として権利の行使と、多文化の枠組みと自然と調和した生活の枠組みとの中での責任の行使を主張する。資源として自然を 考える見方から、全く異なる「生活を再生産し実現する場」という考え方に進んで、自然の権利を認識する。 276条: 「良生活」は、更に、国民の生活の質を高め、能力と潜在力を発展させること、開発の恩恵の社会的・地域的再分配を通して平等性を促進す る経済システムを考慮すること、国家主権を保障すること、ラテンアメリカの統合を促進すること、文化的多様性を保護し促進することを意味してい る。	2008年憲法の開発体制法 は、本プロジェクトが提案して いる目的の一つである生活の 質の改善を目指している。
国	良生活のための国家計画2009 - 2013 1. 多様性の中での社会的・地域的な平等、団結、 統合を後押しする 2. 国民の能力と潜在力を改善する 3. 国民の生活の質を改善する 4. 自然の権利を保障し、健全で持続的な環境を 促進する 5. 連帯的で持続的な社会経済システムを構築す る 6. 良生活のための民主主義的国家を構築す る	良生活のための国家計画2009 - 2013によれば、次のような政策が提案されている。 1.1 全ての不平等を克服するように Buen Vivir の権利を保障する。(特に、保健、教育、食糧、水、住居) 2.1 健全で、栄養が豊富な、自然な、そして、栄養不足を激烈に減らす手段となるような、食糧を確保する。 2.2 多様性を持つ継まりを強化し、教育システムの恒久性や盛んな研究を推進するように、権利、ジェンダー、異文化、包含の観点から、教育の質を 徐々に改善する。 2.3 二言語異文化教育及び教育の異文化性を強化する。 3.1 国民の健全な生活の質を促進する。 3.2 病気の予防、管理、警戒を強化し、罹病率を記録し、予防し、管理する能力開発を強化する。 3.3 生活サイクルを通し、利用者にコストがかからない、質の高い、平等な、健康に対する総合的配慮を保障する。 3.4 ジェンダー、世代、家族、共同体、異文化に焦点を当て、女性や、優先的取扱いが必要なグループに総合的配慮をもたらす。 3.5 伝統的医療の実践と、その知識の利用、医薬、医療器具について知り、尊重し、奨励する。 3.6 平等、持続性、効率の観点で、適切で安全で健全な住居と生活環境を保障する。 3.7 人間の安全保障の条件と様々な環境における人間の間の相互信頼を推進する。 4.1 戦略的に重要と考えられる、自然遺産、陸上及び海洋の生物多様性を実質的に保全し管理する。 4.2 生活の質の改善のため環境汚染を防止、管理し、軽減する。 5.1 食糧自立を獲得するために必要な生産条件を促進する。 5.2 経済的能力及び機会を拡大するため基礎インフラと公共サービスのカバー範囲を強化し広げる。 6.1 研究、計画、調整、管理、調査、参加の国家能力を立ち直らせる国家の新しい組織及びデザインを強化する。 6.2 効率的で有能な公共サービスを促進する。 6.3 質の高い、タイミングの良い、持続的な、カバー率の高い公共サービスの管理を促し、調整メカニズムを強化する。	良生活のための国家計画 2009 - 2013によって提案さ れている政策は、総合農村開 発の本プロジェクトが推進して いる農牧、環境、教育、保健 の分野の改善を含んでいる。
県	2008年憲法 第4条 権限体制	263条. 県政府は、法が他に定めるところを除いて、排他的二次のような権限を有する。 1. 国家、地域、郡、ノロキアの計画と連携した方法で、県の開発を企画し、県管轄地域の計画をまとめる。 2. 市街地を除いて、県の管轄範囲の道路網を計画し、建設し、維持管理する。 3. 流域及び小流域の工事を、地域政府と協力して、実行する。 4. 県の環境の管理。 5. 灌漑システムを計画し、建設し、維持管理する。 6. 農牧活動を促進する。 7. 県内の生産活動を促進する。 8. その権限を行使するため国際協力を遂行する。	権限体制法によれば、県政府 は、本プロジェクトが推進して いる農牧、環境などの県の開 発を行なう。
県	県戦略計画、生活のための協働、2005年 県庁の政策	国家、地域政府、NGO、教会、大学、職業組合、民間企業、市民組織と協力し、それらの支援を仰いで、次のことを達成するように地方公共政策を取 り纏めるように努力する。 1. 環境の持続的管理の強化 2. 県の経済の活性化と生産性向上 3. 流通過程の改善 4. 貧困対策	チンボラン県政府は、本プロ ジェクトが提案する目的である 生活の質の向上や貧困緩和 を目指している。

(7) エクアドル側提供の施設



県庁建物4回にプロジェクト事務所はある。
 ※プロジェクト事務所1 = 専門家、マネジャー、技術者、秘書、アシスタント
 ※プロジェクト事務所2 = 普及員6名、短期ボランティア



■ プロジェクトの資機材用倉庫 (20m²)
 ■ プロジェクトの3台の車両用の駐車スペース (36m²)

2. 実施プロセスに関する事項

(1) プロジェクトの年表

年度	年次	月	CP機関の人事の変遷	事件事故	主要イベント	プロジェクト活動	パイロットプロジェクト	その他の出来事		
2008年度		2月				★チーフアドバイザー到着				
		3月				★調整員到着 ★プロジェクト開始式				
2009年度	第一年次	4月	★プロジェクトマネージャー決定		★分業別作業部会立上	ベースライン調査実施 ・基礎情報 ・グループインタビュー ・マッピング ・アンケート調査	★モデル村落 6村→9村	広報誌1号		
		5月	★エクアドル総選挙 県知事再選							
		6月	★県庁から常任スタッフ着任		◎運営指導調査 ・第一回 合同調整委員会					
		7月	★プロジェクトマネージャー交代 ★常任普及員3名着任						広報誌2号	
		8月			プロジェクト運営委員会 月開	PCM手法短期専門家 研修、ワークショップ、分析		ポリビア案件 説明ビデオ作成	広報誌3号	
		9月				調整員一時帰国				
	10月	県知事、公共事業部長 本邦研修			▲チリ第三国専門家 (土壌保全・流域管理)	★識字教育 プログラム(4村落)				
	11月			◎運営指導調査 ・第二回 合同調整委員会	短期専門家4名(農牧・環境・保健・教育)	チンボソン県持続的総合農村開発戦略の策定		広報誌4号		
	12月				チーフアドバイザー 帰国					
	1月				▲チリ第三国専門家 (土壌保全・流域管理)	★塩素浄水装置 設置		広報誌5号		
	2月					★土壌分析 ★学校校舎修繕 ★植林用郷土苗木配布				
	2010年度	第二年次	3月	★CP省庁から常任スタッフ 普及員3名増員		◎運営指導調査	農民野外学校手法短期専門家 ファシリテーター研修、ワークショップ、 計画策定、調整			
4月			ポリビア 第三国研修 (13名)							
5月							ミニプロジェクト 実施計画策定	広報誌6号		
6月										
7月				プロジェクト運営委員会 3ヶ月間						
8月				◎終了時評価調査 ・第三回合同調整委員会						
9月							農民 野外 学校 ミニプロジェクト 実施			
10月										
11月										
12月						チーフアドバイザー 帰国				
1月										
2月					★プロジェクト修了					

(2) 運営指導調査の提言、実施状況

第1回 巡回運営指導

期間:2009年6月8日~6月12日

調査団:永代成日出専門員

運営指導調査の提言内容

- 1) プロジェクトの中心概念が「自助努力」である。
- 2) カウンターパート機関が、プロジェクトにカウンターパートを配属する。
農牧、環境、教育、保健の4つのワーキンググループに対し、県庁から2名、各省庁県事務所から2名が配属される。教育部門に関しては、スペイン語局から2名、二言語局から2名とする。県庁からの2名と、省庁からの2名を足して合計4名がワーキンググループで働く。そのうち、1名はプロジェクトに常勤する。
- 3) 対象集落は、6村(Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martín Alto, El Lirio, Chismaute Telán, Sarachupa)ではなく9村とする。これは、El Lirioは近隣3村(Canal Huacona, Huacona Grande, Rumiloma)と水委員会を結成しており、密接な関係があるためである。
- 4) 集落で参加型開発を進めるために合計4名の普及員を雇用する。従来の6村に関してはカントン毎の2村を1名ずつの普及員が担当する(RumicruzとCecel San Antonio, San Martín AltoとEl Lirio, Chismaute TelánとSarachupa)。追加の3村(Canal Huacona, Huacona Grande, Rumiloma)に関しては4人目の普及員が担当する。
- 5) 各ワーキンググループの下で、カウンターパートが主体的に、ベースライン調査を実施し、成果をまとめ、それに基づき持続的総合農村開発戦略をまとめ、試行事業を行なっていく。
- 6) 持続的総合農村開発戦略策定に関して、4分野の短期専門家が来るまでに、素案を作成しておく。
- 7) 試行事業実施に関して、県庁とJICAだけでなく、各省庁県事務所も各分野の試行事業について費用を負担する。

実施状況

- 1) 運営指導調査団はボリビアの事例を利用してプロジェクトの主要概念の説明があった。プロジェクトは、その説明をビデオ化しプロジェクト運営委員会で流した。プロジェクトの中心概念が「自助努力」であることを、カウンターパートレベルには文書にして説明し、集落レベルに関しては全村で行なった参加型ワークショップで説明して回った。
- 2) 各ワーキンググループにカウンターパート機関から2名ずつが参加した。各省庁県事務所と県庁の関連部門から局長と技術者の2名が参加するようになった。しかし、各ワーキンググループから1名ずつがプロジェクトに勤務するようにはならなかった。これは具体的に、どの機関が常勤者を出すかを明確に決めなかったことに原因がある。
県庁からは、運営指導調査団の提言後、プロジェクトマネージャーと技術調整員者が常勤でプロジェクト業務に参加することになった。
- 3) 対象集落は、9村(Rumicruz, Cecel San Antonio, San Martín Alto, El Lirio, Chismaute Telán, Sarachupa, Canal Huacona, Huacona Grande, Rumiloma)となった。
- 4) 県庁から3名の普及員が配属された。追加の3村に関しては、3名の普及員で手分けをして、1名が3村ずつ担当することとなった。
- 5) カウンターパートと専門家が協力して、ベースライン調査を実施し、成果をまとめ、それに基づき持続的総合農村開発戦略をまとめてきた。戦略策定のために4名の短期専門家が来たときは、カウンターパート機関から常勤のスタッフが短期専門家と作業するためについたが、例外の時は配属されなかったため、プロジェクトオフィスの人間だけで作業してこななければならなかった。
- 6) 各ワーキンググループで、参加型ワークショップの結果に基づき、各分野に関して各集落がどんなニーズを持っているかを整理し、それを各分野の戦略策定の素案を作成するため、集落に共通する重要課題をまとめた。
- 7) 試行事業実施の費用分担について、各カウンターパート機関と協議したが、省庁県事務所は予算的に余裕がないということで、県庁とJICAだけが試行事業の費用を負担していくことになった。省庁県事務所は、試行事業の事業内容が各省庁独自の政策にそっている場合は、試

行事業の費用を負担できる可能性もなくはないが、具体的に予算をプロジェクト用に配分するのは難しい状況にある。

第2回 巡回運営指導

期間:2009年11月14日～11月20

調査団:永代成日出専門員

運営指導調査の提言内容

- 1) 持続的総合農村開発戦略を実施していくためには、体制の整備が重要である。各省庁県事務所は、局長クラスではなく、実務レベルの、常勤スタッフ1名と非常勤スタッフ1名をプロジェクトに配属する。
- 2) プロジェクトの運転手を2名にする。
- 3) パイロット・プロジェクトとして6村で農民野外学校を行なうので、6名の普及員を雇用する。
- 4) プロジェクトスタッフの増員に合わせて、プロジェクトオフィスのスペースを拡大する。

実施状況

- 1) 農業牧畜省からは、1名の技術者がプロジェクトに配属され週に数日勤務している。環境省からは、1名の技術者がプロジェクトに配属され週に数日勤務している。保健省からは、1名の技術者がプロジェクトに配属され週に数日勤務し、1名が非常勤で必要な時に手伝い来ることになっている。教育省スペイン語局からは、1名の技術者がプロジェクトに配属され週に数日勤務し、1名が非常勤で必要な時に働くことになっている。教育省二言語局からは、1名の技術者がプロジェクトに配属され週に数日勤務している。県庁からは、各分野に關係するスタッフが必要な時に協力することになっている。県庁の2名の技術者(プロジェクトマネージャーと技術調整員者)が常勤でプロジェクトで働いている。
- 2) 県庁から、プロジェクトに2名の運転手が配属された。
- 3) 県庁は、カウンターパート技術者の支援を受け、6村でパイロット・プロジェクトとして農民野外学校を実施していくために6名の普及員を雇った。
- 4) 試行事業用の機材を置いて置く倉庫と、プロジェクトの3台の車両の駐車スペースがプロジェクトに提供された。オフィススペースについては、プロジェクトオフィスの向かい側の部屋を使っているチンボラソ財団の部屋を、同財団の移転後に使えるということになった。しかし、まだ移転しておらず、オフィススペースの拡充ができていない。そのため、各省庁からの技術者に対し、専用の机がない状況である。

第3回 巡回運営指導

期間:2010年4月6日～4月9日

調査団:永代成日出専門員、山中祥史職員

運営指導調査の提言内容

- 1) 試行事業を実施していくためには、各カウンターパートの密接な協力が必要である。プロジェクトへの技術者の参加を充実させていくことが必要である。
- 2) プロジェクト運営委員会は実務的な議論をする場となっていないので、開催頻度等、今後のあり方を検討する。
- 3) カウンターパート機関の長官クラスによる実務的な会合を必要に応じて開催するようにする。

実施状況

- 1) 試行事業に関して4部門の連携しよる統合的計画を、全カウンターパート機関の協力によって作成した。今後は、それを連携して推進していく。
- 2) 5月26日のプロジェクト運営委員会で、プロジェクト運営委員会を、今後は、3月に1度開催することに決まった。
- 3) カウンターパート機関の長官クラスによる会合を、基本的に、毎月最終水曜日に開催することに決まった。

(3) 技術情報

本プロジェクトは、自助努力の方針に基づき、参加型開発による持続的総合農村開発の実施体制を整備し、本格的に事業展開する後継プロジェクトの基盤作りを行なうことを目指している。そのために、ベースライン調査と、参加型ワークショップ(PCM)によって、集落住民のニーズを把握し、それに基づいて戦略を立案し、その戦略にそって、パイロット・プロジェクトを行い、そこからの教訓を後継プロジェクトに提示することが、プロジェクトの流れとして想定されている。本プロジェクトは、特定の技術の導入を主要目的とするものではなく、体制整備を主要目的としている。しかし、プロジェクト活動に関して幾つかの技術が導入された。

本プロジェクトで導入した技術:

1. PCM(参加型ワークショップ)

住民の置かれている現状を把握し、ニーズを明らかにし、取り組むべきアプローチを選択して、戦略立案に役立てるための手法として本プロジェクトはPCMを採用した。

PCM手法の短期専門家が、7月26日から8月28日まで赴任した。カウンターパートにPCM手法の技術指導を行なった。対象モデル集落6村で参加型ワークショップを実施して帰国し、残りの3村に関しては、カウンターパートのみで参加型ワークショップを実施した。

参加型ワークショップに基づき、戦略策定のためのアプローチ選択方法も短期専門家が指導していた。9村の参加型ワークショップが4つのワーキンググループが各分野の戦略の素案として各分野の共通課題をまとめた。

PCM技術は、カウンターパートに波及していると考えられる。

2. 総合農村開発立案のプロセス

本プロジェクトの今までの活動を通して、PCM参加型ワークショップで明らかにされた農村住民サイドのニーズを把握し、農村開発の主要関係部門が連携して戦略を策定し、その戦略にそった具体的な部門連携総合開発計画を立てていくプロセスがカウンターパート側に伝わった。(成果品として、ベースライン調査の各結果の報告書、持続的総合農村開発戦略、2010-2011年PMSKの総合計画がある。)

3. ECAs(農民野外学校)

プロジェクトの持続的総合農村開発戦略を進めていくために、そして、4分野の連携を促進していくために、農民野外学校(ECAs)が、採用された。

ECAs技術指導の短期専門家がECAsファシリテーター研修、集落でのECAsの方法、参加者獲得とオリエンテーションのために、2000年2月25日から4月9日まで赴任した。3月8日～3月19日にECAsファシリテーター研修を実施した。ECAsのエクアドル専門家が3月8日～3月16日まで同研修の講師を務めた。ファシリテーター研修講師をもらったエクアドル専門家には、8月以降時々、来年4月にECAsが終了するまで、ECAsの活動を定期的に指導してもらうように依頼済みである。

ECAsの手法を使ったプロジェクト活動は既に開始されている。学習圃場での栽培が実施中であるし、有機肥料や土壌保全に関する授業や衛生指導の授業が行なわれてきている。

ECAsは、農民の自助努力を喚起するために採用されている。ECAs技術が思惑通りに波及するかどうかの判断は現時点では困難である。

